



まちづくりは、
市民の心を生かす
活動の本質

喜怒哀楽 まちづくりは人生だ

喜 納川の会(島根県) …………… 1

怒 ポップラ・ペアレンツ・クラブ(広島市) …………… 5

哀 広島かよこバス活用委員会(広島市) …………… 9

楽 上下町並みづくり研究会(広島県府中市) …………… 13

喜怒哀楽で語るまちづくり …………… 17

広島を賑にぎわすまちづくり弁当たち …………… 18

- 1 お子様ランチ弁当 ほのぼの広島会 …………… 19
- 2 カフェテラス ランチボックス カフェテラス倶楽部 …………… 20
- 3 おかんの運動会弁当 可部カラスの会 …………… 22
- 4 街道交易の幸 釜めし弁当 可部夢街道まちづくりの会 …………… 23
- 5 軽快川舟弁当 雁木組 …………… 25
- 6 みなとまち郷土弁当 草津まちづくりの会 …………… 26
- 7 みんな集まれ七福神弁当 コイン通り街づくり委員会 …………… 28
- 8 じつくり吟味 和風弁当 高須二丁目西地区の良い環境を守る会 …………… 30
- 9 東観・おまつり弁当 東観音台連合会 …………… 32
- 10 「黒の美学」弁当 ひろしままちづくりファシリテーターズ・まちづくりくろっこ隊 …………… 34
- 11 彩りむすび弁当 早稲田学区社会福祉協議会 …………… 35
- 12 花の環 ふるさと弁当 INE OASA いんわー おおさ …………… 37
- 13 旬の食材を使った具たくさんさんのeco弁当 広島環境サポーターネットワーク …………… 38
- 14 カンボジアと日本のコラボレーション レッドカレー弁当 カンボジアひろしまハウス建設活動 …………… 40
- 15 NPOを支えるまかない弁当 ひろしまNPOセンター …………… 41

まちづくりお悩み相談室 …… 43

- ① 活動を活性化したい! …… 44
- ② 組織を見直したい! …… 45
- ③ 事務局を作りたい! …… 46
- ④ なかなか、意見がまとまりません! …… 47
- ⑤ アイデア飛び交う活発な会議にしたい! …… 48
- ⑥ 企画がまとまらない! …… 50
- ⑦ 事業計画がまとまらない! …… 52
- ⑧ ヒト集めに悩んでいます! …… 53
- ⑨ 機材がなくてイベントが開けません! …… 55
- ⑩ お金がなくてイベントができません! …… 56
- ⑪ 広報紙を作る上での心得を教えてください! …… 58
- ⑫ 新聞やテレビで紹介されるには? …… 59
- ⑬ ネットで活動をアピールしたい! …… 60

知っ得情報 …… 61

- ① ボランティアのマナーの例 62
- ② 班別活動の例 63
- ③ 会則の例 64
- ④ 団体紹介表の例 65
- ⑤ 事業計画書の例 66
- ⑥ 会議録の例 67
- ⑦ 活動報告書の例 68
- ⑧ 会報の例 69
- ⑨ 安全衛生計画書の例 71
- ⑩ ワークショップ 73
- ⑪ NPO法人の設立 77
- ⑫ 町内会・自治会の法人化 79
- ⑬ マスコミへの資料提供 80
- ⑭ マスコミの連絡先 81
- ⑮ インターネットを活用した情報収集・情報発信 82
- ⑯ 人材バンク 84
- ⑰ 市民活動・ボランティア保険 85
- ⑱ 主な助成団体と助成情報収集の場 87
- ⑲ 公益信託広島市まちづくり活動支援基金
- ⑳ ひと・まち広島未来づくりファンド^{Hm}(ふむふむ) 88
- ㉑ 広島市まちづくり市民交流プラザ 89
- ㉒ 広島市内施設の情報 91
- ㉓ 市民活動を支援する広島市の制度や事業 93
- ㉔ 市政出前講座 94
- 市民活動に関する相談窓口 95



※掲載内容は、原則として平成20年10月現在で記載しています。

ひな 鄙に生きる

大森が気付かせてくれる小さなもの、五感の大切さ
松場登美さんと納川の会

ひな 鄙に生きる

ゼロからのスタート

世界遺産となった石見銀山の中心地・大森。人口5000人に満たない谷間のまちは、一躍脚光を浴び、重要伝統的建造物群保存地区となっている町並みや遺跡群は、大勢の観光客で賑わっている。

ここに松場登美さんが、夫の大吉さんのUターンに伴い、名古屋かららやってきたのは昭和55年。まだ、世界遺産の話など全くない時代、過疎化と高齢化が進む、山間の集落であった。

都会の感覚からは、何もないところ。しかし、登美さんは人情、自然、忘れ去られたような古い町家、そして町並みに魅力を感じ、

直感的に「生きる意味が見つかる」と感じたという。

しかし、生業としては、まさにゼロからのスタートであった。

小さいもの、捨てられるものへの眼差しとものづくり

高校生のとき、文化祭のバザーで、オリジナル紙袋を出したところ、評判となった経験を持ち、以後ものづくりがライフワークとなっていく。

大森に住み始めた登美さんにとって、財産は名古屋時代のために端布であったという。端布を活かしてパッチワークを行い、その品物を大吉さんが広島や松江に持ち運び販売していった。しかし、売れる数は限られ、将来の展望はなかなか開けなかった。

空き家を活かした新たな生命「ブラハウスの誕生」

転機は、友人からの紹介で出展した東京のギフトショーであったという。そこでの評価に確かな手応えを感じた松場夫妻は、希望を見だし、将来を展望しながら、行動することになる。「小さいもの、捨てられてゆくものを活かす。手のぬくもりを感じるものをつくる」、今も変わらぬ原点の確信でもあった。

バブル経済のまっただ中、都会の華やかさとお金が世の中を覆い尽くす時代、あえて松場さん夫婦は自宅前の空き家を手にする。崩れ落ちた壁土やガラスなどを片づけながら、2年の歳月をかけて「コミュニケーション倶楽部ブラハウ

ス」が平成元年に完成した。「ブラ」とは、フイジー諸島で使われている気軽なあいさつ。そこには人が集まり、楽しみ、つながりを生む、店舗を超えた空間が意図されていた。

それは、斬新さや高価なものを偏重する社会の流れとは対極にある、「手仕事のぬくもりを伝えるものづくり、その思いをものに託すこと」、まさに西村幸夫氏（東京大学大学院教授）のいう「生き方産業」の新たな出発でもあった。

空き家を活かす「灯と暗闇の「ロウソクの家」の誕生」

ブラハウスを通じて体感した大森の町家の魅力。それは次なる歩みへのホップでもあった。自宅のすぐそばにあった空き家を購入

し、語り合いともてなしの場、電気も水道もガスも引かない「ロウソクの家」後の「群言堂」を生み出すことになる。

灯と暗闇の空間、そこで酒を酌み交わし、語り合う日々。自ずと視覚だけでなく、素材に触れ、匂いを嗅ぎ、味わい、四季折々の音に静けさを感じる暮らしは、五感とそれを大切にすることを呼び覚ました。

その中から、古いものに新しい息吹を息づかせる「復古創新」という新たなテーマ、そして大森の風景ととけあい、心地よく暮らす生活着のブランド「群言堂」が誕生する。同時に、空き家、古民家を、現代によみがえらすことの大切さと可能性に確信を得ることにもなった。

空き家を活かす 古民家の移築・「鄙舎(ひなや)」に込めた思い

銀山川をはさんだ大森の町家の向かいに、茅葺きの古民家「鄙舎」がたたく。隣には、石見銀山生活文化研究所(群言堂)のワークステーションが、昔からそこにあったかのように風景を醸し出している。

この古民家は、広島県甲山町(現、三次市)にあった築270年の豪農の住まいで、平成8年に移築。文化財級でありながらも、町が多額の経費のため保存を諦めた物件であった。それを平たく言えば衝動買い、それもワークステーション建設のために貯えた資金を使ってであった。そのおかげ

で、ワークステーションが完成するのは4年後になった。

しかし、この夫婦の直感力と行動は、新しい息吹を吹き込み、この地に根づくものづくりを一層強固なものにしていった。古民家とワークステーションは、一対に存在することになり、鄙舎はイベント会場や休憩の場、集会所、合宿所などとして、現代によみがえることになる。

空き家を活かす

新たな人の集まる場づくり

崩れかけそうな空き家の叫びは、またしても登美さんに届いてしまった。

県指定文化財と聞こえは良いが、天井や床の抜けた雨ざらしの

築230年の古民家・阿部家。

母屋、土蔵などと、何期にも分けて修復工事を行い、現在も進行形である。学校改築に伴う廃材、捨てられていた耐火レンガや農具・民具なども活かされている。それらは阿部家でよみがえり、昔からそこにあったようにさりげない。

登美さんは、この阿部家を通じて新たな人の集まる場、出会いの場を夢み、家本来の持つ力を引き出し、経済活動も出来ればと願っている。

ILPGから納川の会へ

話しは少しさかのぼるが、平成3年3月2日、本店2階で会津や妻籠、内子の人たちと酒を傾

けながら、語り合う機会があった。

その盛り上がりの中で、「大森を愛するシユプレヒコール」をしようということになった。翌3月3日の夕刻、およそ10人が集まり、それぞれの表現で「大森が好きだ」と大声を出しながら、通りを歩いた。少し前に自然発生的に発足していた、ILPG(石見地域デザイン計画研究会)の実質的な活動宣言でもあった。

ILPGは、夢を語り合い、個人がしたいことをメンバーが支え合う、この指止まれるな自由な活動である。「鄙の雛まつり」も、「女性が輝くまちは素晴らしい」、女性の意識が変われば、もっと暮らしが楽しくなる」という発言から生まれた催しである。10回目

の「鄙の雛まつり」の後の大宴会で、

松場さんの中国の友人から、納百川於海(「百川(ひやくせん)、海に納(おさむ)」)という名言を紹介された。「もともとは何もないとこでも、小さな川や大きな川を数多く吸収することにより、広く美しい海になり、また、異質な川を多く吸収するほど、その海の美しさが増し、パワーが強くなる」ということだ。

宴会の話が具体化するすこさ、酒から生まれる活動が大森の真骨頂といえる。すぐにILPGは自然消滅し、「納川の会」が生まれ、時を待たずに平成15年5月にはNPO法人に認証される。



暮らしとまちのデザイン

石見銀山・大森



納川のごとく紡ぎ、繕い、織る。町家と暮らしと世代の絆

「納川の会のメンバーは、大工、左官、設計者、電気屋、行政職員など、多種多様である。それゆえ、自分たちのスキル、さらにはネットワークで多くのことをこなすことができる。ただし、「欲しいのは銀行員、税理士、大金持ち」ということだ。

ミーティングは頻繁に阿部家や口ウソクの家で行われ、酒が入り、夢を語り、アイデアが生まれる。個人個人の発想や力をより出しやすくすることがNPO法人となるきっかけでもある。

「組織としての感覚や、何かをやらなければ、という意識は希薄だが、やめよつと言ったこともない」「関わりやスタンスはそれぞれだが、足を引く張ることはしない」「活動はブレだらけ。二つの心で回っているのではない」「周知活動は余り行っていない」「周知活動は余り行っていない」

組織人間からすると、異邦人的な印象を受け、NPO法人として回っていくのかと、老婆心も起さないではない。が、それでいて人をひきつけ、動かすのは「まっすぐりが先ではない。どんなな人生を送りたいのか。どんな暮らしが楽しいのかが大切」というベースがあるからなのかもしれない。

その具現化を目指し、柱として取り組んでいるのが空き家再生である。世界遺産になったとはいえず、町並みを歩くと、崩れかけそうな建物に出会う。空き家を甦らせる基本は住むことであり、住んでみたくなる魅力を引き出さねばならない。

それには市や県の支援も不可欠だが、「まち興し」と「まち鎮め」の考えも大切だ。前者は、人が成長し、次代が育つこと。後者は、土地の声を聞き、土地と会話すること、折り合いを付けることであり、遊び心を持って手を加えずすぎないことである。登美さんは言う。

若い世代による「おやじ育成委員会」ができ、父の日の前夜祭として「ファーザーズデイ・イブ」が、阿部家で開かれたことも象徴的だ。「大森に住みたい」というだけでなく、「自治会にも参加したい」という若者も育っているという。

阿部家の空間とそこで発想された営みは、町家と暮らしと世代の絆を、紡ぎ、繕い、織る、まさに「納川」なのである。

世界遺産と大森の暮らし、まちづくり

平成19年7月2日、ユネスコの世界遺産委員会において「石見銀山遺跡とその文化的景観」が世界遺産に登録された。その効果は大きく、各種マスコムで大々的に取り上げられ、観光客も急増し、地域振興にとって大きな追い風となった。

一方で、世界遺産の目的である、人類共通のかけがえない遺産として、未来に引き継いでいくことが不可欠である。また、谷間の狭い空間、住まいを中心としている町家にとつて、交通対策、観光と暮らしとの調和、環境保全も避けて通れない。登美さんの言葉を借りると、世界遺産のまち大森にとつて、「まち興し」に加え、「まち鎮め」にどう取り組むかが、これからの大きな課題となる。世界遺産という大きな存在

在だけでなく、人が住むところであることを再認識し、日々の暮らしを大切にすることで、世界遺産の新たなあり方を模索し、示すことも望まれる。

そして、盃を傾け、夢を語ること、出会いやまちの魅力の(再)発見、大森を愛する心と守ること、古いものに新しい息吹を息づかせる取組……。こうした中で生まれる「喜び」が、今後とも、大森のまちづくりのエネルギーになっていくだろう。

【参考文献等】

「町並みづくり物語・石見銀山と生き方産業 西村幸夫」

「石見銀山四季暮らしものづくり」

いなとみのえ・織研新聞社

群言堂ホームページ・松場登美の阿部家日記

納川の会ホームページ

▼特定非営利活動法人 納川の会

理事長 河村政二

島根県大田市大森町ハ48番地1

ホームページ <http://www.nousen.jp/>

E-mail info@nousen.jp





石見銀山



天の怒り ポツプラのつむぎ



台風で倒れたポプラがつむぎ続ける物語ー
隆杉純子さんとポツプラ・ヘアレンツ・クラブ

愛着があるから、名前が生まれる

この話の主役である、「ポツプラ」と名付けられたポプラの木は、広島城に接する中央公園自由広場（芝生広場）の西側の基町環境護岸と呼ばれる川辺に立っている。

名付けのきっかけをつくった隆杉純子さんは10年の東京暮らしを経て、再び故郷広島に戻った。

知人から「今度、基町環境護岸で野外コンサートがあるから見に行かない？」と誘いを受けて、「基町環境護岸」という言葉に「護岸？何、それ？」と引かかった。

彼女は、フランスで全ての通りに歴史や文化を刻み込んだ名前がついていることにも感銘を受け

ていた。例えば戦勝記念日を記す「1945年5月8日通り」といったように。広島は8・6（ハチロク）という言葉が広島市民しか知られていないことも気になっていて、どこかにしっかりと刻むべきだという思いがあったそうだ。

そして、市内の主要な3カ所の川通りに愛称を付ける「川通りの命名プロジェクト」を思い立った。平成15年11月から公募を開始し、2カ月で3カ所の川通りに1000通のアイデアが寄せられた。そして、基町環境護岸の愛称は「基町POP」(ポツプラ)通り」と名付けられた。

彼女はこのプロジェクトを立ち上げるにあたり「川端、川辺、散

歩道というのではあまりにも味気ない。親しい人とは特別な名前と呼び合いたい」と言っている。その川岸のシンボルとなっていたポプラの木に「ポツプラ」とはつむぎのような語感を与えられて、一般名詞のポプラは「ポツプラ」と親しみを込めて呼ばれるようになった。

ポツプラをもっと知りたい。知ってほしい。

さて、自分たちにとっては特別な存在となったポツプラだが、その生い立ちはよくわかっていない。そこで、この木のことをもっと知りたいと来歴を調べ始めた。被爆樹木ではないようだ。調査の結果いくつかがわかった。

戦災復興が軌道に乗り、街の緑化が進む中で、ポプラの苗木は早く成長する木として市内に数カ所あった苗は(苗を育てる田んぼ)で生産され、配布されたこと。そして地域の人手によって植えられたこと...など。

これらを平成16年3月に「ポツプラストーリー」としてパンフレットにまとめた。

同時に、この愛称を多くの人に知ってもらいたいと、基町POPの通りでピクニックを始めた。夏には、ポツプラの身長測定を行い、26mの高さがあることがわかった。1本のポプラの木を囲んで、仲間が増え、人の輪が徐々に広がっていった。

ポツプラが倒れた！

そうした活動を始めた矢先だった。平成16年9月7日、台風18号の強風によりポツプラが根こそぎ倒れた。対岸のビルから心配して眺めていた仲間が隆杉さんにすぐ連絡した。暴風が収まった夕方から有志が集まり、むき出しになった根を乾燥させないように、ホームセンターでありつた「コモを買い、根に巻いた。応急手当のためだ。翌日の夕方、有志の会議で、ポツプラの行く末について意見は分かれた。約60年が寿命とされるポプラはそろそろ天命だ。根の浅いポプラを水際に植えるのは相応しくない、次世代に託すべきという声もあった。しかし、最後の皆の

気持ちを一つにしたのは、この言葉だった。

「いま、見送るのは忍びない。つながつている根に可能性を託し、もう一度、同じ水辺に植えたい」。

多くの市民がポップラの再生を望んだ。この熱意に応えて管理者(国土交通省太田川河川事務所)が植え直す方針を固めた。

応急手当の第2弾は、葉からの蒸散を防ぐことである。もりメイト倶楽部Hosonuma、みずえ緑地(株)などの協力を得て残った根に応じたポリウムに幹や枝を切断した。

直した責任感のようなものもあったという。

そこで、今度はかつてこの水辺のデザインに携わった人たちを招き、当時の想いや将来の水辺のあり方を多くの人と考えるためのシンポジウムや展示などの企画展を開催した。

隆杉さんはこうした企画を通して「ポップラだけこだわってはいけない、もう少し緑地全体に関わりたい」と思い始めた。

そして倒木

から3日後に官民協働の「ポップラ植え直し」が実行され、樹高は半分の11mに切り詰められ、枝葉を落としたポップラが元の場所に植え直された。

この時に真剣に議論し、共に作業した仲間が、翌々に結成されるポップラ・ペアレんツ・クラブのメンバーとなっていく。

太田川・水辺のデザイン展

ポップラを植え直した後、この水辺の将来像をどう描くか、そのことに関心が向けられた。植え

作品「夕風の街 桜の国」との不思議な縁で活動が新たな展開を

平成17年、活動が思わぬ展開を見せる。原爆をテーマとして、数々の賞を受賞した漫画『夕風の街 桜の国』との出会いである。この漫画の舞台の一つが戦後および現代の基町POPRIS通りだった。

仲間は皆、この作品にひかれ、作者がこの史代さんが広島を訪れた際に、現地を案内する機会を得て、基町POPRIS通りで漫画を元にした寸劇を演じた。そして、これが後述する野外映画や野外コンサートなどを行う「ポップラ劇場」の始まりとなった。

また、東京に暮らすこうのさんが橋渡しをし、中野区平和の森公園に「ベヒーポップラ」(ポップラのひこばえ)の植樹が実現した。新展開を予測させる出来事となった。

ポップラ・ペアレんツ・クラブ誕生

より深くこの緑地に関わりたいと考えていた隆杉さんと、先進的な公共緑地の管理に踏み出そうとしていた管理者の太田川河川事務所の思いが共振して、複数の市民団体と企業の連合体で平成18年7月に「ポップラ・ペアレんツ・クラブ」(略称PPC)が発足し、河川事務所と管理協定を締結して緑地のお世話をすることとなった。

協定を作成する際には、何度も話し合い、単に草刈りや清掃などの管理を行うだけではなく「にぎわい創出のための実験を官民協働で行っていく」ことがテーマとなった。タイトルは「愛される水辺づくりのための協定書」となった。

定例活動は、草刈りとコーヒー休憩できるように、カフェを開くこと。真夏には、基町POPRIS通りは、日陰がなく居場所がないので、夜にキャンドルカフェを開いたりした。

また、次々と生えてくるひこばえの中から形のよいものを1本選び、平成19年3月に親ポップラから2メートル



東寄りに次世代を移植し育てることも、PPCの活動の二環として行った。

「夕風の街桜の国」 市民野外上映会

テーマとなっている愛される水辺づくりについて隆杉さんは「川に目を向けてもらいたい大切な場所と気づいてもらうこと、音楽会や上映会は場の雰囲気にも合ったものを提供すること、これらを継続させること」が大切であると捉えている。

この川辺を口ケ地の二つにした映画『夕風の街 桜の国』の野外上映は、まさに「この場所の大切さを実感してもらえらる」企画だと考え、劇場の協力を得てロードショー前に野外の上映会を試みた。会場は草を刈り残して円形劇場を作った。一般公募で参加者を募ったが、定員をオーバーして抽選を行った。また、地域の人にも多く参加してもらったことができた。

台風で開催が2日遅れになったが、監督も駆けつけて、印象深い野外映画鑑賞会となった。

夕風コンサート

公共緑地で有料コンサートや飲食販売などの実験を

「質の高い音楽を野外で」という思いから、平成19年9月29日「夕風コンサートVol.1」と題して有料の野外クラシック演奏会を開いた。

一般的に質の高い演奏は、プロの奏者による有料催事である場合が多い。よい演奏会を継続して実施していくためには、やはり鑑賞者から対価をもらう必要があると考えた。

野外の公共空間で有料コンサート

トを行うことは難しいが、PPCの社会実験として許可された。仕切りのない野外空間で有料エリアを設けるために、刈り残した草やバルーン(風船)、キャンドルで会場を囲んだ。

さらに、経費を少しでもまかなうために屋台を出してビール、ワインなどの飲み物、キッシュなどの食べ物も販売も行った。

ギターとバイオリンのアンサンブルで夕暮れから完全に日没するまでの時間帯、ドラマチックに変化する空間の中で音楽を楽しんだ。観客からは、キャンドルの配置やライトアップなどの演出が美しい、あるいは車や自転車通過する音がよいバックグラウンドになったという感想が多く、野外ならではの印象深いコンサートとなった。

天の怒りを感じる

隆杉さんは「台風に見舞われ、天候や季節に大いに影響される自然あふれるフィールドだということに忘れてはいけない。今後も、極端な気象や予測できない事態を天神の怒りと知り、私たち人間も自然の一部と気づくことだ」という。

平成19年は太田川でコノシロの大量死があった。温暖化現象だと大上段に振りかざす必要はなく、日々の生活ぶりを律したり、見直したり、小さなことを実践していきたいをうた。

おわりに「命をつなぎ、物語をつむぐ」

「今はすっかりきれいになってしまったけれど、かつてはバラックが立ち並んでいたことを忘れてはいけないと思う。戦後を見続けたポップラ

はその象徴。ポップラの物語をつむぎ、そして、基町POPPY通りを大切な場所の二つにしてほしい」という。

平成19年の夏、植え直したポップラは猛暑の影響か、残念ながら、早々と葉を落としてしまった。平成20年春の芽吹きが期待されたが一枚も葉を付けなかった。世代交代の時期が近づいている。

しかし、周辺には一本のベビーポップラがすくすくと育っている。樹高は7m、ベビーと呼べなくなった。いま、このヤングポップラが命をつなぎ、新たな物語をつむぎ始めた。親ポップラ似の堂々とした姿に成長し、風景をつくっていく過程も、楽しみのひとつだ。

〔追記平成20年11月、ポップラは伐採され、ヤングポップラへと風景は引き継がれた。〕

▼ポップラ・ペアレンツ・クラブ

広島市中区寺町5-15-1102

(松波計画事務所内)

ホームページ <http://www.009.upp.so-net.ne.jp/caq/>

E-mail caq@zd6.so-net.ne.jp



POP'IN



かよこの愛

広島かよこバス活用委員会

市民の夢、現実の壁

平成19年3月新聞に「市民の夢、現実の壁」と大きく見出しを飾ったのを覚えている人は少なからずいるだろう。平成14年8月に始まり5年間に及び、広島を大いに賑わせた日本最初のバスによるまちづくり活動、広島かよこバス活用委員会が資金難から休止状態に入ること

を報じるものだった。こうして祭型のまちづくり活動の場合、どうしても一定の資金が必要となる。従来の祭では、多くの場合、世話役が個人や企業を回り、情に訴えかけ寄付を募るのが常である。当然、世話人の負担は大きくなり、資金集めがネックで祭を続けられないというケースは多い。

当時の広島かよこバス活用委員

会は、レトロバスから引き継いだ「かよこ」というキャラクターがあった。このキャラクター「かよこ」は、お披露目パレードで大々的に紹介されただけでなく地元企業の協力もあって、一般への認知度は高かった。そこで会では、このキャラクターに活動資金を稼いでもらおうと考えた。つまり、会が広告代理店となり、祭やキャラクターを企業に積極的に売り込み広告費として活動費を捻出しようとしたのである。

かよこの会では、企業に対する広告媒体としてテレビによるイメージCM、「かよこ嫁入り祭」での花車や祭会場での看板広告に加え、会独自のフリーペーパーを発行するなどして、それらでPRを約束したのである。加えて全国規模で大きな話題となった「バスの日を譲ってく

ださい観光キャンペーン」というPR活動もするとしていた。理念を言えば、市民が祭を盛り上げれば盛り上げるほど、かよこという祭のキャラクターが多くの人に知られる。さすれば、そのキャラクターを商品や広告に利用する企業としても広告メリットが高まるのではないかと考えている。実際、その知名度の高さは、企業にとっても大きな魅力だったのである。第一回のかよこの嫁入り祭を行った際に、スポンサーが短時間のうちに潤沢に集まったことが物語っている。

このことに自信を深めた同会は、第2回目も同じように企業を集めプレゼンテーションを行った。いくつかの企業から手を上げていただいたものの、企業に対し示し

たメニューを全て約束どおり行うには、資金が足りなかった。結果、この記事がでた前日に当面の活動を断念という決議がなされたのである。哀愁という二文字が会を覆ったのはこのときだった。

生涯忘れえぬ5年間

決議がなされた日、多くのメンバーは居酒屋ののれんをくぐった。愚痴に終始すると思いきや、意外にもさばさばとした空気があった。平成14年から5年間にわたり、全速力で走り続けたような活動である。本体のバス作り、お披露目のイベントは言うまでもないが、それ以外にバスのミニチュア作りを皮切りに、子ども音楽劇、紙芝居、講談かよこ物語、アニメーション作り、企業を巻き込んだのキャラクター

ター商品の開発、他県に出向いての観光キャンペーン等々と、息つく間がなかった。その全てが綱渡り、まるでジェットコースターでかけ抜けた気分だ。あの頃を振り返って、広島かよこバス活用委員会の副会長で、かよこの生みの親、山城武之氏は、「かよこというネーミングは、当時、復元活動の関連商品を開発しようという会議の中で生まれました。

復元の会を一発で印象付けるキャラクターが欲しいという話の中で、全くの思いつきで可部の「かよこ」に横川の「よこ」をとって「かよこ」はどうかと提案しました。すると即座に決定、あれよあれよという間に物語ができ、講談となりアニメーションとなりました。



かよへの愛

悪ノリは止まるところを知らず、豆や酒、味噌に酔、願掛け袋等、様々なものに活用されました。やりすぎと肩をひそめる方もいらしゃったかもしれませんが、仕事としてやっているわけではないので、「どこかで」ダメならやめればいいさ」という安穩とした気持ちがありました。しかし、その安穩さが幸いしたのでしよう。次々と面白いアイデアが出てきました。

そして具現化していきました。面白かったですね。このときの経験は貴重で、私の人生の中でも生涯忘れえぬものとなりました。まちづくりは人生そのものですね。」と話す。

事務局長代行

レトロバスの復元が終わり、レトロバス復元の会から広島かよこバス活用委員会に名前を変え、さら新たな展開を考えようとしたときに会に参加してきた人がいる。その人こそ、現在のかよこの会の事

務局長の山口孝さんである。山口さんは横川がバス復元で狂喜乱舞していたとき、横川駅前会場を横目で見ながら通り過ぎ、別の市民活動のため廿日市に向かったという。

とのつながりが生まれ、広島市の八区覧会・八区物館のオープニング事業として行われた第1回かよこの嫁入り祭で深く関わるようになり、以後、バスの日を譲ってください京都キャンペーンでは、請願書を読み上げる大役を仰せ使いました。会議などで黙っていられない性格が災いし「ほんなら事務局長をしんさい」とふられたわけです(笑)。

なせ広島中の話題となった活動です。また、バス作りに参加していないものが、エラそうに、その活用方法を云々言えないと思いません。これは荷が重い「それだけ勘弁してください」と固辞したところ、事務局長代行という奇妙な肩書を頂くこととなったのです。一年間、中途半端な立場で取り組んできましたが、今年(平成20年)の初め正式に事務局長を拝命しました」と明るく話された。

新たな展開〜次なる一手〜

そんな山口さんにこれからの活動について聞いてみた。

『バスを作っていないことが一つの負い目となり、深く入り込めないでいましたが、逆に、私のようなものが主軸に加わるのも、一つの新陳代謝なのかなとも思います。』

その成立ちから、かよこの会といえは横川商店街というイメージを持たれる人が多いようです。商店街の人が会の土台となっていることは紛れもない事実ですが、実は町内会や社協とのつながりによる人の輪が大きな力となっているのです。

会長は三篠地区社会福祉協会の水戸川会長です。現在もふしぎ市やバス祭に参加し地道にバスの存在をアピールしていますが、それを支えるのは町内会、青少年健全育成協議会、子ども会育成協議会のメンバーであったりするのです。

一時の派手さは影を潜めているかもしれませんが、先だつてのバスの日も区民文化センターの協力を得て、映画「横川サスペンス」の上映会を開き、地域の子供たちに見てもらい大きな反響を得ました。また高速4号線が開通したことで、横川がサンフレッチェのホームグラウンドであるビッグアーチへのバスの出発点となったことから、サンフレッチェとのつながりも生まれました。会は今もますます元気で、常に次の一手を考えています。』と話す言葉は力強い。



若者の力を地域に

また山口さんはレトロバス復元から広島かよこバス活用委員会に至るまでの二連の活動を振り返って次のように話す。

『まちづくりという観点から見ただと大きなと思うのは、横川という街のイメージアップではないでしょうか。』

と話す。

具体的な例として山口さんは、『事あるごとに「横川は元氣じゃねえ」と言われます。イメージが先行しすぎていられるといわれることもあります。バス復元という中で、映画、芝居と多くの若者やアーティストに参画してもらい色々なことに取り組んできました。』

このことがいつしか何かやる街、面白いことをする街、元気な街というイメージを定着させたのだと思います。

イメージはとても重要です。実際、若者向けマンションが増えたり、若者向けの飲食店も増えたと聞いています。

そして何より街に演劇用のミニシアター「山小屋」ができたことが、象徴的出来事といえるのではないのでしょうか。

現在、そこを拠点にブメンシという劇団が頑張っています。こうした若者の力をうまく地域に生かし、まちづくりに取り組んでいきたいと思っています。』と話を締めくくった。

▼広島かよこバス活用委員会

広島市西区横川町3丁目1-18

TEL082-232-2434 FAX082-232-2436

ホームページ <http://page.freett.com/retrobus/>

E-mail kayokobusyama@yahoo.co.jp





酔狂で始まった まちづくり

楽しいまちづくり

それは今から36年前のある飲み会での話に遡る。

「まちをもっと楽しもうする面白いことを考えようや〜」元青年団の若手から声があがった。

まちには天領時代に繁栄した面影とともに、上下人気質ともいえる。金とお天とう様はついてくるというおらかな気風がみられる。これが数々の奇想天外な発想を現実のものにしてきたエネルギーの源になっている。

また、スーパーマーケットの入り口には「どうぞ道をお尋ねください」「トイレをお使いください」という看板がある。やさしさのある町でもある。

アイデアを生かした 奇抜な取り組み

街路灯のポール塗り、日本一のクリスマスツリー（翁山）街頭劇の上演、芝居小屋（翁座）の復活、町民が勝手に表彰する「町並み景観賞」、なまこ壁講習会の開催、ツチノコ探し等々取り組みはどれも生き生きとしている。

欽ちゃんが上下にくる！「欽ちゃんに人力車に乗ってもらおう」。「人力車はどうする？」こんな時150万円で人力車が売りに出ていると、飛騨高山から電話してきた若者。「今なら半額で譲ってもらえそうだ。約束するぞ〜」と矢の催促。当時、手元の金は20万円しかない。

「じゃ〜、仕方ない金の段取りは後で…」と即断即決。

後日、町民に呼びかけ寄付金を募ったところ80万円も集まった。上下人気質の面目躍如たる物語である。

山に灯りが。 なにやら楽しそう・・・

ツチノコ探しは、町の人から「居もしない生き物で観光客を誘致するとは」という批判を浴びて頓挫した。しかし、それで終わらなかつたのが、この会の元気なところ。同じ年の暮れには、もう別の面白いことを思いついて、しかも実行してしまつたのである。

上下が寂しいから、なんか面白いことをやって、他所から人にきてもらおうと「過疎を逆手にとる



*なまこ壁：土蔵・塗屋などの外壁に方形の平瓦を貼り、その目地を漆喰(しっくい)でかまぼこ形に盛り上げた壁
*欽ちゃん：タレントの萩本欽一さん

会イン上下」をやるとうということになった時のことである。

多くの人が来てもらおうには「過疎を逆手に」というタイトルでは面白くない。もっと面白いキャッチフレーズをと「過疎逆(かそさか)は、マツタケに勝てるか」というタイトルを考えた。

まちづくりについてマツタケ鍋をみんなで食べながら「ミニコミはマツタケに勝てるか」を語ろうと翁山山頂に集まった。それを見た町の人が「今日は何かあるんじゃないか。翁山に灯りがついて、えらいきれいじゃ。」と言われたのが、日本一のクリスマスツリーを作るきっかけとなった。

「翁山クリスマスツリー作ろう」のアイデアに同大賛成。早速電気工事に相談したら、「そんなことはできない」と断られた。それでもあきらめずとなく、電気の仕事をしていた人に相談してみた。「やる気になったらできる」といわれ、お金はないけどやってみることにした。

「資金のあるやつは資金をだそう。知恵のあるやつは知恵をだそう。何もないやつは元氣を出そう」と、町の人達に呼び掛けた。「10千円。電球を上げる作業には60〜70人集まった。

だが山頂から80メートル下まで木の枝の上に電球を下げるのは至難の業。試行錯誤の末、ガイドロープを先に渡し、電球付の電線を引っ張るといふ苦肉の策でようやく実現した。

あまりの大変さに「もうイヤだ！」と言う声もあったが、結局20年続いた。

ゆるやかな取り組み

町並み整備では古い町並みと建造物を残し、多くの観光客を呼び込むところが多い。(宮島、鞆、竹原、石見銀山等)

しかし上下町の取り組みは、あくまで町並みづくりであり、家の造作をする際には「なまこ壁にしよう」「室外機等は板などで囲いをつけよう」「のれんをさげよう」という緩やかな取組であり、見た目の古さを保つことに力点をおいている。

明治の作家、田山花袋の「蒲団」に登場する、警察署の火の見やぐらは、今も外観が保存されている。

この店を改装しようとした当時、この建物の所有者は、新しいものを取り入れて機能的な建物に変えることを考えていた。

しかし、松井さん達に、外観を保存するよう説得された。改修費も予定より多くかかるので大変困惑したが、結局町並みづくりに協力することにした。その結果、古いものを残したということで、完成後は、マスコミ各社が取材に来て、宣伝費をかけずに宣伝効果をあげることができた。商売にも大いにプラスになったと述懐している。

小さな資料館が町中に

個人資料館の多さに、今も残る上下人気質をみることでできる。

主なもので「メガネの真野(歴史的道具類)」「仙田商店(古仏



と刺し子)」「時永酒店(酒器醤油関連器具、資料の展示)」「末広商店(酒造資料の展示、骨董、土人形、等)」「スパー上下(切手博物館)」「永井硝子店(頼山陽資料の展示)」「上下画廊(ギャラリー)」「骨董市」非公開の「エクシードタクシー(ブリキのおもちゃ、マツダの古い自動車)がある。

現上下歴史文化資料館は、元藤永金物店を改装したもので、資料館建設までは、岡田美知代の生家(田山花袋に師事、小説「蒲団」のモデル)として温存されていた。

このため資料館に、居室や資料などが引き継がれ再現することができた。

上下の町並みを眺めるだけでなく、1時間くらいの滞在時間に終わるが、小さな資料館や、公の資料館があることで、上下での観光客の滞在時間が長くなっているという。

ようやく まちづくりの 芽がめばえてきた

上下町で特筆すべきは住民先行型の取り組みである。住民の取り組みは、昭和47年有志25名が妻籠宿(長野県)の視察にいったときにさかのぼる。あれから36年たった。

まちには電線の地中化や十里堂辻広場(トイレと憩いの場)も完成し、資料館もできた。

一方、平成18年府中市に合併し、駐車場の支援打ち切りなど町時代の独自性のある行政支援にも陰りがみえ始めている。

たしかに活動の輪は増えたが、地域全体の高齢化と重なりグループ自体も高齢化してきた。次の世代へのバトンタッチが気

になるところだが、上下町では、頼もしい後継者達が育っている。上下歴史文化資料館のパワーあふれる女性スタッフの守本さんが言う。



「歴史国道に選定されたら、すぐに何か実行に移さなくてはと考えました。二番煎じでもええよ、やってみようや。で始めたのが、ひな祭り。やってみたらお客さんが来ちゃったんですよ。」

これまで2月に上下に人が来るということがなかったんです。それが、ひな祭りをやったことで、来られるようになった。これから季節ごとにイベントをやって、年中上下にきてもらおうと思っています。」

上下地区にぎわいづくりネットワークという組織もできている。町内の様々なボランティアグループ、農家の人達、いろんな団体がつながって白壁の町に観光客を呼びこんでいこうとしている。

平成18年ににぎわい創出検討事業報告書が出されてこれからの上下のまちづくりへのアイデアが出されている。好き勝手に出された意見だけど、否定せずに、全部やっていこうと考えているという。

まちの人が変わった

まちづくりには時間がかかる。しかし上下町では、着実な変化がみられる。町を歩く我々取材班に、目が会うと町の人々が「こんにちは」と声をかけてくれる。ようこそ、いらっしやいという気持ちで伝わってくる。

メインストリートの薬局は最近改築したと紹介され、店の外から外観を眺めると、薬局のご主人が、中庭を見せてくれる



という。

後で聞くと、薬局のお客でもないのに、招き入れるということは今までなかったという。会の取り組みが、そこに住む人に着実に変化をもたらしている証拠である。知らない人でも、家にあるものをどうぞ見ていってくださいという気持ちで、町の人々に浸透してきている。

翁健康茶。これもその薬局が作ったもので、いままでもまちづくりに関わるきっかけがなかったが、ひな祭りであまりにたくさん人が来るので、商品を開発して売るといふことを始められた。こうした物が出来るということは、画期的なことだという。

松井さんたちがまちづくりの土壌をゆくり作り作ってきた活動がこういう形で芽びいてきている。

メインストリートで行事をやれば、沿道の店も出店するようになってきた。近隣の農家から野菜も並ぶ。町の人達が自主的に参加するようになったという。

上下は、観光地化されすぎていない。観光地にありがちな、映画のロケセットみたいな人工的な感じがしない。住む人が直接、訪れた者に笑顔を向ける。

観光客がどんどん来ることよりも「わあ、いらっしやい」という気持ちを大切に、ここへ来ればほっとする、また来ようかという気持ちになる、と言われることが大切だと考えている。

飲食店を経営していた岡田さんは、従業員には、とにかく人に

親切に、特に観光客には親切にと指導したという。道を聞かれたら、外にでて地図と鉛筆を持って、示すようにと徹底した。ソフトのまちづくりは、お金をかけなくても、効果があるという。

よそから来た人を大切にするのは、その人達の目、上下のここが素敵というところを大切にしたい、という思いもある。よそからの人の意見は、日ごろそこに

住む者が気づかない町の魅力と改善点を知らせてくれるからだ。「上下はいけいけでやって振り返ってみるとできている・・・というようなところがあります。これにもっと、分析力が出てくれればもっとよくなる。これからは、コーディネートやプロデュースする人材が必要になってくると思います。」と歴史文化資料館の守本さん。

上下町は、点ではなく銀山街道の宿場町として、街道沿いの町と繋がりがながら、面ですさらにまちづくりを進めていこうともしている。

▼上下町並みづくり研究会

会長 松井 義武
広島県府中市上下町上下1061
TEL&FAX 0847-62-3024



上下





喜怒哀楽で語るまちづくり

この「市民活動まちづくり読本」は、感情の代表選手として「喜怒哀楽」を取り上げ、それを切り口として、人と活動を紹介することから始めました。

もちろん、一つの感情だけ存在することはありませんが、いろいろな感情が入り交じる中で象徴的な「喜」「怒」「哀」「楽」ととらえてください。

みんなと共有する「喜」がエネルギーとなった。大森、大きく深い「怒」が熱い力となった。ポツプラ、祭りの後のような「哀」から次を模索する。かよこ、底抜けの「楽」が日常に根づく。上下。

これら象徴としての「喜」「怒」「哀」「楽」と絡み合った様々な感情の機微やまちづくり活動を、感じ取っていただければと思います。

まちづくりを含め、何かを生み出したり、育てたりするとき、発想や感性の大切さは、誰もが認めることでしょう。

では、その発想や感性は、何から生まれるかというところ、個々人の経験や知識がベースになっているはずですが、そこに感情という、極めて人間的、動物的な要素が入り込んでくるのではないのでしょうか。

例えば、芸能の誕生は、苦しみの中にあっても喜びや楽しさを求める感情が、公害の克服は、多くの人々の苦しみや悲しみ、怒りが、大きな要因になったはず。

まちづくりのエネルギー

これまで、非論理的にとらえられがちな、あるいはケンカの原因と言える感情を切り口にまちづくりを語ることは、それほどなかったのではないのでしょうか。

しかし、まちづくりに取り組んで

いる様々な人から話を聞く中で、感情を抜きにその活動を語ることはできず、さらに、感情はまちづくりを進めるエネルギーであり、それを省察する道標の側面を持っていること、一方で、感情が活動の停滞や停止の原因となることも学びました。

換言すると、感情の結集や調和・調整、絡み合い、コミュニケーションの在り方が、まちづくり活動を左右するのです。

人生としてのまちづくり

まちづくりと感情が極めて深い関係にあることと同じように、活動にかかわっている人の生活の一部またはほぼ全体に、まちづくりが入り込んでいることを再認識しました。

それは、生き甲斐であったり、喜びであったり、悩みであったり、「まちづくりは人生だ」を実感することになりました。

また、取材の中では、「まちづくりが先ではない、どんな人生を送りたいのか、どんな暮らしが欲しいのかが大切」という話もうかがい、漠然と聞き心地のよい「まちづくり」という言葉を、周知のごとく使ったことへの反省もありました。

なお、まちづくりというと、とても広い内容を含んでおり、個人個人によって、そのとらえ方は様々だと思えます。

この本では、まちづくりの定義に重きをおいていませんが、紹介する活動などに関しては、「私的な利益や空間などを超える形で住民等（企業、NPO等を含む）が参加する、地域や人々の安心・安全、豊かさ、幸せにかかわる取組の中に入るもの」としておきます。

広島を賑わす^{こぎ}

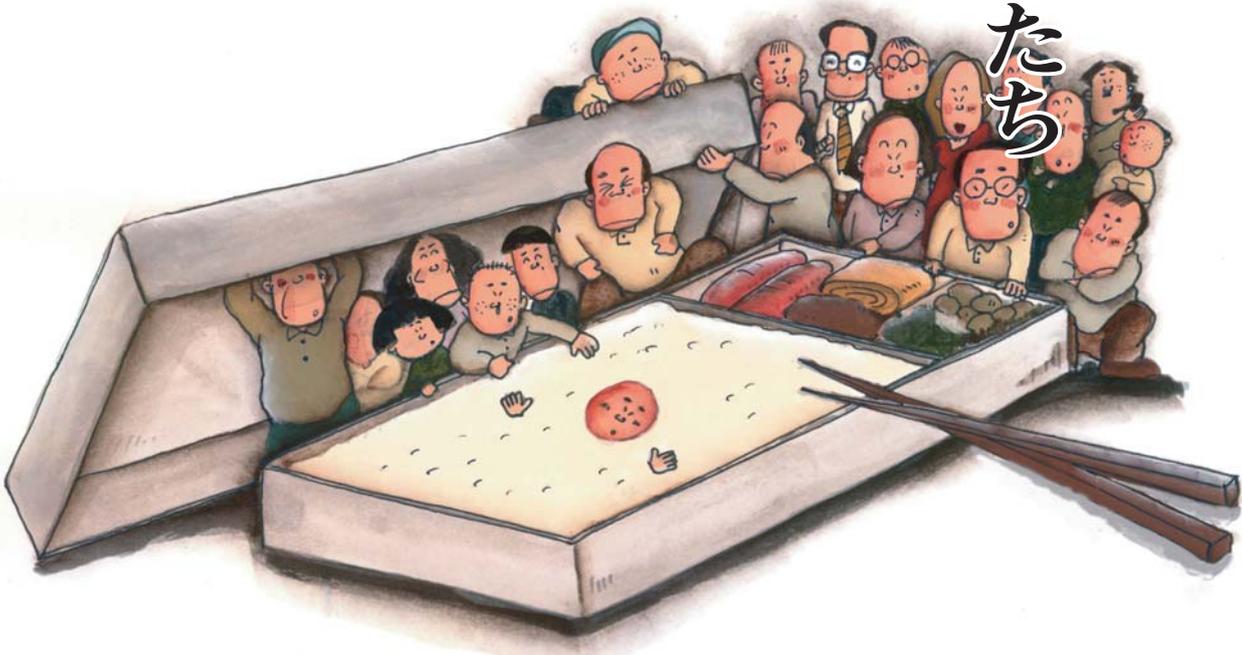
まちづくり弁当たち

世の中、様々な弁当があるようにまちづくりも多様です。

まちづくりの動機・きっかけ・取り上げる対象、取り組み方、出来ばえなど、それぞれに特色と苦勞、あるいは手抜きや楽をする過程など、個性があります。

こうした過程を弁当にたとえるなら、つくる動機・きっかけ、素材、料理方法・味付け、盛り付けということになるでしょう。まさに、まちづくりは、手弁当なのです。

まちづくり活動を弁当に見立て、特色や活動の概要などを紹介します。



ここで紹介する団体について

この本は、市民活動団体の方々と広島市などが、一緒に編集作業を行い、作成しました。

月1回のペースで会合を重ね、その話し合いの中から、取材先を決め、自分達の時間をやりくりして、取材に向きました。

集まったメンバーが話し合って、「これは」と思う団体を選んでいきます。

ここで取り上げさせていただいた団体以外でも、すばらしい活動がされている団体は、広島にはたくさんあります。

この本で取り上げた団体は、その中のごく一部であることをご理解ください。

広島を賑わす
まちづくり

弁当たち 1

ほのぼのの広島会



チキンライスに
はためく
ほのぼののフラッグ

いろいろなクッキー
もぐもぐハッピー
いろいろな活動
ほのぼのの感動

ランチの王道
カラッと揚げたて
安心安全、地エビフライ
安心お出かけマップ作成

「ほのぼののフラッグ」
掲げ車いすツアー

メンバーは障害を持つ
方々にも安心して楽しん
でもらえるよう、お子様
ランチの上にたなびく、
ほのぼののフラッグをい
つも気持の中心に掲
げ、日帰りのツアーを
企画・実施していま
す。

車いすツアーで
は、会の旗を立て
て、皆さんを誘導
しています。参加
者の笑顔を感じ
て、みんなで楽し
くやっています。

ほのぼのの広島会
活動分野:福祉
発足年:平成9年(1997年)
HP <http://wako.side.com/honobono/>

活動いろいろ「クッキー」
会では障害者の介助だけでなく、アルミ空き缶などの廃品回収活動で得た資金を元に、車いすやスポーツタイプの車いすを寄贈しています。
また、直接支援以外にも盲導犬寄贈をしている会員の支援活動にも取り組んでいます。潮干狩りなど、可能な限り障害者も健常者も一緒にできる活動を実施しています。活動はまさに



安心安全は
地産地消の「地エビフライ」の
精神で
障害者が安心して出かけられる町は誰もが安心してできる町です。障害者の人が出かける時に心配なのがトイレ。公共トイレはもちろん、トイレだけでも自由に使えるお店などを調査して広島市の中心部のトイレマップと障害者も気軽にに行けるお店を掲載した欲楽街マップを制作・無料配布をしています。
もちろんお弁当も安全安心が第一。お子様ランチの定番、エビフライも安心安全の食材ということで地元瀬戸内海のエビで作りました。



会員同士の交流も「みかんジュース プレイク」で
長くボランティアを続けて行くためには会の中が楽しくなくてはね、ということ、節目の年や例会を迎えた時は、記念パーティーを開催しています。
こうしたプレイク(休憩)で会員同士が仲良くなって会の運営もスムーズになります。
会員以外も参加可能な季節ごとの花見やビアガーデン、忘年会なども実施しています。



種々雑多ないろいろなクッキー。でもどれも食べるとほんのり幸せな気持ちになりますよ。

大人に愛される やさしい味あい お子様ランチ弁当

無理なく楽しくボランティア

ほのぼのの広島会

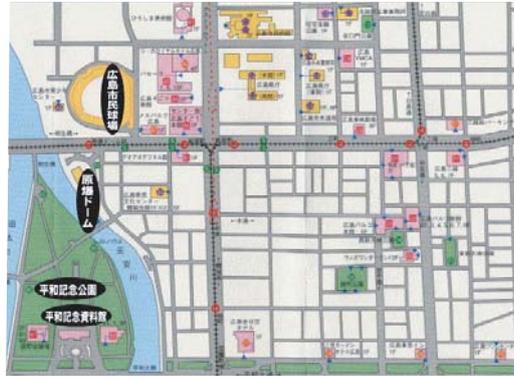
会のモットーは、無理なく楽しくボランティアです。
ボランティアする人も受ける人もほのぼのの感じを、お子様ランチとして表現しました。

子どもが好きなお子様ランチ、でも実は大人も大好き。大人になっても食べたらほのぼの懐かしく、やさしい気持ちになれるお子様ランチこそ、ほのぼのの広島会です。

ほのぼのの広島会 発足のいきさつ

「無理なく楽しくボランティア」をモットーに体の不自由な人たちが安心して気軽に外出できる町「ほのぼのの都市」をつくるために地道に活動を継続しています。

平成9年11月に5人の発起人から発足して平成19年6月現在で正会員は52名に増えました。



ボランティアをするといつても何を主な目的とするかどんな活動を行うか、誰を又どこを対象にするかなど基本的な考え方やルールなどいろいろと討議をしました。発足式もない地味な出発でしたが盲人向け野球「ほのぼののビーブ」ベースボールの模擬試合や平成11年6月に実施した「しまなみ海道車いすツアー」などをかわきり

にトイレマップ作成・配布、アルミ空き缶を集めての車いす購入や市社会福祉協議会ボランティアセンターからのボランティア要請への積極参加等々、幅を広げてきました。活動内容は大きく分類すると「ほのぼのの車いすツアー」「ほのぼのボランティア」「ほのぼの安心マップ」上図参照の三つです。

会員は経営者、自営業、主婦、学生等の様々な立場の人や障害者の人も混ざり障害者も健常者も出来る範囲で「無理なく楽しく」活動を続け、平成19年11月にはめでたく10周年を迎えました。

5周年、10周年と経過し、会員からは「出会い」「ふれあい」「生きてよかった」「私の人生を変えた」「素晴らしい仲間たち」「人生の転換期」「かけ橋」「支えあい」「感動をありがとう」などの声を聞きます。活動することによってさまざまな人から感動や感謝を頂くことをみんな実感しています。



広島はカフェテラスの先進地

まちのどこへでも運べる、ランチボックスのようなカフェテラス

カフェテラス倶楽部

河川敷での常設カフェテラス営業が認められるなど全国的に見てもカフェテラスの先進地となったのが広島です。

その広島をリードしてきたのが12年の歴史を持つ、カフェテラス倶楽部。

広島市のランチメニューはおまかせあれ。倶楽部の活動を弁当のメニューに例えるとコーヒー、盛り上げ唐揚げ、癒やしライスの3種。「要望があればどこにでも配達します。カフェテラスで街を楽しく賑やかに、そしてゆっくりしたひと時を堪能してください。



準備はおまかせ
迷惑かけぬ
宅配可能な
コンパクト弁当

「和み」を醸す
カフェ倶楽部
ウリはやっぱ癒やしライス

倶楽部はイベントの盛り上げ唐揚げ！あなたのイベントホットにします！

広島を賑わす
まちづくり

弁当たち 2

カフェテラス倶楽部

カフェテラス倶楽部
活動分野:まちづくり
発足年:平成7年(1995年)
連絡先:090-4695-3077
HP <http://www.c-haus.or.jp/cafe/cafe.html>
Email townwalk@fureai-ch.ne.jp



カフェテラスを配達

倶楽部のウリは何といっても身軽さです。カフェテラスの道具・材料の一式を専用の軽自動車1台で会場まで運び、準備、運営、撤収まで全て倶楽部が差配して、カフェテラスを実施します。その手軽さは、まちづくりのランチボックスです。

ただし基本メニューはホットコーヒーだけ。夏の時期だけアイスを出すことがあります。コーヒー代は公共空間では原則無料、バザー等で許可がいただければイベントに併せて料金をいただくことがあります。

イベントをサポート

カフェテラスはまちづくりのいろいろなイベントに組み入れられやすく、雰囲気がよくなり、話し合いの場にもなっており、まちづくりの活動を盛り上げる優れたものです。イベントの盛り上げ唐揚げといわれる由縁です。



癒やしリース

カフェテラスの基本的な開放的な空間で、自由に気楽なひと時を過ごすこと。いろいろな目標はあってもこの基本は変わりません。

月に一度必ず顔を出して話をしていく人、待ち合わせ、会合、カフェテラスはいろいろな場を提供します。

どんな場所で開店してもこの癒しリースだけは提供できるように心を配っています。ぜひ一度ご賞味ください。

カフェテラス倶楽部

発足のいきさつ

平成7年6月。はつきり言って、ちよつと疲れた中年オジサン達がカフェテラス倶楽部を結成しました。

「広島に、パリのシャンゼリゼのようなカフェテラスをたくさん

作り、のんびりと気持ちいい時間を過ごしたい！」

「広島には戦後の戦災復興事業で作り上げた、20数キロに及ぶ河岸緑地や平和大通りを初めとする緑豊かな空間がたくさんある。この広島の財産をもっと自由に、楽しく使えるようにしたいものだ。」

動機はかなり単純な想いでした。

が、実は、カフェテラスがたくさん出来れば、この街の魅力が一層増して、活気のある街になるのでは？とも考えていたのです。

その後いろいろな活動や出来事があった。初めて河川敷のカフェが認められた広島は、常設のカフェテラスの先進地になりました。

倶楽部開店以来、最低月に一度は何処かでカフェテラスをやり、平成9年10月から月に一度の定例カフェを第三土曜日の午後、平和大通りのANAクラウンプラザホテル前の緑地で行い、後は不定期で出前カフェをやるということになりました。基町の環境護岸基町ポツラ

通りでも第四土曜日の午後定例

カフェを行っています。

平成17年からは姉妹店「まちづくりカフェプロジェクト」が開店。京橋かいわいあしがる隊や駅前C級市場、二葉の里歴史の散歩道、緑地の管理を行うポツラ・アレッククラブ、まちづくり活動助成制度の発表会等から定期的にたくさんのお注文をいただいています。

広島を賑わす
まちづくり

弁当

3

可部カラスの会

ほうびはリンゴの
ウサギさん
これからも元気一杯
跳びはねます

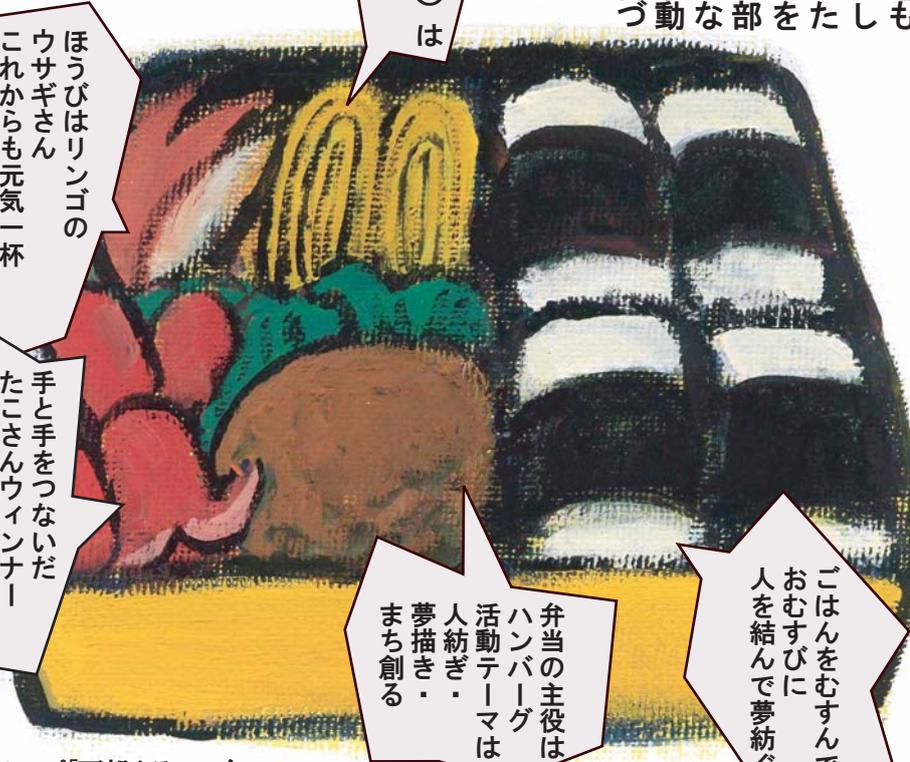
手と手をつないだ
たこさんウインナー
たこさんの力を持ち寄り
つながるまちづくり

活動の源(たまご)は
自由な発想

可部のまちが大好き
で、可部のまちをも
っともっと素晴らし
いまちにしていきたい
と、各種の活動を行
っています。可部の
のまちづくりへつな
がる様々な市民活動
・環境、文化、街づ
くり、人づくり...

みんなが楽しくや
おかんの運動会弁当
食べるんじや

可部カラスの会



ごはんをむすんで
おむすびに
人を結んで夢紡ぐ

弁当の主役は
ハンバーグ
活動テーマは
人紡ぎ・
夢描き・
まち創る

まちづくり市民グループ「可部カラスの会」

活動分野:まちづくり・環境

発足年:平成9年(1994年)

連絡先 〒731-0232 安佐北区亀山南二丁目1-3 事務局長 寺本 克彦

電話(FAX) 082-814-0162

E-mail karasu@ms9.megaegg.ne.jp URL <http://www.megaegg.ne.jp/~kabekarasu/>

カラスの誕生のいきさつ
平成8年に実施された市の事業が、ベースになっていました。可部のまち探検を行い、報告書を作り、まちの散策マップを作ったりしました。その後、事業は終了しましたが、解散するのとはもったいないと有志で集まったのが始まりです。

活動源のたまご

会費もなければ会則もない。そんな自由度の高さが10年以上の活動の原動力です。



自由な環境で、可部を愛し、誇りに思い、住んで良く訪ねて良いまちづくりを目指して智恵と汗を出し、飲み会を愛する多才な集団、可部カラスの会。自由な雰囲気の中から生まれるアイデアの卵を大切にし、どう料理するかがメンバーの腕の見せ所、弁当の見せ場です。

弁当の主役ハンバーグ

カラス特製弁当は、原則、美味しいものなら何を入れても自由ですが、それは弁当の主役がドンとあつてこそ。

決まりごとの嫌いなカラス達の活動を引つ張るのは熱き想いを一言で言い表した活動のテーマです。様々な思いをかきまぜ、こんがり焼き上げると誰もが一目置くハンバーグのような存在です。会費も会則もない自由度の高

さが自慢の会ですが、皆で決めたテーマを運動会弁当のハンバーグのようにどんと中心に据えています。

ちなみに平成19年度年間テーマは、『これまでのまちづくり活動を基盤として、明日の可部まちづくり』の道標を樹立しよう。』です。

たこさんウインナー

おすすめポイントはその小さな力が結集していること。たこさんウインナーの足は小さいですが、集まればおいしさを発揮します。会員それぞれが自分の考えを持ち、議論して方向性や活動の内容を決めて活動を行っています。これからの時代、個人が責任と自覚を持ち、それが結びあい、様々な力となり、社会を支えていく、『ソーシャルキャピタル社会関係資本』が求められます。個々の力は小さなものですが、それが結びつくことにより大きな力となり、個々も光輝きます。そんな社会創りを、この可部のまちから発信していきたいと考えています。

カラスはむすび

カラスの役割は、「人・心・紡ぐ 夢・描く」こと。

たこさんの人と人の心をつなげるので、お弁当のたこさんのおむすびとして表現しました。

「人・心・紡ぐ」ために、カラスは、市民の団体として住民と行政の調整、住民市民の結束、手軽に参加できるボランティア、弱者支援、生涯ボランティア、住民の結束力の強化、といったまちづくりの黒子という役割

おいしいものが行き交う炊き込みごはん
街道交易の寺釜飯弁当

可部の町は、古くから街道の宿場町として、物が行き交い、商業が栄えた町です。地元のもの、遠い町から来たものが出会って、具材豊富な炊き込みご飯ができました。

可部夢街道まちづくりの会



を担います。また、「夢を描く」ために、住民サイドからのまちづくりのオピニオンリーダー、ローカルシンクタンク、まちのデザイン提案、可部全体のまちおこし団体として、住みよいまちづくりへの取り組みを担おうと考えています。結成10周年となる平成19年の会のコンセプトは「紡ぐ」。このテーマで「まちづくり屋台村」可部を開催しました。

「10年前を振り返ると、まちづくりは行政がやるもの、住民の意見を聞いても計画に修正を加える程度でした。しかし、そうしてできた町は、画一的でどこに行っても同じ様な町並みばかり。人情物語など町が内に秘めている魅力は影を潜めてしまいました。個性のない町は人情のない町、そんな町にはしたくないとの想いに賛同する可部地区のまちづくり団体等が一堂に会しゲーム感覚で情報交換を行い、これからの可部のまちや行政との協働について考えるイベントにしたいと思っています。」と書いています。

ほうびはリンゴのウサギさん
主な受賞歴

平成12年度 広島市街づくりデザイン賞、平成13年度 地域づくり団体 総務大臣表彰、平成15年度第21回 まちづくり月間 国土交通大臣表彰を受賞しました。

主な活動内容

■環境部門

- ① 水援隊活動 ② 根の谷川クリーンキャンペーン ③ 根の谷川水質チェックウォーキング&芋煮会

■まちづくり部門

- ① トイレは小さな美術館 ② 可

部のマンホールプラン ③ 寺山公園10年間ワークショップ ④ 可部線各種存続活動

■文化部門

- ① なつかしい可部の写真展 ② なつかしい可部の映画会 ③ 残してほしい可部写真展 ④ 可部のまち案内 ⑤ 歴史部会活動(高松山研究、昭和初期のまちなみ再現) ⑥ 郷土資料館開設運動 ⑦ 可部を唄おう

■ひとづくり部門

- ① 小中学校歴史・郷土学習出前塾 ② 公民館講座 老人大学等出前講座

弁当彩るひろしま菜漬け
街道彩るかよこの嫁入り

色よく、軽く
丈夫な山まゆ織り
古き良きもの
保存・再生

年に一度のまちめぐり
川ガニ、アユでおもてなし
街道賑わい 夢めぐり

ゆかりの材料を
炊き込み仕上げた
五右衛門風呂型釜飯
可部にゆかりの
ポンプ・かしの木



可部夢街道まちづくりの会
活動分野:まちづくり
発足年:平成15年(2003年)
HP <http://ww7.enjoy.ne.jp/~obara0420/>

広島を賑わす
まちづくり

弁当たち **4**

可部夢街道まちづくりの会

五右衛門風呂型釜飯

平成19年の会の活動を弁当に例えると、やはり五右衛門風呂型釜飯です。

可部駅周辺整備をきっかけに、地元住民の意見を反映させるため広場イメージ作りから活動を始めました。そこでの一番に出てきたイメージが、铸件のまちにふさわしく五右衛門風呂でした。



そのほか、バス停と駅舎までを結ぶ屋根や、情報掲示ケースに可部の伝統である格子のデザインを取り入れるなどの提案をしました。

置しました。このモニュメントにも、可部に縁のあるものをということで铸件の風呂釜や井戸ポンプ、かしの木が盛り込まれています。

街道交易の恵み

ひろしま菜漬け

平成17年9月、可部街道での歩行者天国を実現させ、横川―祇園―可部を結んだ「かよこの嫁入祭」を開催しました。

横川・祇園は晴天に恵まれましたが、可部はスタートと同時に無情の大雨。しかし、参加者はひるむことなく堂々の大行進、繰り出した数千名の沿道の人々とともに、歩行者天国を心行くまで楽しみました。

街道沿いの産物が行き交う可部の街らしく、ひろしま菜もやってきてお弁当を彩ります。



山まゆのふろしき

可部の町は、近世に「铸件の生産」「酒・醤油の醸造」「牛市の開催」「山まゆ織の商い」などが盛んに行われ、物資の集散地、商業の町、宿場町として栄えた町です。

山まゆ蛾の幼虫は、クスギ、ナ

ラ、カシの葉を食べて「まゆ」を作ることから、山まゆに縁のあるカシの木は駅前モニュメントにもなっています。

川ガニ・鮎・町めぐり

年に一回、町めぐりのイベントを開催しています。1300人あまりのお客さんが訪れます。可部の良さを知っていただければとの思いから企画しています。

地元町内会の方による名所旧跡の案内もあり、旧家の蔵出しもあり、地元食材の川ガニ・鮎料理ありで、賑わいます。

平成19年の町めぐりでは、会が月一回のペースで勉強してきた、町並み保存・再生ルール作りの学習成果を展示・配布しました。

こうした取組の影響なか、古い町屋の雰囲気を残した改修をすることも出てきました。



発足のいきさつ

平成15年3月頃に「可部駅周辺をバスセンターとして、また、バスとJRをつなぐポイントとして整備したいので、地元の意見を聞き取りして、まとめてもらいたい。」との相談が地元町内会にありました。

可部の街道は良い町並みなのでなんとかしようということで、周辺の町内会長と商工会の6~7人で相談し、市職員も同行して、まず横川、五日市を視察しました。

当初のメンバーで毎月例会を定期的で開催し活動を始め、平成15年に「可部夢街道まちづくり協議会」を発足させました。平成16年4月に「可部夢街道まちづくりの会」に名称変更し、それまでは町内会長ばかりでしたが、「可部カラスの会」のメンバー5名も入会しました。

その後「かよこバス」が受け皿となりイベントを開催し、活性化していきました。当初の活動であった駅周辺整備は、平成19年12月にほぼ完成となり、平成20年3月末日で事業は完了しました。会のホームページは平成16年11月から開設しています。

広島を賑わす
まちづくり

弁当たち **5**

NPO法人 雁木組

潮汐知らせる
I-Tシステム
海の香りのうしお汁

広島菜の古漬け
年を経て
いい味になり
ひろしま育ち

木で出来て
雁行の姿に似て、雁木。
味のしみた雁もどき

昔、川舟からの荷物の上げ下ろしなどに使われていた広島島の雁木。この雁木を使って乗り降りする水上タクシ―です。棧橋不要。安全にお近くの雁木までお届けします。

特定非営利活動法人

雁木組

季節のお刺身盛り合わせ
生きのいい刺身のような
粋な生演奏水辺JAZZ
プロジェクト

しじみごはん
黄金に輝く
大しじみ
雁木も応援
ザ・広島ブランド

広島
の川を
軽〜く
行き来して
雁木から
雁木へ
配達しま



特定非営利活動法人 雁木組
活動分野:まちづくり・環境・経済
発足年:平成16年(2004年)
電話 (082)230-5537 HP <http://www.gangitaxi.towns.net/>

雁もどき

雁木タクシ―の運航

元々は木で出来ていて雁の列のようにすかいに並んでいるのが雁木です。それをイメージしつつ、お弁当には、味のしみた雁もどきを入れました。

船でまちなかを往来する楽しさを、多くの市民や来訪者に知ってもらい、新しい広島の魅力づくりへとつなげることをめざして、雁木を利用した川の水上タクシ―(雁木タクシ―)を運航しています。

うしお汁

潮汐データのI-T化

干満の差が大きいことが船の就航にあたって悩みの種です。そこで雁木組では雁木を利用できる時間を瞬時に表示するWebシステムを独自に構築し、パソコンから誰でも利用できるサービスを提供しています。

潮の動きをお知らせすることから、潮(うしお)汁をお弁当につけました。是非、皆さんお試しあれ。

広島菜の古漬け

雁木の歴史性調査

京橋川に残る雁木と護岸は、先人の知恵と技術の集積です。雁木の先人の知恵と技術を、お弁当では、広島菜の古漬けで表しました。

「使いながら残す」雁木の歴史性調査プロジェクト。

歴史性の調査活動がきっかけとなって、京橋川の雁木群が選



奨土木遺産(土木学会)に選定されました。調査は市内全域に広がっています。

季節のお刺身盛り合わせ
水辺JAZZプロジェクト
京橋、稲荷橋河岸緑地で「水辺JAZZ」を開催しています。

川辺の風を感じながら生演奏を聴く、新しい川辺の寛ぎを提案しています。

しじみごはん

太田川産しじみを応援

太田川では、良質のしじみが育っています。雁木組は、内水面漁協さんと一緒にこのシジミをブランド化する活動を進めています。

お弁当では、大きくて黄金色のしじみを入れたごはんにしました。



雁木組 発足のいきさつ
 NPO法人雁木組は、平成16年に発足しました。広島川の川にある約400ヶ所の雁木を船着場として再活用する雁木タクシーの運航を通じて、人と川がもつと親しかつた時代の暮らしぶりをとりもどしたいと考えています。

メンバーは、「水辺の暮らしを楽しみたい」「船でまちなかを行き来したい」「船舶免許を活かしたい」「こんな無謀なことは放っておけない」(ー)という面々が徐々に増え、現在は20名のコアスタッフと、活動に賛同する200名の「雁木メイト」さんが雁木タクシーの運航を支えています。これまでご乗船くださった1万3千人(平成20年2月現在)のお客様も、雁木組の大きな支援者です。

発足当初、「夢語って波高し」と言われた雁木タクシー。確か



に多くの壁に遭遇しますが、課題を企画にかえて、果敢に取り組んでいます。そうして生まれたプロジェクトは

- ・潮汐データのIT化推進プロジェクト
- ・太田川産しじみの応援プロジェクト
- ・水辺JAZZプロジェクト
- ・雁木の歴史性調査プロジェクト

など、得意分野を活かしてそれぞれが活躍し、雁木組の奥行きを深めています。

多くのボランティアに支えられている雁木タクシーですが、安全運航が大前提ですからプロ意識をもった専門家集団であることを心がけています。

広島川は世界一!という誇りと、広島の水辺の魅力は私たちが伝える!という気概が雁木組の活力です。

広島を賑わす
まちづくり

弁当たち 6

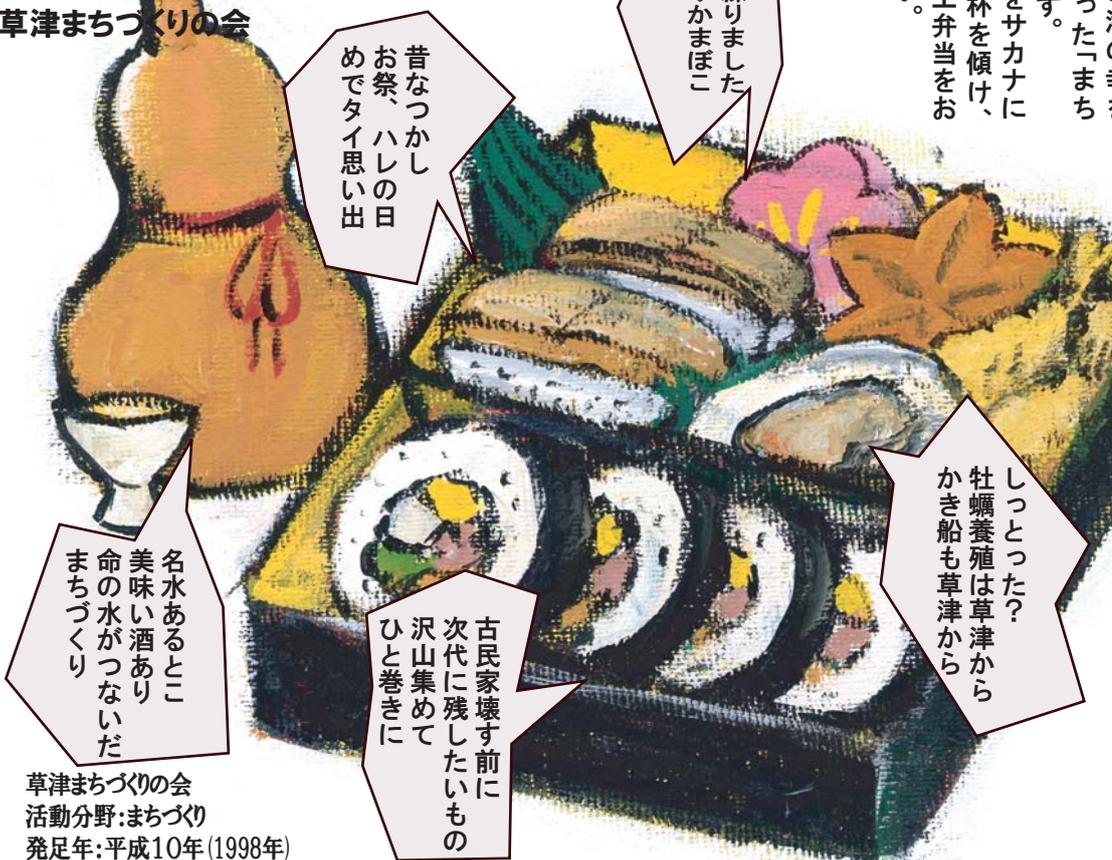
草津まちづくりの会

古くから港町として栄えた草津。その海の幸をふんだんに使った「まちづくり寿司」です。

新鮮なネタをサカナに“命の水”の杯を傾け、まちづくり郷土弁当をお楽しみください。

ち色の海の幸と命の水 みなとまち郷土弁当

草津まちづくりの会



昔なつかし
お祭、ハレの日
めでたい思い出

鮮魚使って練りました
繁栄映す飾りかまぼこ

しっとった?
牡蠣養殖は草津から
かき船も草津から

古民家壊す前に
次代に残したいもの
沢山集めて
ひと巻きに

名水あるとこ
美味しい酒あり
命の水がつないだ
まちづくり

草津まちづくりの会
活動分野:まちづくり
発足年:平成10年(1998年)
HP http://www.west21.gr.jp/1nishiku/nisiku-file/m_menu/kusamachi-HP/index.html

広島を賑わす
まちづくり

弁当たち

6

草津まちづくりの会

発足のいきさつ

昔の街並が残る草津の西国街道筋にあった江戸末期からの大石餅店が廃業・解体されるのを機に、歴史や文化についてこれから後世に何が残せ、何を受け継いでいくかを考えようと、平成10年にレクイエムの催しを考え、「大石餅お別れイベント」を実施しました。その終了後、せっかくの催しを一年きりで終わるのはもったいないという思いがあり、次年度も開催するため、会を持つ必要があるとの結論に達し、そこに「草津まちづくりの会」が誕生しました。

当初、まちづくりがどういうものであるかも分からず、草津公民館の好意で「町づくり学校」が開かれ、生徒を募集し、「草津まちづくりの会」も勉強しました。また、実際に岡山の勝山に見学に行ったり、先進の「可部カラスの会」「西条酒まつり」「千田わっしょい祭」主催の人達の話の聞いたりもしました。

そして年に一回、九月の第一土・日（最初は八月第四土・日）に『草津オープンミュージアム』を開催することにしました。地域の人々の協賛も得て、「住んでよかったわがまち草津」「ぶらりきんさい草津まち」のキャッチフレーズで活動を続け、その活動が評価され、「ひろしま街づくりデザイン賞」「国土交通大臣賞」を受賞しました。平成18年度には、夢街道ルネサンス推進会議から中国地方の歴史街道を訪ねる街道の一つとして、「夢街道」と認定されました。平成19年で『草津オープンミュージアム』は第10回目を迎えました。



カキ船見送った街並み
街並ガイド倶楽部
草津の神社仏閣、町並みなど歴史の残るところを、1時間コース・2時間コースと分けて希望に応じガイドしています。草津城址まで歩いていく健脚コースや、草津の町に残る鍔絵だけを回る鍔

港町が育む逸品かまぼこ
郷土史歴史研究倶楽部
「草津町誌」がある家から発見され、それを解読して、小学校高学年でも読めるような現代文に直していこうというところで倶楽部をつくり、毎月一回会合を持って、話し合いを進め、解読をしています。
現代文に練り直す、といえ、練り物かまぼこです。草津にはかまぼこ屋さんもたくさんあつたそうです。華やかに飾りかまぼこを入れました。



絵コースも考えています。
ガイドコースの中には、牡蠣養殖法の功績を称えた石碑もありま
す。
江戸時代に牡蠣養殖法を始め、大坂に向けた「カキ船」が評判を得て風物詩ともなりました。
具沢山の海苔巻き
町屋倶楽部
町屋倶楽部では、取り壊されていく古民家の鍔絵の切り取り保存などを行っています。いろいろ

な古民家の資料が集まった様子を見たくさんの海苔巻きに見立ちました。
美しい御幸川を取り戻そう
御幸川生き生き倶楽部
いい町にはいい川があるという考え方で草津の町を流れる御幸川をきれいにしようという発想で活動しています。
年三回清掃活動をし、小学生を交え、御幸川源流探検を年二回行い、その時水質調査も行っています。川に親しんでもらう

命の水がたなぐまちづくり
IT博物館倶楽部
草津千年の歴史資料を、草津公民館に設置したパソコン内にデータベース化し、公開しています。CDも発行しています。他の倶楽部をつなぐ総合的な役割のIT博物館です。他のおかずをつなぐものとして、草津の霊泉寺の名水と古くからある蔵元

ため、ハゼ釣り大会、笹舟レースなども行います。
大漁旗なびく時代もあった
昔なつかし写真倶楽部
草津の古い家に残る写真を集め、昔はこういう様子だったという記録を残すため集めたり、展示したりしています。お祭りやめでたい日などの写真もあり、お弁当には、鯛を入れました。

の名酒になぞらえて、お弁当につけました。

*鍔絵：漆喰(しっくい)を塗った上に鍔で風景や肖像などを描き出した絵

弁当たち 7

コイン通り街づくり委員会

さすがお金が生まれるまち
造幣局のある五日市のコイン通り。
みんなが集まって街づくりを
はじめて10年が過ぎ、
今は神様までが
やってくる賑やかな街になりました。

みんな集まれ！七福神弁当 神様もやっこくる？

コイン通り街づくり委員会



春の小川の川エビ出現
元気に老いて寿、寿

毘沙門天は多聞天
まちづくり協議制度を
武器として
雑多の意見を
良く聞いて
雑魚天のように
深い味わいのある街

幟をホッタテ、パレードだ。
ゆったりお腹を引きしめよう

俄に乗ってる大黒様
大地に大きく根を張って
花も実もなる豊穡の神

祭りだ、めで鯛！
みんなニコニコえびす顔

日本に三つの造幣局
コインどおりの
フクの神

芸と財宝授ける弁才天
キラリ金粉
心の金持ち

コイン通り街づくり委員会
活動分野:まちづくり
発足年:平成10年(1998年)
連絡先:広島市佐伯区五日市中央四丁目15番3号
コイン通り商店街振興組合内
電話 082-923-1351
HP <http://www.coindori.jp/>

鯛 恵比寿く祭り倶楽部

コイン通りは季節ごとのいろ
んな祭りがあり、みんなお祭りを
楽しんでニコニコ恵比寿顔です。

4月には桜祭り、造幣局の「花
のまわりみち」、さくらパレ
ード、6月にはあんず収穫祭、7月
には土曜夜市、地蔵祭り、9月は
金持ち祭り、10月には秋祭りが行
われます。

コイン通り街づくり委員会
では、このうち、あんず収穫祭、地蔵
祭り、金持ち祭り、さくらパレ
ードを主催しています。これらは祭
りクラブが中心になって発案し、
実行委
員会が
実施し
ていま
す。



あん
ず祭り
は、街
路樹の
あんず
の木に
ちなん
で平成
10年9
月に第
1回を
開催し
ました。
翌11年
からは、
あんず
の実が
なる6
月にあ
んず収
穫祭も
開催し
ています。

その後、平成13年から、9月の
あんず祭りを「金持ち祭り」と名
を変え、発展的変更を遂げまし
た。平成18年からは平成16年に設
置された金持ち地蔵にちなん
で子ども達を中心に地蔵祭を実施して
います。

ホタテ 布袋くさくらパレード

毎年、造幣局の花のまわりみち
が一般開
放される
日にあわ
せ、コイ
ン通りを
片側通行
止めにし
て行って
います。



佐伯区
のいろ
いろな
な団体
が参加
。年々
、参加
者が増
えています
。さくら
パレード
は、平
成12年
4月、
コイン
通り歩
道のカ
ラー舗
装完成
を記念
して始
めました。

フク 福祿寿く全日本金持ち学会

全国に3か所しかない造幣局に
ちなん
で、「み
んな楽
しく金
持ちに
なるう
」をキ
ャッチ
フレー
ズに
「全日
本金持
ち学会
」を設
立しま
した。金
持ち稲
荷や金
持ち地
蔵を設
置し、金
持ち祭
りを開
催して
います。
豊かな
心の金
持ちに
なって
福を呼
び込も
うとい
うこと
で、フ
ク(ふく)
をおか
ずに入
れます。

毎年、金持ち祭りの日には神事
と全日本金持ち学会の総会が開催
されます。また、この動きを踏ま
えて金持ち神に会える街の整備が
計画されました。

金粉 弁才天、金持ち神に 会える街プロジェクト

弁才天は「才」が「財」の音に通じることから財宝の神様とされ
ています。

造幣局を社に、コイン通りを
その参道と見立ててミニメン
トを設置しました。金箔貼り体
験や金持ちブランド品の開発も
しています。

金箔貼り体験にちなんで、金
粉をお弁当にあしらいました。
「金持ち神に会える街プロジェ
クト」は、五日市商工会を中心
に街づくり委員会、市立大学、広島
工業大学などが集まって取り組
んでいます。

ゆくゆくは造幣局、植物公園
なども連携して、平和公園と
宮島の中間に位置する観光地に
仕上げてい
きたいと意
気込んでい
ます。



大根 大黒天、 コイン通り花クラブ

通りに花を咲かせる打出の小
槌を持った大黒天。大黒天を大
根に見立てました。南北1千400
mの通り沿いに植えられた、ア
ンズ78本、ハナミズキ45本、花壇
126ヶ所が活動場所です。

花クラブは、平成10年以來、バ
ザーなどで集めた自主財源で毎
月1回(花の苗植え時は2、3
回)、花の育て方、管理の仕方を
勉強し、水やり、草むしり、清掃
活動をして今日にいたっていま
す。

海老 寿老人、 春の小川復活大作戦

昔のように小さな生き物で溢
れた、歌にもあるような春の小
川を復活させたいと、「春の小川
復活大作戦」を始めました。川が
復活すれば川エビも棲むようにな
るかもしれない。エビは海
老。老の字から寿老人にみたて
ました。

平成13年
9月に、地
元の五日市
中学校の生
徒と一緒に
に、ドジョ
ウ、メダカ、
ヌマエビ計
7千匹を放
流。その後、月1回のペースで、
植物を植えたり、再度、メダカを
放流したりしています。



雑魚天 毘沙門天、 デザイン倶楽部

街並みをつくる上でのルール
「街づくり協定」を策定し、建築
工事や看板等がつくられる時
に、事前に建築主と協議を行っ
ています。

「街づくり協定」は法的な強制
力はありませんが、協力をお願
いしています。具体の協議はデ
ザインや建築の専門家の方で構
成する委員会が行います。協定
の主な内容は、

- ・歩行者の憩いの場とするた
め、建物の1階壁面を道路境
界線から1m以上後退しその
部分は駐車場にしない
- ・街の賑わいを出すため、低層
階は、極力店舗にする
などです。

区役所建築課の協力で、建築
主に街づくり委員会と協議をす
るように言ってもらい、成果を
あげています。



COIN STREET

発足のいきさつ

きっかけは商店街振興組合の「C.I.
事業」です。この中で「花ハッピーコイン通
り」というキャッチコピーのほかにいろいろ
なまちづくりの提案がまとめられました
が、その中の建築物事前協議制度を
実施に移したいと区役所建築課に相談し
たのが始まりです。

その後1年間、協議制度の勉強会をや
り、ルール案をまとめ、いよいよ商店街振
興組合だけでなく広く住民や地主の
人、大学の先生など応援団にも加わって
もらい、「コイン通り街づくり委員会」を
立ち上げました。この発足会で現在の花
クラブ、デザイン倶楽部など4つの部会
がスタートしました。

それから10年。今では全日本金持ち学
会、あんず祭り・地蔵祭り・さくらパレ
ードなど各種行事を行う実行委員会など
たくさんの方がおり、それぞれユニーク
な取り組みを行っています。

全日本金持ち学会は、「お金」にまつわ
る名物を作り、景気のいい話で不景気を
吹き飛ばしたいと、鳥取県の金持(かも
ち)神社のお取り次ぎ所や金持ち稲荷の
設置などを実現させてきました。

「金持ち神に会える街プロジェクト」で
は、造幣局を社に見立て、コイン通りを
その参道と位置付けて、日常と少し違っ
た体験のできる作品を計20点コイン通り
に設置しました。ささやかな願いを叶え
てくれる金箔を貼られた郵便ポストと
電話ボックスなどユニークで楽しい作品で
す。

あわせて、気軽に参加できる金箔貼り
体験や金持ちブランド品の開発などに
取り組んでいます。

広島を賑わす
まちづくり

弁当たち 8

高須二丁目西地区の
良い環境を守る会

地域に住む人と土地を持つて
いる人が、マンション計画を契
機に地域のあり方について協議
・調整を粘り強く重ねながら、地
区計画をまとめていきました。
じっくり時間をかけて住み心地
の良い地区にしていこうとバラン
スの取れた和風弁当です。

熟成5年モノの梅干し
地区計画決定まで5年の歳月

マンション建設計画をきつ
けに、建築物の高さを12m以下
とすることなどを内容とする
「地区計画」作りが始まりました。
都市計画決定までには約5
年の歳月がかかりました。これ
は、一般地域の都市計画の規制
に加えさらに制限をかけるわけ
ですから、住民の一部から「権利
の侵害である。」とする反対が出
たことへの粘り強い説得に時間
を要したからです。

スジの通ったふき
さらみ住み心地よく

地区計画決定後は、塀を生垣
にし、夏には打水をするこ
により、涼しく快適な環境を目指
してはどうかと考えています。
ずっとスジの通ったフキのよう
に、気長に、しかし前を向いて爽

やかな界限を作りつていきたい
と思つています。

また、近隣の踏み切り問題(幅
が狭いため渋滞)についても、隣
接町内会などとともに引き続き
検討しています。

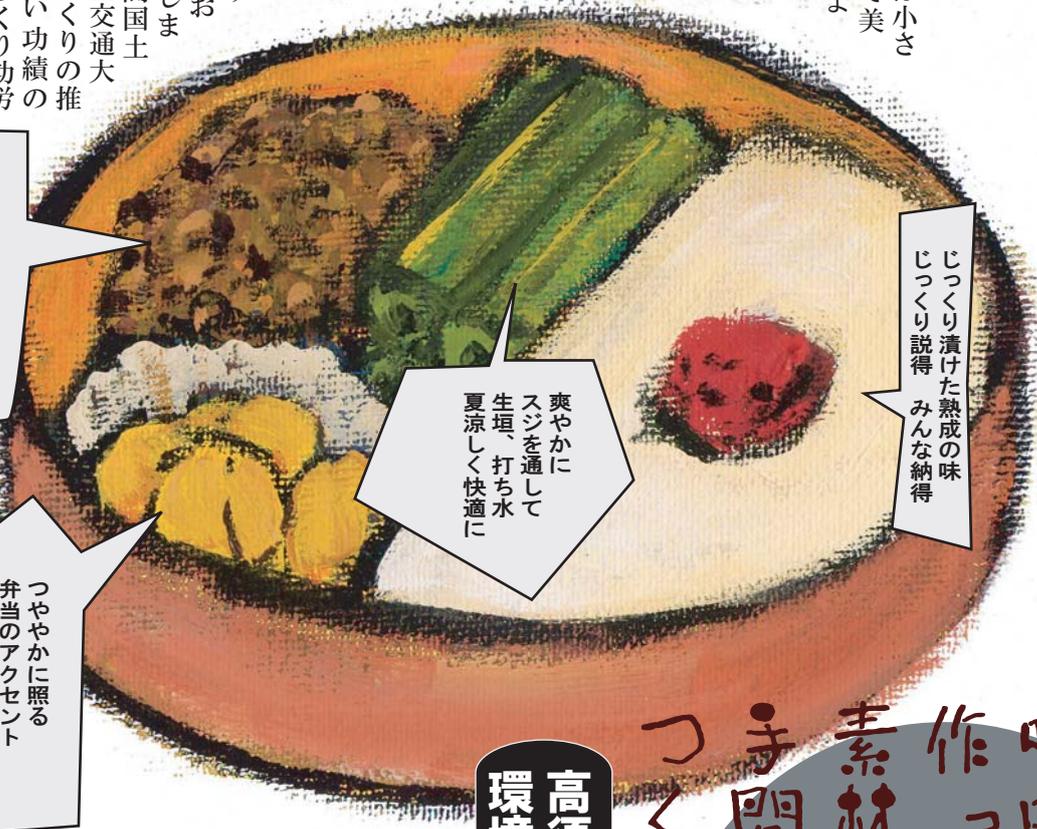
活動費はもちより
とりそぼろ

そぼろの一粒一粒は小さ
くても、そぼろ全体で美
味しいおかずであるよ
うに、活動費は有志が
持ち寄つて賄つてい
ます。町内会の全て
が地区計画区域で
はないなどのた
め、町内会費は
使つていません。
今後も引き続き
このように行っ
ていきます。

くりきんとん

平成19年度まち
づくり月間国土
交通大臣表彰受賞

5年の成果を評価
されたことを、つやや
かな照りをもつたくり
きんとんに見立てて、お
弁当のアクセントにしま
した。まちづくり月間国土
交通大臣表彰は、国土交通大
臣が、魅力あるまちづくりの推
進に努め、特に著しい功績の
あつた団体等をまちづくり功
労者として表彰するものです。



じっくり漬けた熟成の味
じっくり説得 みんな納得

爽やかに
スジを通して
生垣 打ち水
夏涼しく快適に

一つひとつは小さくとも
旨み集めたとりそぼろ
有志の持ち寄り活動費

つややかに照る
弁当のアクセント
成果を称え、今後の励み

じっくり
吟味して
作った和風弁当
素材厳選、
手間ひまかけて
つくりました。

高須二丁目西地区の良い
環境を守る会

高須二丁目西地区の良い環境を守る会
活動分野:まちづくり
発足年:平成11年(1999年)
連絡先:広島市市民局
市民活動推進課まちづくり支援担当
電話 082-504-2677
FAX 082-504-2066
Email toshikan@city.hiroshima.jp

広島を賑わす
まちづくり

弁当 8

高須二丁目西地区の
良い環境を守る会

発足のいきさつ

平成11年7月に、当地区内の土地の所有者（企業）がマンション建設計画（7階建て分譲住宅）を立案し隣接地権者等に計画の説明を行いました。これを契機に低層住宅主体の比較的閑静な住宅市街地の住環境を守ろうと地元住民の気運が高まり、高須二丁目西地区の良い環境を守る会が発足しました。

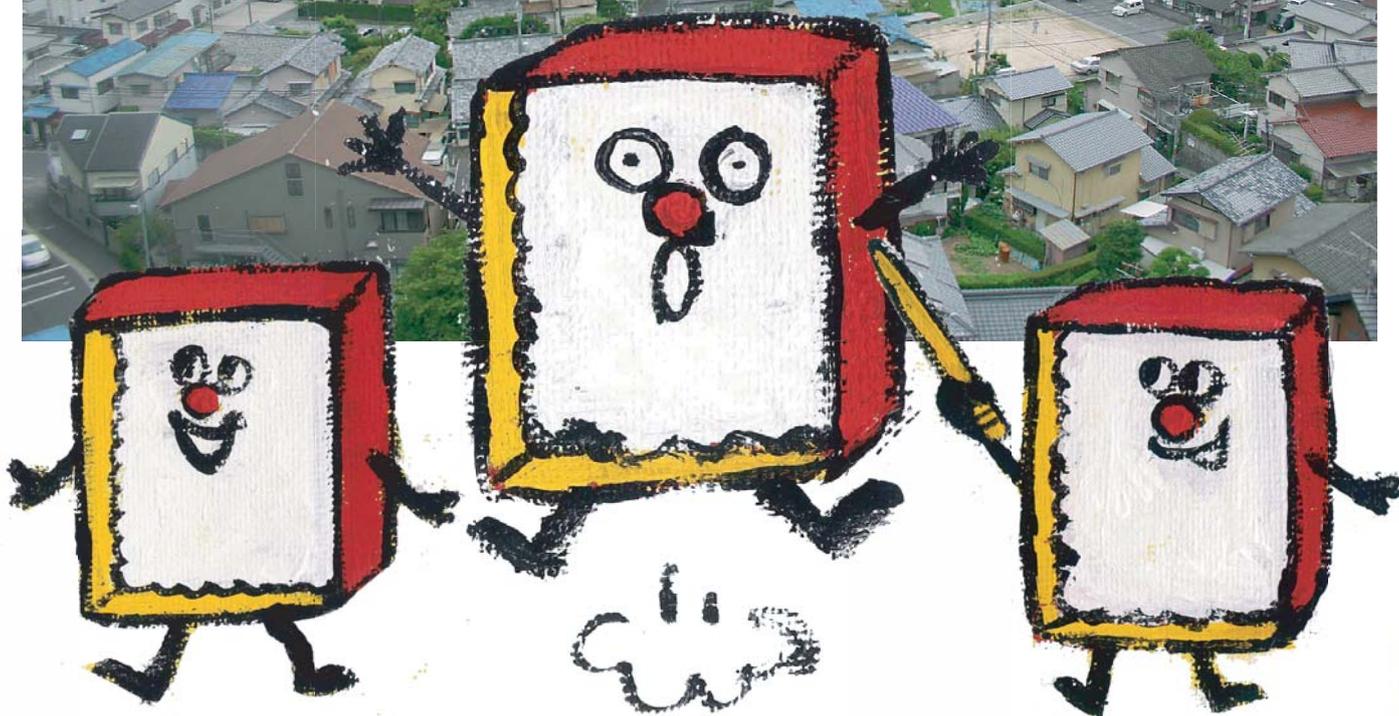
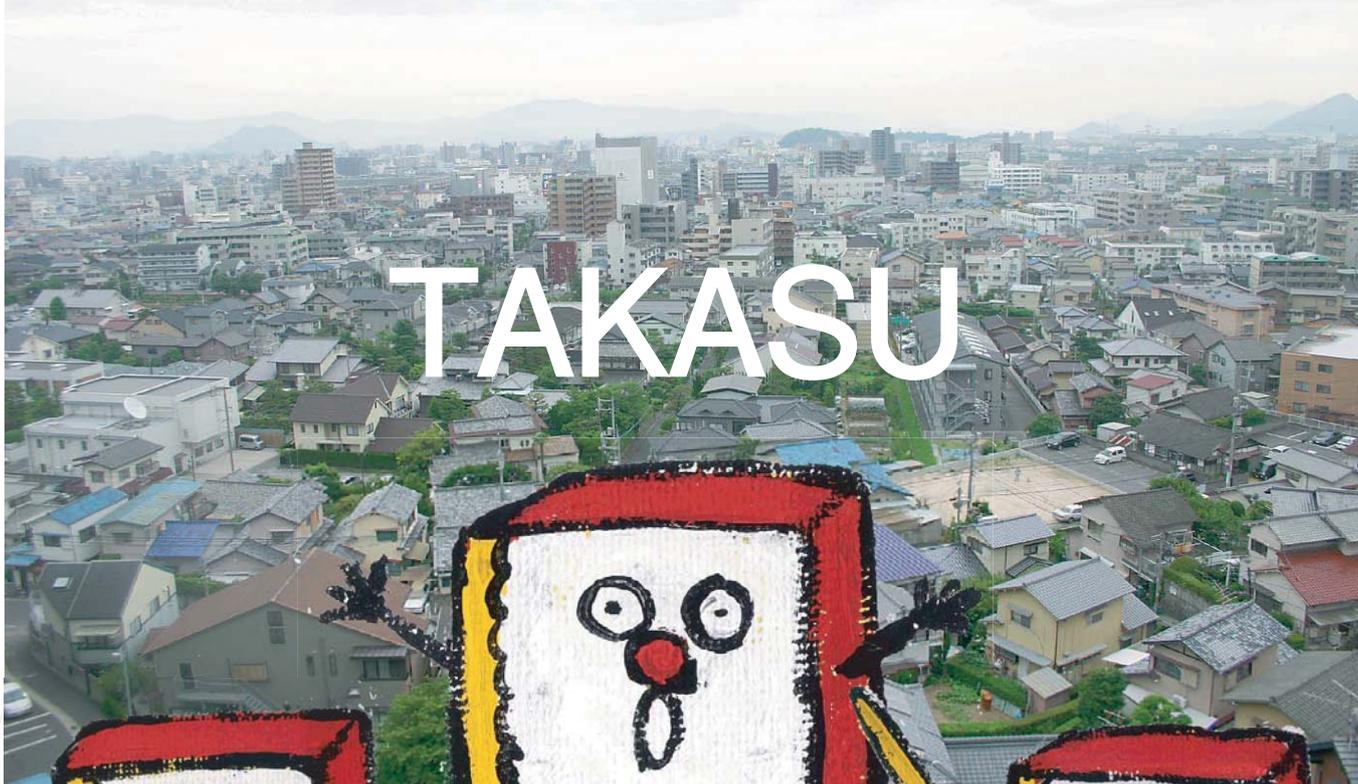
同会では、マンション建設に関する勉強会や当マンション事業者との話し合いを行うとともに、地区内を調査したところ企業の社宅等も点在するため、今後同様の問題が発生する可能性が高いことに気づき、建築制限に関する制度（地区計画、建築協定等）について勉強会を重ねることになりました。

平成12年1月と2月の2回の地区内住民へのアンケートにより、住民の意向やルールの内容等について確認を行った結果、同会の活動としては地区計画を

策定する方向に進むことになり、その後、これに反対する地権者や地区内に土地を所有する企業等との協議・調整を粘り強く重ね、概ねの合意を得て地元住民による地区計画の素案を策定しました。

地区計画案の制限内容は、①建築物の用途の制限、②建築物の高さの最高限度12m、③建築物等の形態又は意匠の制限（屋外広告物を自己用に限定等）の3点でした。

なお、都市計画に関する手続きとしては、平成15年4月に地区計画決定要望書を広島市へ提出し、これにより市は都市計画手続きに着手し、平成16年4月に都市計画決定をしました。



広島を賑わす
まちづくり

弁当たち 9

東観音台連合会



好き者がやる!! これぞ東観音
おまつり弁当の隠し味

東観音台連合会

「このままでは、まちに活気がなくなる!」それなら「町内の祭り好きでみこしを復活させよう!」

お祭り好きが集まって手作りで始めた手弁当のイベント。イベントだけではなく、息の長い取り組みも加わってバラエティのあるおかず(活動)が入っています。事務局という隠し味が利いた味深いお弁当。

タコの八ちゃん
八方美人
四方八方情報集め
情報新鮮
見のがせん

町並み爽やか
おのずと笑顔
笑顔は真っ赤な
おひさまトマト

日持ちの塩ジャケ
大事なもののジャケ
もりするんジャケ

愛情くるんだ
たまご焼き
ふれあい場づくり
親子で語らい

旨みたっぷりハンバーグ
ブレスト飲み会ミーティング
多彩な人財 イベント満載

ベランダ菜園レタス
安全安心
わんわんパトで
町内安全

成功の肝心要は隠し味
大事な段取り
事務がはかどり

東観音台連合会
活動分野:コミュニティ
発足年:平成17年(2005年)
連絡先:広島市佐伯区東観音台2丁目27-8中倉方
HP <http://kanmondai.com/rengoukai.html>
Email yoshiya@cc22.ne.jp

塩ジャケの財産管理委員会
による施設と備品の管理
財産管理委員会は、集会所の維持管理と備品管理をしています。町内会の財産を長く守る役目があります。そこでお弁当には日持ちする塩ジャケとして登場しました。

団地内の2つの集会所運営やみこしやテント等の備品管理。建物の維持管理と会場や空調機等の利用料金の授受、カギの受け渡し等が常時行われています。お店の協力が陰の力になっています。

みんな大好きハンバーグイベント委員会
町内のイベントを企画しています。皆の大好きなイベントを旨み(楽しみ)たっぷりのハンバーグにしました。約40人の多彩な人財「集団です。毎年イベントでは新企画を生み出すために、会議はブレインストーミング方式で、飲みながら会議がアイデアの源になっています。

無農薬ベランダ菜園レタス
安全・防災委員会
防犯・交通安全・自主防災等の取り組みグループ「わんわんパトロール」。町内の一斉安全点検、車のスピード警告、高校生の自転車マナー指導、避難訓練等を行っています。

町内の安全安心を担っていることから、無農薬ベランダ菜園レタスをお弁当にあしらいました。

たこウィーンナーの広報委員会のホームページ・新聞
町内のことに関心を持ってもらうために、身近な出来事を記事にした「東観音台新聞」の発行(全戸配布約1100枚)と行事の際にはポスターでもPRをしています。

一方、タイムリーな情報提供や会議の場以外での意見交換ではホームページが大活躍。掲示板への書き込みがニュース源にもなっています。イベント開催時には広報車(普通車に放送設備を搭載)が町内を回ります。

あの手この手の人寄せ作戦で四方八方に手を伸ばすたこウィーンナーです。

うめぼし事務局
連絡・調整・記録・準備等、裏方の活動は、そのまま会の活力と信用につながっています。

こうした目立たないが重要な役割の事務局を、梅干としてお弁当に登場させました。ブレインストーミング会議では、模造紙にキーワード記録したり、議事録の整理や配布という「隠し味」進行や議事録の1週間以内の配布という「隠し味」が利いています。また予算・決算は必ず監査報告をつけ町内会総会に提出します。

真っ赤なおひさまトマトの環境委員会
環境委員会は、きれいな町並みづくりを目指し、まちの緑化や、違反広告物撤去活動をしています。

違反広告のない町並みは、歩く人も爽やか。おのずと笑顔が出るというものです。そんな笑顔を真つ赤なおひさまトマトとして表現しました。

市の認定推進員14名を中心に、ついに「違反広告物ゼロ地域」を実現しました。

また地域で制

定している

「建築緑化

規定」の遵守

についても、

建築主に警告・

指導を行い、豊

かな居住空間づ

くりを推進中で

たまご焼きく青少 年育成委員会

青少年育成委員会は、子ども会の再生を支援しています。3町内会の青少年育成部と連携し、「みかん狩り」の野外活動を実施。子どもと地域の人とのふれあいの場づくりとして、「子ども農園」も開設。秋の収穫祭とフェスタでは、「子ども屋台」も企画中です。親の愛情と同じように、子どもを地域ぐるみで育てるといふことを、心のこもった卵焼きにしました。

ふりかけくビジョン研究会

「将来ビジョン(中期計画)の確立と達成度のチェック」や目の前の問題解決について調査・調整・解決へのサポート等を行い、町内会の「駆け込み寺」としても活躍しています。



発足のいきさつ

平成15年の春、長い活動の歴史をもった「観音西学区子ども会連合会」が解散。遠因は「役員になると大変だから…」ということと、子どもの参加意欲とは関わりなく保護者の子どもの会離れが加速したことになりました。子ども会解散の余波は、子ども会中心だった秋祭りのみこし町内巡行中止につながり、まちの活気も急速に下降線をたどることになりました。

それなら「お祭り好き人間でみこしを復活させよう！同時に町内会役員の負担になつていゝる夜店や屋台の運営もわれわれが引き受けよう！」と、まちの有志(現役世代の壮年層が中心)で動き出しました。東

観音台団地に3つある町内会も「それなら助かるので運営資金は負担しよう」ということで、平成16年に「東観音台フェスタ2004」が実現しました。

前夜祭と本祭りの二日間、みこしの町内巡行、神楽、夜店、音楽会、抽選会、オーケション等を行いました。まちに活気が戻り、年末のカウントダウン実施にまで発展しました。

翌年、町内会サポート組織として、従来の財産管理委員会に加え「東観音台連合会」をスタート。防犯、防災、交通安全、青少年育成、地域環境、広報などの各委員会(有志の地域NPO)を立ち上げ、事務局機能の充実が行われました。



東観音台連合会

ひろしままちづくりファシリテーターズ
まちづくりくろっこ隊

「黒子の美学」弁当

まちづくりには、表で輝く人もいますが、それを裏で助ける黒子もいます。

まちづくりくろっこ隊は、まちづくりの

課題を解決するためのワークショップという

話し合いの場で、ファシリテーションという

技術を使って、まちづくりのアイデアや

意見をまとめたりするのを

お助けする部隊としてがんばっています。

ひろしままちづくりファシリテーターズ
まちづくりくろっこ隊(まちくる隊)

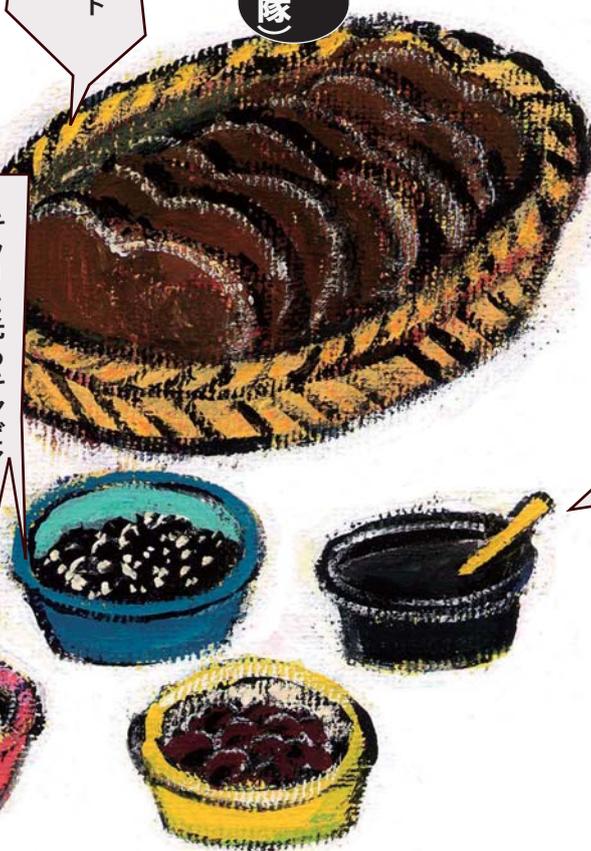
何でもはさんで、おいしいサンド
活動はさんで、おいしい会議

キラリと光るキャビア
キラリと光るキャリア

黒光りの
オリーブ

埋もれた宝のトリュフ
引き出すまちくる隊

ゴマを練り
企画を練る



黒パンサンドで
ワークショップをサポート
活動を黒子として支えていこう！ 応援しよう！ というのが、「まちづくりくろっこ隊」です。ファシリテーターとしてワークショップをお手伝いしたり、ワークショップのサポートなどを、企画段階から主催者と一緒に考えて活動しています。

まちづくり活動という具をサポートというパンで挟んで、おいしいサンドイッチに仕上げました。

まちづくりくろっこ隊の日は……

それぞれまちの活動に汗を流しています。構成メンバーは、会社員から主婦、NPO活動をしている人まで色々。構成メンバーがそれぞれやっているまちづくり活動も、山を守る運動から環境運動、オープンカフェやゲームの同好会まで色々。多種多様な人が集まっているところが売りです。

ワークショップの後はフラックコーヒード

ワークショップの後には、フラックコーヒード片手に、次に向けてワークショップの振り返りと情報交換をします。

*ワークショップとは

まちづくりに関わる様々な立場や意見の人が参加して、互いにまちづくりの意見やアイデアを出し合い、理解しあって合意形成を図っていく方法。

ビジョンを語り合ったり、課題を拾い集めたりといった協働作業を通して、参加者の前向きな思いをひきだすのがポイントです。

*ファシリテーションとは

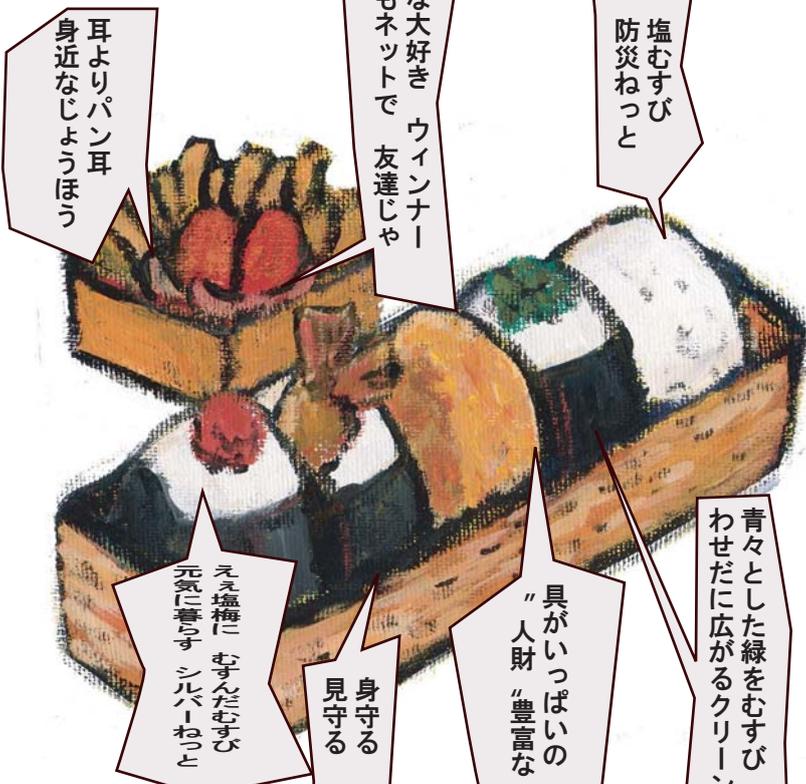
ワークショップなどの会議で一人ひとりの持っている経験や知識、アイデアを引き出し、市民参加のプロセスを促進しながら会議を進行すること。

ひろしままちづくりファシリテーターズ・まちづくりくろっこ隊
活動分野:まちづくり
発足年:平成18年(2006年)
連絡先:まちづくり市民交流プラザ(電話:082-545-3911)

早稲田学区社会福祉協議会

ギョツと握っただけなのに、 どうしてこんなにおいしいんだろう 彩りむすび弁当

より住みよいまちを目指して、
分野別にネットワークという
地域を結ぶ「お結び」弁当。
色とりどりにまちの人達を結びます。



イザという時 塩むすび
イザという時 防災ねっと

みんな大好き ウインナー
子どもネットで 友達じゃ

耳よりパン耳
身近なじょうほう

青々とした緑をむすび
わせだに広がるクリーンねっと

具がいっぱいの 炊き込みおこわ
"人財"豊富な わがまち わせだ

身守る 天むす
見守る ねっと☆パト

ええ塩梅に むすんだむすび
元気に暮らす シルバーねっと

早稲田学区社会福祉協議会
活動分野:コミュニティ
発足年:平成12年(2000年)
連絡先:広島市東区
牛田東二丁目12-23
早稲田集会所2F
TEL/FAX(082)225-3685
HP <http://www.com-net.city.hiroshima.jp/waseda/>



発足のいきさつ

平成16年1月から広島市まちづくり市民交流プラザで行なわれた「まちづくり学校」で、ファシリテーション技術を学んだ受講生達によって「この場だけではもったいない」という気持ちから、ひろしままちづくりファシリテーターズ・まちづくりくろっこ隊は作られました。

「まちづくり学校」とは、まちづくりが盛んな世田谷で行なわれている「まちづくり学校」を参考に、広島でもまちづくりの学校をとはじめられた事業です。

まちづくりに力を入れている建築士の方を校長に迎え、ひろしま未来大学でまちづくりを学んだ方、まちづくりを大学で教えている准教授、まちづくりを実践している市職員などの初代講師陣とまちづくり市民交流プラザ職員で何度も会議をし、検討を重ねて出来上がった学校でした。

そのかいもあったのか、実際にまちづくりをがんばっている方を中心に受講生が集まりました。こうして基礎編・熟練編・実践

編と3期に渡って「まちづくり学校」を修了した者を中心にまちづくりくろっこ隊ができました。

その後、「まちづくり学校」は、ファシリテーション講座などに形を変えながらも毎年行なわれています。
平成19年の講習は、まちづくりくろっこ隊も講師として参加しました。
その卒業生がまたくろっこ隊に入ってくれ、一緒に活動する仲間が増える仕組みが出来つつあります。



梅干むすび シルバーねっと

いい塩梅に人生を過ごしてもらいたい。そんな思いから、ふれあいいきいきサロン「よりのみち」を各町内で展開して、高齢者の居場所づくりをしています。一人暮らし高齢者の見守り活動や、健康増進のため、わせたのうた「想い」で「わせた元気体操」を作りました。



焼き芋までを楽しんだり、子どもも一〇番の家ウォークラリーの開催、町内マラソン大会などを行なっています。

炊き込みおこわ わが町ねっと

「わが町の通りに名前をつけよう!」と町のウォーキングコースづくりや、地域コミュニケーションの活性化に取り組み、わが町ねっと。いろんな具材の入った炊き込みおこわのように、いろんな人が集まってアイデアを出し合っています。

わが町点検、街路灯(防犯灯)の点検・増設、地域行事の多様化・活性化、青年会の立ち上げ、活動の担い手の育成、まちぐるみの防犯、あいさつ運動に取り組んでいます。

塩むすび 防災ねっと

防災訓練、近隣の助け合い運動、防災放送の点検・設備の充実、土石流3D体験、防災マップづくりなどの取り組みをしています。



イザという時に役立つ塩むすびのように備えを万全にしています。

天むすび わせたねっとパト

24時間、地域を網の目のよう

に見守るため、それぞれが行なっていたパトロールを連携した、早稲田学区で最初にできたネットワークです。不審者情報の収集、伝達、発信もしています。緊急時のパトロール体制も整えました。

青菜むすび クリーンねっと

青々とした緑をむすぶクリーンねっと。そこから青菜むすびとなりました。公園・道路のフン害対策、啓蒙活動、町内清掃、ごみ点検、公園等の花植え活動などを行なっています。

町内一斉清掃では、小・中学生が啓発ポスターを描いてくれました。

パン耳ステイック じょうほうねっと

地域の情報を発信するじょうほうねっとは、耳寄り情報満載のパン耳ステイックです。みんなに読まれる広報紙づくり、回覧板の徹底を心がけています。社協だよりに月間行事予定表を載せ、新聞折込にして配布したり、ホームページを設置して更新に努めています。

また、地域の中の情報発信者の横のつながりを密にし、技術向上のための勉強会を開催しています。



発足のいきさつ

早稲田学区は東区の牛田山中腹部の丘陵地に昭和40年代に開発された比較的新しい学区です。早稲田学区社会福祉協議会は、平成12年に牛田学区社会福祉協議会から分離独立しましたが、その時に、各町内会はもちろん、地域に関わる諸団体、幼稚園から大学までの学校関係、PTAなども構成する団体として組織されました。毎月の常任理事会でお互いの情報交換を行なっています。

平成16・17年度と、二年間をかけて誰もが安心して暮らせる「より住みよいまち」にしていこうとを目的に、地域住民自らの手で「福祉のまちづくりプラン」を策定しました。各種団体の活動状況の整理や住民アンケート、団体別ワークショップを行ない、その中から出てきた問題点や課題を、分野別ワークショップ(高齢者、障害者、子育て、コミュニティ、防犯・安全・防災、美化、広報、自然生活環境)で検討した結果、七つのネットワークでまちづくりプランを実施していくことになりました。

また、早稲田学区ならではの「いちおし」のプランを、住民の皆さんと「まあ、やってみようやあ!」と進めています。

- ☆やさしいあいさつのゆきかうまち
- ☆わせたのさかみちさかてにとつて
- ☆もったいないの二こころでまちづくり
- ☆「想い」のうたでこみゆにてい

この四つをまちづくりの活動の柱として、他のプランも進めながら、「わせたのまち」をより活気のある町にするよう地域で取り組んでいます。

広島を賑わす
まちづくり

弁当たち **12**

い〜ね! おおあさ
NPO法人INE OASA

菜種油で山菜を天ぷらに

休耕田を菜の花畑にし、廃食用油を回収して再燃料化し、町内を走るバスに使用する「菜の花プロジェクト」に全国で初めて住民主導で取組み、大きな話題となりました。現在では、この取組は全国に広がっています。

休耕田、転作田を利用した菜の花の作付から、廃食用油を利用したBDF(バイオディーゼル燃料)まで、調査・研究と実践に取り組んでいます。

菜の花ECOプロジェクトの菜の花から、菜種油で山菜を天ぷらにしてみました。この取組が進んでいけば菜の花畑は次世代の油田、も夢じゃない。

菜の花プロジェクトに 取り組む地域の食材色々

お弁当には大朝のほかにプロジェクトに取り組んでいる、滋賀県、青森県の食材ということ、で稚アユ(滋賀県東近江市)の唐揚げ、ホタテ(青森県横浜町)のバター焼き、ついでにリンゴ(青森)を入れてみました。
循環型社会をテーマとしたイ

ベントや講演会の企画・運営、環境学習の実施や都市と農村の交流など、絆を大切にし、生み出し・育てる活動に取り組んでいます。

極上の銀シャリ、おおあさ びゅあ菜米、は最高!

菜の花を発酵させた有機肥料を使用し、トラクターなどの燃料には植物性燃料を用い、農薬を従来の3分の2に抑え、
「びゅあ菜米」を栽培。企画・販売や情報発信にも取り組んでいます。

これを使ってお弁当に。おおあさ・びゅあ菜米は、平成19年「あなたが選ぶ日本一おいしい米コンテスト」で第3位優良賞を受賞しました。

菜の花の花びらの塩漬け、 おひたし、サラダ

菜の花をキーワードに各プロジェクトを連携させ、
個々の活動だけでなく、それがつながり合うことにより力と魅力を生み出しています。

そこでお弁当も菜の花を様々な使いました。菜の花の塩漬け、おひたしと菜種油を使ったマヨネーズで連携させた野菜サラダ。

菜の花が彩る地産地消と特産品の 花の環 ふるさと弁当

菜種油で匂を体感
菜の花畑は次世代油田

菜の花肥料でお米も作る
農薬抑えて資源も廻る

菜の花が
つなぐ近江、
青森
絆のおかず

菜の花つなぐ味のハーモニー
菜の花つなぐ町のハーモニー

「菜の花」そのものも、安全・安心、健康、おいしさ、
彩りを引き立たせるよう、盛りつけました。

特定非営利活動法人
い〜ね! おおあさ
INE OASA

特定非営利活動法人INE OASA
活動分野:まちづくり 環境
発足年:平成13年(2001年)
連絡先:広島県山県郡北広島町大朝2487
HP <http://www.e-jyan.jp/>
Email ine@oasa.jp

INE OASA

広島を賑わす
まちづくり

弁当たち 13

広島環境サポーター
ネットワーク

自然を愛し、
季節をいち早く感じ、
地球環境を大切にすると、
楽しいエコ弁当
旬の食材を使った
具たくさんのお弁当

5つの部会、山・海・川・ゴミ・国際理解の分野で環境保全活動を行っています。食材はいろいろですがネットワークが織り成す「ハーモニー」は、おいしき絶品。地球環境を大切にしたい気持ちがいっぱい詰まったエコ弁当です。

「コソコソ地道な調査を続け
命を育む水を守る」

海の生き物、水質の
小さな変化見逃しません
牡蠣よく育つ環境に

里山守って 自然を学び
いただくきのこ 自然の恵み

広島環境サポーターネットワーク



発足のいきさつ
平成12年7月 現NPO法人「INNE OASA」(いぬね おおあさ)の代表、保田哲博さんが、中山間地域が抱える過疎の問題と、大量生産・大量消費の中で出される廃棄物の多さについて解決策は無いかと思索していた所に「菜の花プロジェクト」(滋賀県愛東町、現東近江市)を知り、「甦れ おおあさ」をメインテーマに、空き農地を利用した『資源循環型リサイクルのまちづくり』に取り組み始めました。

住民主体による循環型の地域作りは初めてで、休耕田を菜の花畑にし、廃食油を回収して精製プラントでディーゼルエンジンに使用されるBDF(バイオ・ディーゼル・フューエル)に再燃料化し、町内を走るバスに使用しています。地球温暖化防止に向け、菜の花の栽培を通して二酸化炭素削減やリサイクル、ゴミ減量、新エネルギー問題などに取り組み、地域住民のきずなも

加わって、菜のまちづくりを実践しています。
主な活動としては、「菜の花エコプロジェクト」に加え、小学校の総合的学習の中で、学年に応じて菜の花の植え付けから、収穫・搾油、米作りなど環境学習を交えた「絆プロジェクト」、有機栽培米の「びゅあ菜プロジェクト」の三本柱で展開しています。
平成15年「全国過疎地域自立活性化優良事例表彰」平成16年「広島県景観大賞」県知事賞受賞。



デザートタイムは心が弾む
同じアジアに暮らす者
環境トークで会話が弾む

「もったいない」を
知らないのは
「もったいない」
わかりやすく
呼びかけます

広島環境サポーターネットワーク
活動分野:環境
発足年:平成7年(1995年)
HP <http://hiroshimakanyonet.com/>
Email info-web@hiroshimakanyonet.com

メインディッシュは とれたてのシイタケ

広島環境サポーターネットワークは森林、河川、海洋、生活、国際交流の5つの部会に分かれ活動しています。最初に紹介する森林部会では里山の保全や山地の自然観察、太田川の源流に関する学習と里山の整備、植物の観察会をしています。

雲月山の山焼きに参加し、八幡湿原や冠山での植物観察、おの自然の森では「ハツチョウトンボ」に出会い、龍頭峡で滝の音を楽しむなどしています。冬期は、廿日市市の大峯山で森林歩道を作るなどの保全活動をしています。山の中で出会う様々なシイタケ、エコ弁当には欠かせません。



おいしい水が 弁当を引き立えます

河川部会では平成8年(1996年)より太田川放水路の4箇所です水生生物調査などの定点観

測を年3回しています。底生動物調査や水分析(COD・全リン・全窒素)を行い毎年記録をまとめ冊子にして、環境省や県や市、大学へ報告しています。

干潟ではたくさん生き物がいっぱい。希少種のハクセンシオマネキに出会った時などは感激! その他、地域を限定してホタルを飼育して放流しています。生命の源である「水」を大切にしています。



海の幸、 マガキもわすれずに

海洋部会では平成10年より元宇品海岸で生き物調査を行い、生物の変化や水質の状況を確認し記録をしています。

最近では、カメノテ、オオヘビガイ、ヒジキなども発見され少しずつきれいな海になっているのが判ります。

弁当に「マイはし」は あたりまえ

生活部会ではゴミやリサイクルといった生活に結びついている問題を中心に活動しています。マイバックやマイはし運動を中心にゴミ減量への取り組みをしています。また、環境イベントでの「環境劇」では、もったいないや自然の大切さをテーマに、市民にわかりやすくエコライフを提言しています。

発足のいきさつ

平成7年12月、広島市環境局主催「広島市環境サポーター養成講座」を修了した人たちが集まって、広島環境サポーターネットワークが発足しました。翌年からは、太田川放水路での環境調査活動を開始し(河川・海洋部会)、機関誌「環境サポーター通信」を発刊。平成9年からは大峯山での森林整備(森林部会)、平成10年には台所から環境を考える生活部会、平成12年からは海外の研修生との交流活動を行う国際交流部会がそれぞれスタートしました。

平成19年12月末現在で、大学生から80代までの会員約600名が登録し、部会に所属して専門的に取り組んでいます。

ネットワーク全体で取り組んでいる事業としては、広島市が

世界の人にも理解を デザートはアジアフルーツ

国際交流部会では広島市を訪れるアジア圏からの研修生の方々との交流を通して「相互理解」を深めています。主に環境問題を柱にごみ問題など各国の行政現場が抱えている課題や取組について意見交換をしています。

主催する、こどもエコクラブ「広島地球ウォッチングクラブ」があります。干潟観察、里山観察などを通じ自然の大切さや地球環境について伝えていきます。

また、公民館や小中学校での総合的学習で、出前環境講座を実施。地域の川での水生生物調査、太田川上流探検、身近な廃材を有効活用するリサイクル工作など、市民レベルでの環境保全活動を行っています。

行政と協働して環境イベントも実施し、楽しく目的意識を持って活動しています。

【受賞履歴】

- 平成18年(2006年)「ひろしま環境賞」(広島県)
- 平成18年(2006年)「広島市民表彰」(広島市)
- 平成19年(2007年)「環境大臣表彰」(環境省)



カンボジアひろしま
ハウス建設運動

カンボジアは、内戦終結後、復興途上にあります。同じく廃墟から復活した広島市民が、カンボジアに何かできないか、ということから始まったプロジェクトは、カンボジアと日本が協力した、深い味わいのレッドカレーになりました。

一粒一粒おいしいご飯
一人ひとりの思う心

具とごはんをつなぐ
ココナッツミルクの
カレールー
人々の思いと資金を
つなぎ建物が完成

カレー材料積み上げて
じっくり煮込むルー作り
建築資金積み上げて
復興助けるハウスづくり

カンボジアひろしまハウス建設運動

カンボジアと日本の
コラボレーション
プロジェクト
カレー弁当

ひろしまカンボジア市民交流会
活動分野:国際交流
発足年:平成6年(1994年)

何でもありの建設資金

平成6年に開催された第12回アジア競技大会広島1994がきっかけで「ガンバレ・カンボジアプロジェクト広島支部」が発足しました。資金集めに広島フットワークフェスティバルでカレーショップを開き、アジア大会にカンボジア選手を招く手助けをしました。

その後「ひろしま・カンボジア市民交流会」が発足し、カンボジアとの交流を引き継ぎ、ひろしまハウスの建設運動がはじまりました。問題はひとつでも建築資金でした。

数千円という資金が必要なプロジェクトです。当初から見込みがあったわけではなく資金が集まったら、建築するところから資金をいただきました。弁当にカレーを選んだのも、いろいろな所から集めた資金を様々な具材になぞらえているからです。

カンボジアひろしまハウス1階部分は、ウナローム寺院の渋井修師氏を中心とした募金によりできています。また2階、4階部分については、広島を中心に全世界で行った募金活動の資金でできています。

カンボジアひろしま

ハウスの今

寄付やカレーショップの収入をもとにしていますが、出したのはお金だけではありません。実際、日本から多くの人が直接

カンボジアに出向き、建物のレンガ積みを行うなどして汗を流したのです。

そして平成18年にハウスは完成しました。宿泊所や料理教室、資料館、木工研修所、図書館として使えるよう多目的に作られましたが、実際、どのように運営していくかは皆の総意で決まりました。誰でも様々な形で交流できる作りだす平和のためのハウスとして育てていく予定です。

カレーを形作るごはんは人々の思いです。そこに資金という具材が加わり、ルーであるカンボジアひろしまハウスにスパイス一杯の運営アイデアを加え、味をぐっと引き締める。それがカンボジアハウスの特製レッドカレーです。

多くの人々の思い

ハウスは多くの人々の力とネットワークで作られています。

アジア大会にカンボジア選手が参加できるようにプロジェクトを始めた人、それに賛同してフットワークフェスティバルでカレーショップを開いて募金した人々、プロジェクトを引き継ぎ今に至るまで交流を進めている「ひろしまカンボジア市民交流会」の皆さん、寺院敷地内の土地の貸借交渉や、1階部分建築の主導者であるウナローム寺院僧侶(当時)渋井修さん、計画に賛同した建築家、大学生、その他、日本中、ドイツ、フランス、アメリカの世界中の人たちが協力してくださっています。

発足のいきさつ

内戦が終わったカンボジアがアジア大会に参加できるように「ガンバレ・カンボジアプロジェクト広島支部」が発足しました。プロジェクトは、カンボジアの地雷を撤去して作ったマラソンコースの選手選考会にも協力しました。

戦後復興中のカンボジアが復興した広島のアジア大会に参加するということは、ひとつのシンボルとなりました。カンボジアの選手がマラソン競技に参加して完走し、市民に感動を与えました。

平成6年12月からは、プロジェクトを解散して、「ひろしま・カンボジア市民交流会」が発足。カンボジアとの交流を引き継ぎました。

建設始まる！

平成7年7月、カンボジア・プノンペン市のウナローム寺院の僧侶(当時)渋井修さんを広島に迎え、カンボジア講座を開催しました。これをきっかけとして、「市民交流の家計画」について、渋井さんにウナローム寺院と敷地について交渉してもらおうこととなりました。

交渉の結果、敷地は180坪を借りることができるようになり、基礎〜1階の研修所部分の工事が着工され、翌年6月に完成しました。

平成7年10月には、カンボジア仏教会会長であるウナローム寺院のテップ・ポーン大僧正にも広島に来ていただき、市長に表



敬訪問をされました。

建築家の協力

広島市主催「ひろしままちづくり未来大学」で石山修教授(早稲田大学)が講演にいられた際、「市民交流の家計画」に賛同され、協力していただきました。

翌月(平成8年3月)には、2〜3階部分の基本計画案をいただきました。11月には、カンボジアにおいて、2〜3階の起工式を行いました。

また、カレージョップでの募金で購入した8トンのコメを9月の大水害の被災地に届けました。

カンボジアひろしまハウス竣工

カンボジアひろしまハウスが平成18年11月24日にととうとう竣工しました。出来上がった建物を運営するため規約や組織の変更が提起され、新規約で「ひろしまカンボジア市民交流会」と「」を除き、改称しました。

ウナローム寺院の仏教会会長と15年契約を調印(平成19年4月)し、NGOの日本語学校の生徒が管理人となつて、ハウスは開館しました。

NPOを支えるまかない弁当

特定非営利活動法人

ひろしまNPOセンター

ひろしまNPOセンターは、NPOを支援するNPOです。

NPOの中のNPOともいえるのかもしれませんが、

そこで、お弁当は、

料理のプロが食べる「賄い」としました。

メニューは、広島ならではの「お好み焼き」。

支援しているNPOに、

いろんな食材を提供し、

ひろしまNPOセンターは

その残り食材で上手に

お好み焼きを焼き上げます。

生地は、大きく広く、

広島NPOのネットワーク。

肉な活動もソバな活動も

やさしく包み込みます。

豚バラ肉ー
たっぷり入れて
広島NPO
元気モリモリ

大きく
広がる生地
活動を
やさしく
包み込みます

そばー
隅々に長く
つながる情報網

新しい味に挑戦
唐辛子
刺激を受けて
活動で汗かこう

広島を賑わす
まちづくり

弁当 15

NPO法人
ひろしまNPOセンター



キャベツ大盛
おいしさの決め手
キャベツの甘味を
引き出します

特定非営利活動法人
ひろしまNPOセンター
活動分野: NPOの運営活動に関する助言・援助
発足年: 平成11年(1999年)
連絡先: 広島市中区八丁堀3-1 職会館2階
電話 (082) 511-3180
HP <http://www.npoc.or.jp> Email info@npoc.or.jp

新しい味に挑戦
トッピング開発 調査・研究

NPO/NGO法・税制度改革研究会を開催。優遇税制やNPO法改正問題等に取り組んでいます。その他、NPOに関係する生涯学習、公共交通、まちづくり、ネット、フリーター、コミュニティビジネス、国際貢献、環境保全、企業のCSRなどの調査研究を行っています。

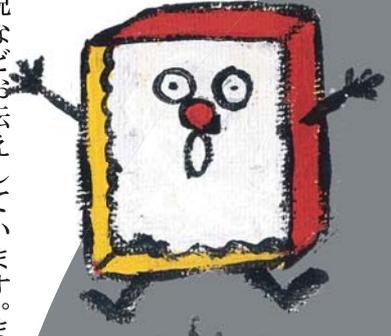
豚バラ肉たっぷり入れて広島
のNPOを元気にサポート
事業

資金的支援として①ひろしまNPO活動奨励賞 ②ろうきんNPO寄付システム ③ひろしまNPOサポート倶楽部 による助成金を配分しています。5年間で延べ150団体、1000万円を助成してきました。またNPO相談会を実施しています。この10年あまり、立ち上げや運営相談など200法人の立ち上げ、運営にかかわってきました。相談件数は2000件を超えています。

隅々に長くつながる、ソバ情報
報収集・提供

ホームページで、県内700団体のボランティア活動情報、530余りのNPO法人情報、助成金情報、NPO関連法律の

状況などお伝えしています。また、情報誌も発行しています。



キャベツ大盛、おいしさの決め手〜啓発・研修事業

福山市、三原市、NPO、廿日市、広島市などで、NPO理解講座、会計セミナー、コミュニティビジネスセミナー、などの研修や講座を開催、NPOの担い手人材育成にも力を入れています。大学生のインターンシップの受け入れも行っています。

大きく広がる生地、
ネットワーク事業

環境バイオマスネットワーク、市民福祉ネットワーク、災害ボランティアネットワークなどのネットワークづくりや、地域分野を問わないNPO/NGOのネットワークづくりに取り組んでいます。行政との協働や企業、労働組合などとのネットワークなど、他セクターとの連携にも取り組んでいます。

共同事務所運営

事務所を持ちたい団体に共同事務所を提供しています。入居団体のネットワークもでき、さまざまな共同事業も興ってきました。40団体が入居し、巣立っていかれています。



NPO for NPO

発足のいきさつ

平成9年市民活動促進法をつくらうと「ひろしまNPOセンター」を立ち上げ、全国のメンバーと署名活動や国会議員への要請、勉強会を開催し、翌年平成10年、名称は「特定非営利活動促進法」と変わったものの法制定にこぎつけ、早くも11年立ちます（法律ができて10年）。

NPO法人も広島県内で530法人を超えました。広島市内にはそのほぼ半数の270団体もの法人が活動しています。ボランティア団体・市民活動団体のアンケート調査で、各団体の抱える問題を調べたところ、「人・モノ・金・情報」という答えはここ10年かわってはいません。

取り巻く環境の変化はめまぐるしいものがありますが、団体の環境整備が追いついていない状況です。

「ひろしまNPOセンター」は、NPOの基盤強化を目的に、活動を展開していきます。

まちづくり

お悩み相談室

様々な活動を称して
まちづくりと言いますが
そこは千差万別
こうすれば良いなどと
いった定説・定石などは存在しません。

しかし、どうしたら良いのだろうか
と思ひ悩むことも多々あるのが
まちづくり活動です。

そこで、編集者自身の自問自答
という形でまとめたのが
このまちづくりお悩み相談室です。



○「広島を賑わすまちづくり弁当たち」で紹介されたいろいろな弁当(活動)を見ると、材料や見た目も違いますが、作り方もそれぞれです。

○どの団体も、素材にこだわり、調理方法や盛り付けを工夫しながら、試行錯誤の中から自分達なりのかくし味(手法、解決策)を生み出しています。まさに「まちづくりに方程式なし」です。

○この「市民活動まちづくり読本」の編集に参加した団体同士で、日頃活動する中でぶち当たった問題に対する解決策や手法(自分達なりのかくし味)を出し合いました。

○町内会や地区社協などの地縁型の団体と福祉や環境、まちづくりといったテーマ型の団体では、活動や団体運営に違いがあり、その悩みや問題点も異なることを確認しましたが、同時に組織として共通する部分もたくさんあることも分かりました。

○それを「まちづくりお悩み相談室」と題し、まとめてみました。自分達なりのかくし味(手法、解決策)なので、相談に対する答えは、「正解」が一つということにはなりませんでした。

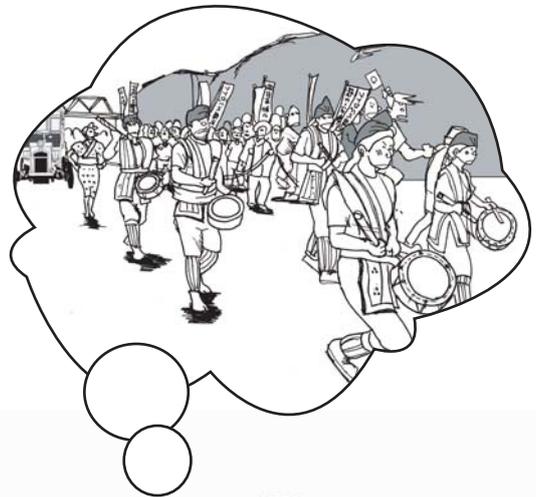
○考え方や手法の違いは当然との前提により、相反するようなことも、そのまま掲載しています。

○もとより、今回掲載した答えは十分なものではありません。また、掲載している答えに対し、異論、反論、あるいはもっと良い解決法をご存知の方たちもいることでしょう。この「市民活動まちづくり読本」は広島市のホームページにも掲載します。そこからさらに多くの人たちの意見を取り入れて、相談室の充実を図っていくとを考えています。

○こうした編集に携わった者の思いを受け止めていただき、この中から自分たちの活動や団体運営に合った考え方や手法を少しでも活用していただければ幸いです。

活動を活性化したい！

会を立ち上げた当初は皆やる気満々で会合のたびに活発な議論がなされていました。しかし、年を重ねるごとに活動がマンネリ化し、いまひとつ盛り上がりにかげます。活動を活性化するためにはどうしたら良いでしょうか？



注:本文中の【弁当(数字)】【お悩み(数字)】【知っ得(数字)】は、「広島を賑わすまちづくり弁当たち」「お悩み相談室」「知っ得情報」の番号を示しています。

やっつけて考えよう



まず、やっってみよう

どうすれば活動が活性化するか、実に悩ましいテーマです。ただ市民活動の良いところは、走りながら考える機動性を持っていることです。小さく生んで大きく育てる気持ちで取り組めば道は開けると思いますが。

例え壁にぶち当たっても、それを乗り越えむぐぐの余裕が大切ではないでしょうか。

継続は力なり

マンネリを恐れない

石の上にも3年という言葉のとおり、3年くらい活動を続けると周囲に活動を知られるようになってきます。だけど、そこで止めてしまつてはもったいない。始めた限りはまず10年やってみる心構えが必要ではないでしょうか。

ただし、組織を維持するために活動しないといけないという論理で悪循環に陥らないことが肝要です。

外目には同じことの繰り返しと見えても、わずかでも「PDS(計画行動評価)」のサイクルが働いていれば大丈夫です。毎回同じ内容でも大事なはその活動に魅力があるかどうかです。

遊び心は活性化の栄養素

自分達が楽しくなければ、参加者だつて楽しくないのは世の常です。しやれ、脱線たまには悪乗りも結構、ひとりよがり気をつけて、遊び心のある仕掛けを、みんなで面白がつて考えてみてはいかがでしょうか。

よき例が、「コイン通り商店街」の活動です。地域内に造幣局がある特性を生かし、金持ち神に会える街として、金持ち祭りの開催や金持ちブランド品の開発などの企画を次々展開。遊び心を大切にしながらも真剣な取組が、息の長い活動の秘訣ではないでしょうか。【弁当7】

生活を犠牲にしてまでも頑張る活動も実在

一方で、苦しくてシンドイ事を覚悟の上での、おおよそ「楽しさ」とは無

縁の活動が実在しているのも事実です。「放つておけない」という強い思いに突き動かされての活動は少なくありません。そうした活動を続けていく人の多くは、明確な「目標(目的)」を持ち、「小さな喜び」を「大きなやりがい」につなげながら頑張っています。

その団体の「必死さ」「信念の強さ」「崇高さ」などに共感する人たちが集まって、20〜30年も継続できている偉大な団体もあります。

何ができるかを考える

市民活動では、指示待ちではなく自らできることを探す楽しさがあります。それは市民活動団体が上下関係ではなく役割で動くからです。全体の調和や秩序を保つ必要があるため、むやみ勝手な行動をとる

ことはいけません。活動への参加は自発性、自主性に基つきます。

イベントへのちよこことボランティアの参加が、その後の活動のきっかけになることもあるので、自らの意思で活躍の場を見つけたら、自分から発案する気概が大切だと思います。

【知っ得1】

POINT

- 停滞の問題点を探る。
- まず「問題点は何か?」を見極める。
- ①活動が魅力的でなくなっていないか
- ②人間関係に問題はないか
- ③情報が共有されているか
- ④金銭管理で問題はないか
- 等々を皆で検証してみよう。

組織を見直したい！

長いこと活動している会(組織)の中で

特定の人に負担が集中してしまい

不公平感を感じることがあります。

どうしたらエエでしょうか？

どうしたらエエでしょうか？



対等な付き合いと助け合い

市民活動団体の場合、会社のような組織を嫌う傾向にあります。ですからポストというとき、役職ではなく役割分担と考えた方が適切でしょう。行政や企業等と異なり管理者が指示命令することはないからです。

対等な人間関係を保つことが、市民活動団体ではむしろ自然な姿なのです。そして他者への思いやり精神こそ市民活動の真骨頂。メンバー間では、感謝の言葉を心がけるようにします。それが対等な人間関係の潤滑油になっていきます。

異業種的な集団ほど面白い

経歴や技能、考え方や年代等が異なる人たちが構成される場合が多いのが市民活動団体です。人材は人財といわれるように団体の資産です。大切にしましょう。

この人材(資産)をうまく動かすことができれば、創造的な企画や活動に結びつき、団体の発展へとつながる可能性が高くなります。そのため

には、自分たちの力、特徴を知ることが大切ではないでしょうか。互いにメンバーの経験、得意技を知り合ひましょう。会員の多い団体では、一覧表を作っておくのもよいでしょう。

ボランティアは自分のできることを出来る時に、出来るだけ、責任を持って行うことが原則。



コアメンバーとしてのやりがい

ただし、コアメンバーは、一般のボランティアより負担が大きくなりがち。それを覚悟の上で下支えを淡々とこなしつつ、プロデューサー的な立場での意義、喜びを見出すことが大切です。やっつけられんと思ふこともあるでしょうが、きつと、人間的な成長となつて自分に戻ってくる

と信じて頑張ってください。一方でコアメンバーに責任が偏ら

ないように役割分担をして、周りがフォローしながらメンバー全員の責任感を養っていくことも大切です。

新人さんには ならし運転期間も必要

「団塊世代の地域デビュー」が話題になっていますが、組織人間が定年を機にいきなり市民活動(町内会等の活動)に入る場合は注意が必要です。

市民活動はヨコ社会(上下関係でなく横並び)なので、今まで慣れ親しんだタテ社会の論理を当てはめると失敗することが多いからです。

メンバー個々の特性を生かすには、チャンスを与えることですが、できることは何か、得意技は何か、世間話や杯飲んだときのコミュニケーションで情報をキャッチしましょう。

例えば、パソコンに自信有りという人には、活動の全体把握や過去の経緯が分かるまでは、「一緒に文書づくりに参加してもらおうのも良いでしょう。

当日だけボランティアにも やりがいのある仕事を

ボランティアにとつては何らかの自己実現感、満足感を得ることが活動に参加するエネルギーになります。

イベントなどで、当日だけ手伝うというようなボランティア参加者にも、ある程度責任ある役割を担ってもらうことで、やりがいを高めることが可能です。

そうはいつても、「責任があると引き受けたくない」という人もいます。ではなく「リータとなる人は「やつて」ではなく「お願いします」の精神でコミュニケーションをしっかりとつて依頼してみましょう。

ボランティア参加者は、正会員に一番近い存在です。また、事務局スタッフ予備軍でもあり、参加の満足度が高ければ、協力メンバーになってくれる確率も高くなります。

やる気人間で プロジェクト活動を始める

「よしやるう！」共感と心意気に燃えた仲間で、組織内にプロジェクトを立ちあげて活動を始めましょ

う。まず思いを形(行動)に移してみることで。まずは夢を語り、できることから始める気持ちが大切ではないでしょうか。活動実績ができてから、会としての正式な事業としての位置づけを考えるぐらいの積極性と柔軟性も必要だと思います。

言い出しつべが メンバーを集める

会議の場でプロジェクトを提案すると「じゃ、お前がやれ」ということになり、リスク負担まで背負い込むので、会議での発言を控えてしまうことがあります。

そんな場合、言い出しつべが、その場で自分に共鳴するメンバー募集を逆提案するとよいでしょう。そうすれば会議の参加者全員が責任を分担する雰囲気になり、その後の活動にも全員が責任をもつことになり、言い出しつべは責任もあるが、やり遂げたときの達成感や周りからの感謝の声など、喜びも大きいのも事実です。毒を食らわば皿までもです。がんばってください。【知っ得り】

困ったら応援を頼む

プロジェクトの報告書や会計等の書類作成は面倒な作業です。でも、逆にそうした作業が得意な人（公務員や銀行員など）もいるのが世の中です。そうした人材を会の内外から発掘するには、日頃からの人間観察と関係づくりが大切です。

まちづくり市民交流プラザでも組織運営に関する講習会が開催されているので、積極的に参加しスキルを身につけるといふ方法もあります。また講習会の講師と仲良くなれば、電話でのアドバイスも可能になるでしょう。【知り得20 22】

法人化を考える

活動の目標や内容の変化に応じて、NPOの法人化、町内会自治会の法人化が必要となってくることもあります。法人化のメリットとデメリットを見極めながら、検討してみましょう。【お悩み10】【知り得11 12】



まちづくり お悩み相談室 ③

事務局を作りたい！

会を効果的に運営するため
事務局を置こうとなったのですが
どんな点に気を付けたら
よいでしょうか？

事務局体制を整えよう

市民活動団体や町内会等では、組織のトップが事務局も兼務しているところが多いのが実情です。活動の初期段階ではやむを得ませんが、トップの負担が重くなり機能しなくなってくる恐れがあります。

思い切つて事務局を編成して任せてみたら、トップにも余裕ができて、新しい発想や良い判断ができるようになるかもしれません。組織としては、トップと事務局が独立している方が、お互いの負担が軽くなり、活性化にもつながります。事務局は大切です。

すっきり情報は事務局発

市民活動団体や町内会では、役員が自宅が事務局になっている場合が多く、コスト減や24時間対応できる利便性がありますが、情報停滞のおそれや共有化に難点があるので気をつけましょう。

「情報が集まるのはトップ（またはリーダーの誰か）なのか、事務局なのか」を確かめ、「情報のストック、整理、発信機能をどうするか」を考えましょう。

しっかり者の事務局が活動の源泉

事務局は、文書管理、会計処理、備品管理、記録、情報収集・伝達など多方面に渡つて、正確かつ迅速な対応が求められます。縁の下での力持ちとして、事務局がしっかり機能している団体は、活力に満ちあふれています。役員と違つて事務局スタ



ッフには多様な人材を引き込むことができます。また事務局機能が充実している団体は元気度も高いのが世の常です。

プロジェクトを支える

「気持ちはあつてもノウハウがない」「最後まで責任を取れるかどうか不安」と、言い出しづべになるには勇気がいるものです。そんな時は相談に乗り、暖かい応援の言葉でやる気を出した人を後押ししましょう。また必要に応じて応援体制を組むのも手でしょう。プロジェクトをサポートし、勇気を与えるのが事務局の役割とお考えください。



なかなか意見がまとまりません！

議論百出、「想い」が強いあまり
ひとたび議論となると中々まとまりません。
会議の運営について
良きアドバイスをお願いします。



しっかりと議論することが基本

会議は参加者が情報を共有し、しっかりと議論して全員が納得のいく結論を得ることがあくまでも基本です。

議論にいきづまったとき、多数決による事が多いと思いますが、多数決での全員賛成も、その後においてすんなり事が進むとは限りません。どんなやり方をして、やってみると何がしかの問題がでてくるものです。重要なのは、完璧はないと認めつつ、失敗の可能性を最小限にするため努力（議論すること）ではないでしょうか。

会議は、シャンシャンでも良いではないか？

総会などのように、いくつかの決議事項が用意されている場合は、拳手等の明確な意思決定による確認

の方がよいでしょう。その場合「拍手多数で決定」というケースもありますが、議決の場合は拳手による明確な方法の方が、シャンシャンだ、という批判を残さないためにも好ましいと思います。

そんな場合でも、議題の最後にある「その他」の項を活用して、あらためて議決事項に関するアイデア等の意見を求め議論すれば、予定調和的な雰囲気から創造的な会議に変身することができると思っています。

一方でこんな事例もあります。シャンシャン総会だった団体が、活発な討論会に変更してみたところ、今度は議論が活発になり過ぎて時間オーバーになってしまいました。途中で帰る人が多くなってしまうので、総会は短時間で切り上げ、その後に懇親会を開催して、役員

がこまめに会員一人一人に話し掛けるようにしたら、前より一層良くなるという例もありました。

議論百出の時は

意見が出すぎてまとめられない時は、次の4点に注意し運営をしている団体もあります。



- ① これだつ、と皆が納得できる結論が出るまでとことん議論する。
- ② どう考えてもこれが正しいと思える意見があれば、少々強引で反発が予想されてもその意見にまともてしまつ。
- ③ どちらが正しいか判断できない時は多数決を取る。
- ④ 日を改めて再度協議する。

テーマごとの会議も効率的になる

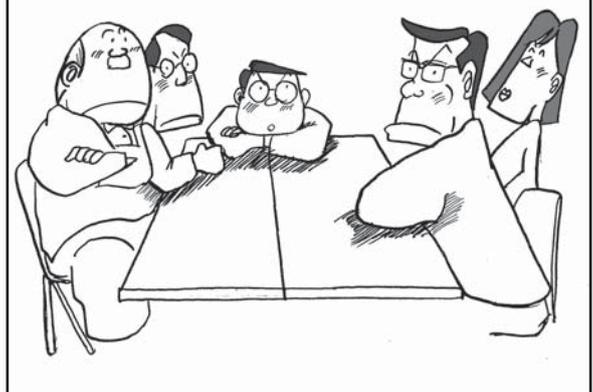
意見が出すぎたり、反対に乏しい時、別個に、参加者を絞り込んだテーマ別会議を開いた方がよい場合があります。

多人数の会議では十分な意見交換ができませんが、小人数のテーマ別の会議を設けるとまとまりやすいものです。【知っ得10】

収まるころに収まる

会議で様々な意見が飛び交う会は元気がいい証拠です。前向きに受け止めましよう。

目的は同じでも方法論が違い議論がまとまらないこともあります。議論がかみ合わないなと思ったときは、議論の当事者だけの話し合いや多数決でなく、黙って聞いている参加者に意見を聞くと案外「あつ、それか」と納得することがあります。



アイデア飛び交う活発な会議にしたい！

コミュニティの代表を引き受けることとなり不安な日々をすごしています。

とりわけ、会議の進行を代表として、どのように取り仕切るかが悩みの種です。効果的で活気ある会議にするにはどのような点に注意すればよいでしょうか？



みんなの情報共有がカギ

会議の参加者(会員等)と役員(執行部等)が情報を共有することが大切です。特に、執行部側には情報が集まりやすいもの。「こんなことは知っているはず」と思っていないことが肝要です。

ただし、最初に執行部側の説明で時間をとってしまうようでは、参加者にとって面白い会議にはなりません。

会議資料を事前に提供しておくこと、情報ギャップがなくなり会議をスムーズに運ぶポイントになります。

雰囲気作り

教室形式の対面型の配置より円卓会議型の設営方法が望ましい場合があります。机の並べ方も部屋

に直角にしないで、斜めに置くことだけでも雰囲気は変わってくるのです。

また、お茶やちよつとしたお菓子類が部屋の片隅に置いてあれば、休憩時間に参加者が集いコミュニケーションの場に早変わりしますよ。

【知っ得10】

ルールをつくる

会議を効果的に運営するには、「定刻に始めて、閉会時刻を守る」など、いくつかのルールを、出席者同士であらかじめ決めておくのも良いと思います。



ワークショップ会議をやってみる

斬新な提案を会議に求めているのなら、ワークショップという技法をおススメします。

従来型の会議では、奇抜なアイデアや前例のない提案があった場合、「誰がやるの」「もし失敗したら…」など、可能性を議論する前に潰されることがあります。予期しない提案でも、限られた時間内で効率よく議論することができるのが、ワークショップ会議といわれる手法です。是非お試しください。

【知っ得10】

提案なし・ゼロからでも議論ができる？

ここで少しワークショップ会議についてお話しします。こうした会議では、話し合いのテーマとその日の

目標だけを決めて、ゼロベースでスタートする会議を行うことが多いです。

例えば「△△イベントの企画づくり」の場合、参加者は会議の趣旨・目的と関連情報を共有するくらいだけで、議論に入ります。この場合ファシリテーターが会議の司会や進行役となり、参加者の意見を引き出したり、多様な意見を整理・収束させたりする手助けをします。

こうして一定の時間内で、その日の目的である「結論・目標」を全員で確認し会議を終了します。

【ルールの例】

- ★会議日程を連絡する際に、議題と欠席者には事前に意見を提出してもらおう。
- ★議事録はできるだけ早く全員に配る。キーワードで整理し、欠席者にも分かりやすく表現すると、次回の議論が後戻りしないし記録としても残る。次回開催の予定は必ず入れる。
- ★インターネット会議(メーリングリスト)を活用する。日頃から情報の共有、自由な意見交換に努めておけば、顔を合わせた会議がスムーズに行える。
- ★会議の冒頭で、参加者、遅刻者、欠席者等を発表し、終了時刻を確認後、定刻に開始し、閉会時刻を厳守する。

形にとらわれず独自にアレンジを

とは言うものの、ワークショップの手法を、いつも忠実にこなさなければならないのではないかと思います。

ブレインストーミングやKJ法などを柔軟に取り入れて、自分たちなりの会議を行っています。実際、みんなそうやっていると思いますよ。

がまんできない人もいる
ワークショップ会議では、会議のスタート時点で進め方やルールの説明をし、参加者全員に理解してもらってからスタートすることが重要です。

それでも、自分の意見が他の意見と同じ重みで平等に扱われることに納得できない人もいることを忘れないでください。



**会を元気にするため
こんなことしてます**
東観音台連合会

東観音台連合会のイベント委員会では、“500円会費で缶ビール3本”を準備し、飲みながらのプレスト会議（ブレインストーミング手法を使った会議）でアイデア続出の会議が展開しています。

会議では、参考資料以外にレジュメは準備されません。「今日のテーマと目標（結論）」だけです。会議会場の一角では、ファシリテーターが自由勝手な発言を、模造紙にキーワードにして記入していきます。

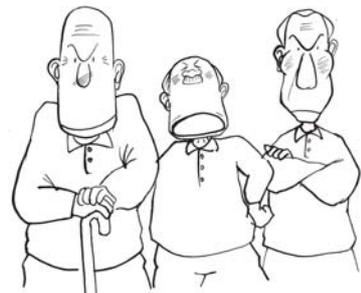
2時間の会議終了時には、その日の会議で決まった項目を確認して終了します。会議結果は1週間後には、必ず議事録にまとめて参加者全員に配布しています。なお議事録には当日の議論の一部（結論に至る過程）も記載するようにしています。

【弁当9】



企画がまとまらない!

毎年、何をやるか話し合うのですが中々、面白い企画が出てこず同じような事業になつてしまいます。企画の立て方教えてください。



まずは夢を語ろう

市民活動の楽しさは、夢を語り、夢を実現することにあります。夢がいつの間にか目標に変わり、実現に向けた活動に発展することが多いものです。何か面白い事業を考えようと気負うと頭が固くなり、かえって面白いアイデアは出ません。まずは夢を語り合きましょう。

町内会、自治会においても、同じこととです。「何かしなくては」ではなく、「わがまちをこんな町にした」といって想いこそ、活性化の二歩ではないでしょうか。自由に発想を広げるためにブレインストーミングやKJ法を活用するのも一つの方法でしょう。

【お悩み5 知得10】

夢をあきらめないで

夢を語っていると、「それはこれこれダメだよ、できんよ。」という声がよくかかります。でもそれは本当にダメでしょうか? 実現したい「想い」は簡単にあきらめないで粘りましょう。確かめましょう。案外うまい方法が見つかります。



まちづくりに終わりは無い

市民活動とりわけ町内会活動となると息の長い活動が常です。し

かし活動(事業)計画が単年度計画だけになっていくところがほとんどではないでしょうか。

面白い企画を出すためにも、中期計画作りに挑戦してみてください。もちろん、無理せず単発の事業企画でもOKです。

一連の活動を、Plan(計画)Do(活動)See(評価)の循環システムに当てはめて、中長期計画を眺めると、個々のイベントは、目的を実現するための手段と位置づけてきます。

活動の積み重ねによって「目的(目標)にどのくらい近づいたか」という達成感が参加者の報酬となります。まさにまちづくりに終わりはありません。

会を元気にするためこんなことしてます

ほのぼの広島会



当会は、①ほのぼの車いすツアー、②ほのぼの安心マップ、③ほのぼのボランティア、などを基軸に『障害者、高齢者、幼児保護者などの、移動弱者の外出支援活動』を主体としたボランティアを地道に、楽しく継続しています。

日々忙しい勤労者も参加しやすいように、できるだけ活動主体型を目指し、集団維持に必要な諸事を可能な限り排除する方法を考えました。

例えば、①代表者不在、②総会不要、③会計監査不要、④(義務感を背負う)年度計画の樹立なし、⑤いつでも休止できる、等です。いずれも、義務感や負担感、及び選任や決定に必要な時間やトラブルを減らす目的があります。

このお陰で、義務感や無駄の少ない『ほのぼの』とした活動を効率良く継続できています。偉い人が居なくて、遠慮が無い事や仰々しい承認作業も要らないためか、自由度が高くユニークな活動が頻発して、マスコミ報道は10年間に100回を超え、元気一杯です。

しかし、人が集まればトラブルは発生します。このため『相談担当班』を置いています。この班による円満な問題解決のお陰で、モットーである『無理なく楽しくボランティア』に集中できています。

【弁当1】【知得3】



立ち上げ時の企画書(趣意書)

一口で企画書といっても、時と場合で様々です。会やグループの立ち上げ時の企画書(趣意書)は、多くの人に理解と共感を求め賛同者を増やすことを目的としたものが多いです。ここでは、熱い思いや、実現したらこうなる、等々、多くの人の共感を呼ぶことができれば、まずは成功といえるでしょう。

いかに熱き想いを込めることができるかがポイントとなるでしょう。

企画書は

1〜2枚でおさめる

外部に提出する場合は、他の資料(団体情報、活動歴等)も添付されることが多いので、企画内容は1〜2枚程度でないと資料が多すぎて、読んでもらえない恐れがあるので気をつけましょう。

また、企画書を補完する資料としては、写真や新聞記事等があれば分かりやすく説得力が増します。

6W2Hで

簡単企画書づくり

企画書は、助成金の申請や協賛の

申し入れ等で必要になります。「長くと読んでもらえない」、でも内容が事務的だと「熱意が伝わらない」等々、相手側の心をいかにつかむかが分かれ目になります。

こんな時役立つのが、6W2Hです。

Why(なぜ)＝目的

Who(誰が)＝主催者

Whom(誰に)＝対象

When(いつ)＝日時

Where(どこ)＝場所

What(何を)＝主な内容

How(どのように)＝手法

How much(いくら)＝参加費、経費

の項目があれば、必要最小限の企画書として通用します。それに、企画実施後の波及効果を付け加えておくと、説得力がります。なお、助成金申請の場合は申請書の様式があり、その項目に従って記入する方式になっています。多くの場合、過去の活動歴や会の構成などの提供を求められますので、まとめておくとうべりです。

能性を理解してもらうため、できるだけ簡単に平易な言葉で表現し、専門用語(略語には説明をつける)はできるだけ避けた方がよいでしょう。

説明は要点を簡潔に伝えた方が相手に好印象を持つてもらうことができます。その場合でも、マスコミ記事や写真等のスクラップ帳を見てもらうと理解してもらいやすいでしょう。

視覚に訴える
一工夫でパワーアップ

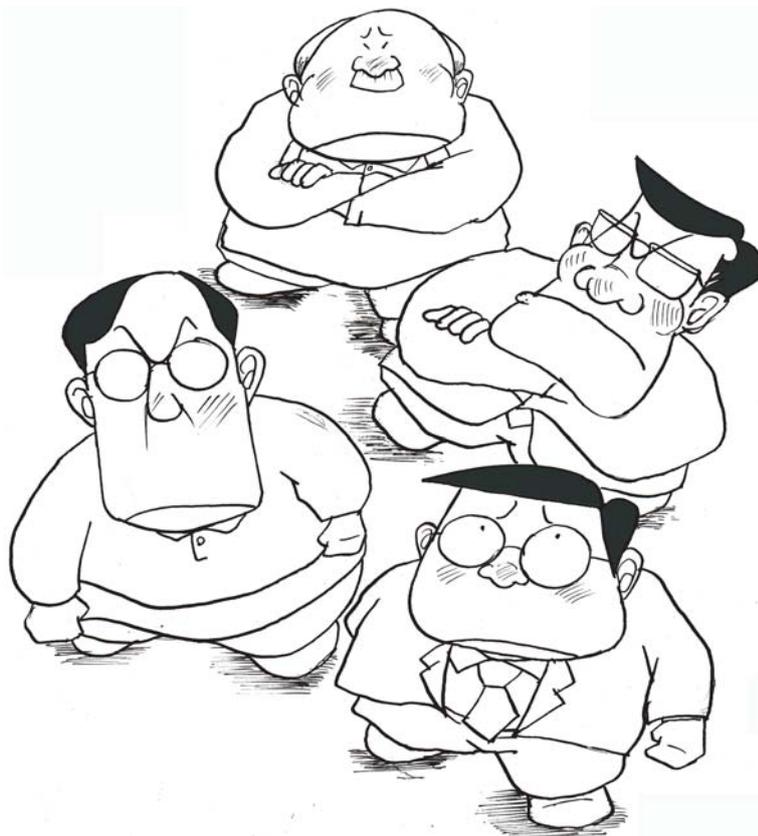
文章だけでは分かりにくい内容は、表で説明すると分かりやすい企画書になります。強調したいところは太字や丸で囲むだけでもこちらの意思が伝わりやすくなります。また、最近では助成金や報告会等のプレゼンテーションでも、パワーポイントの活用例が多くみられます。カラー表現や図形等も自由に挿入できるので、見る側の視覚に訴える力があります。



企画書は

説明力でも差がつく

相手にこちらの熱意や実現の可



事業計画がまとまらない！

メンバーに何をやるか説明したいのですが、事業計画がうまくまとまりません。事業計画を立てるとききのポイントを教えてください。



全員が全体の流れを共有するプロセスデザイン

数回に分けて事業を行うような場合、各回事業プログラムの「何を、どのように」という説明だけでなく、全体の事業の流れ（プロセス）を説明します。

最終的な達成目標（成果）は何か、各回のプログラムが全体の流れの中でどのような役割を果たしているのか等々について、道のりをおおまかにでも示すこと（プロセスデザイン）で、参加者全員に理解してもらおうことができればよい。

【知っ得10の4】

各回の事業進行プログラム

各回の事業進行プログラムは、限られた場所や時間という条件のもとで、事前に現場確認し、スタッフの

確保、当日の天候などを配慮して作成します。

プログラムの内容によって、参加者の満足度にも大きく影響するので、時間配分や休憩のとり方にも細かな配慮が必要です。



スタッフの配置、役割を分かりやすく

スケジュール表と体になった役割分担表があれば便利です。スタッフ全員が全体を把握できると都合がよいのでガンバツてつくりましょう。また責任者を明確にしておくこと、問題が発生した場合の対応がスムーズになるといって得点もあります。

【知っ得5】

定期的な報告

計画の進行状況を、会のメンバーに定期的に報告することも重要です。この場合、必要に応じて随時修正する柔軟性が大切だと思います。

会を元気にするため こんなことしてます 早稲田学区 社会福祉協議会



早稲田学区社会福祉協議会は、牛田学区社会福祉協議会から分離するという最初の時期に、組織作りに工夫をしています。

それまで、それぞれが独自の活動をしていた各団体を、社協の構成団体に組み込み、各団体代表を社協理事としています。

また、毎月の定例会が、地域の情報源となっています。まちづくりの視点で言えば、行政から降りてくるもの、自分たちで企画したもの…これを「がんばってやりんさい!」という人もいれば、「まあやってみようやあ!」と思う人がいます。実践するひとたちは「これも何かの運のつき!」と知恵を寄せ合って動き始めます。まさしくまちづくりの中心は《ひと》なのです。

まちで活動する時、集まるのは同じ顔…という金太郎飴状態は、社協の「まちづくりプラン」策定の時も大きな課題として挙げられています。

新しい「顔」を探すには地域の多彩な活動の中から「1本釣り」する方法しかなく、なかなか自分から針にかかってくる人は少ないのです。

しかし、「運のつき」と思って始めてみると「人のためは、自分磨き」というささやかなボランティア精神に灯がともるのか、楽しく参加されるようになってきます。十人十色いろんな《人》が町の宝、元気の元となっています。

【弁当11】

ヒト集めに悩んでます！

元気のある市民グループを
見ていると本当に
多くの人が集まっています。
どうしたら、多くの人が参加する
活動になるのでしょうか？



友達の友達はみんな友達

困った時は、友達の友達にだって協
力してもらいましょう。そのためには
日頃から人間関係を積み重ね、ネッ
トワークを作っておくことが大切で
す。

経験者が将来の市民活動の担い手
になる可能性もあります。

そのほか最近、多くの大学が導入
しているボランティア単位認定制度
の普及も学生の参画、交流に有効で
す。

学生の参加

地域の高校、大学の学生にボラン
ティア参加を呼びかけてみましょう。
秋祭りのみこしの担ぎ手として
お願いしたら、その後は、学園祭で町
内会による餅つきを行うなど交流が
続いている事例もあります。

また、インターシッピング(体験研修)

による学生の参加という方式もあり
ます。学、民の連携で学生の市民活
動参加プログラムを企画し、学生の
社会参加機会を提供するのも手で
しょう。一過性のイベント参加と異な
り、学校の授業の一環として、定期間
実施というものです。インターシッ

他団体と交流

他団体と協力して人材を確保し
合うという方法もあります。例え
ば、音楽会でお母さん方に託児協力
してもらったら、子供たちのクリスマス
会に出向いて行って音楽を披露す
るといったような、もちつもたれつの
関係作りです。

町内会は人材の宝庫

町内には色々な人が住んでいま
す。工務店、銀行員、。職業だけで
なく、趣味で、絵が得意、楽器が得意
という人も。身近に思いがけない人
がいて、難問が解決できることだって
あります。

公務員の中にも、市民という立場
で活動している人が多くいます。議
事録や書類の作成は、仕事柄慣れて
いますし、制度や施策など、市民に
とって縁遠い存在である行政の情報
などについても詳しいので、公務員に
声をかけてみましょう。

「案外面白いね」と言われ
ば、中心スタッフとして育つ可能性
が高くなります。テーマ型の市民活
動団体でも条件は同じはず。秘訣
は責任ある仕事を任せたり、仲間
として付き合うこと。決してお客
さん扱いをしないことがコツかし
れません。

ボランティア参加者の満足 度をUPさせる

市民活動と二時的なボランティア
は不可避の関係にあります。でも
「便利な働き手」としていません
か？

ボランティア参加者の満足度(事
後評価)は、担い手の育成にもつな
がる重要な目安です。

ボランティアの満足度を高めるに
は、事業の企画時点から参加して
もらい、主体的な役割を担ってもら
うことも有効でしょう。将来の担い

市民活動の三大要素としていわれ
るのが、ヒト・モノ・カネです。活動
を支える重要な資源として欠かせ
ない要素ですが、「何をするために、
何が、どのくらいほしいか」は明確に
なっているでしょうか？ 今度、立
ち止まって考えてみることも大切で
す。

ちよつとボランティアしてくる
人達、レンタル品、助成金など、必要
の申しにに応じて、その効率的な調達
方法を考えてみましょう。また、日
頃から、少しでも有益な情報の収集
に努めるとともに、「こんなものがほ
しい」というメッセージを周りに送り
続けることも有効でしょう。

ヒトを集め、生かすには？ 成功体験がポイント

地縁型組織(町内会等)では、「順
番だから仕方ない」という、いやいや
参加のスタンプがあります。こうした人



人材バンクの活用

各種講師や手品音楽等の実演者が必要な時は、まちづくり市民交流プラザのまちづくりボランティア人材バンク、マツダスベシヤリストバンク、エネルギアボランティア人材バンク等を活用すると便利です。

登録された人材から希望するスキルの持ち主を探し、人材バンクに連絡し派遣してもらいうことができません。無償であつても交通費や実費負担等の費用は必要なので、派遣を依頼する時に確認しましょう。

【知っ得16】

企業の社会貢献活動

企業においても「社会的責任」という考え方が意識されるようになってきます。ボランティアバンク（人材派遣）のほか、企業市民（企業も「市民」という考え方）としてサンフレッチェや、広島交響楽団等への大きな支援もあります。市民活動への助成金、社員による清掃活動等もあります。

また福祉活動支援では、用地や施設、機材や物品などの提供も行われ

ています。自分たちの活動目的・内容に共感してくれそうな企業があれば、声をかけてみるのも手です。

人材を供給して組織を残す

とある「おやじの会」の事例。当初、校長とPTA会長の発案で有志で「おやじの会」を設立しました。

継続性を確保するため、後に、PTAの中に父親委員会を組織し、各学級から委員が出てくるという方式をとっている学校があります。

こうすることにより、一過性ではなく恒常的に男性を確保していくことを目指しました。

また、「広島市PTA協議会父親委員会（市P協）」と「広島市おやじの会連絡会」（おやじ連）の関係では、先に市P協に父親委員会をつくり、別にOBを含めたメンバーがおやじ連をつくりました。

これにより、恒常的な組織である「父親委員会」から、目ぼしい「卒業生」が「おやじ連」に移っていきます。

人材を継続して供給し、組織を残していく効果が期待できる方法です。



会を元気にするため こんなことしてます 草津まちづくりの会

草津まちづくりの会では、毎月第二火曜日に例会を持っています。マンネリにならないようにいろいろな行事などを反省し、次の企画などを考えています。年々高齢化していくので、公民館と共催で、草津歴史研修会などを開催し、新メンバーの勧誘などもしています。

従って様々な履歴を持っているメンバーが揃っています。元金融関係、企業関係、IT産業関係、元教員、元デザイン設計士など様々です。現役の大学生、現役の大学准教授、市役所関係の職員、一級建築士もいます。その中から、IT博物館という発想も生まれ、源流探検、笹舟レース、昔懐かし写真展・絵画展、酒蔵コンサート、舞楽雅楽演奏会、除夜の鐘ラリーの行事も生まれました。

もちろんガイドも、一時間コース、二時間コース、鏝絵コース、草津城址に登る健脚コースなどバラエティに富んでいます。ガイドの人数を増やすために、ガイド研修講座も公民館と共催で開き、ガイド養成もしています。

この度も、夏のイベントが定着したので、冬のイベントも開催しようと、公民館と共同で、草津の特徴であるカキ、かまぼこを中心に、「来て・見て・食べて!『草津うまいもん市場』」を企画しました。これは地元の産業を巻き込んで地元の活性化を図ろうという試みです。

というふうに、いろんな企画を一応どんどん出してみよう、出来るか出来ないかは話し合えばいいということで、遠慮せずそれぞれの得意の領域から発案します。それをマイナスの視点から見るのでなく、出来るだけ実現してみようという意欲で話し合う、そのことが大事なのではないかと思っています。 【弁当6】



機材がなくなってしまうイベントが開けません！

野外イベントを計画していますが、音響装置やイベント用の椅子、机がなくなってしまう。皆さんはどうやって機材を調達されているのでしょうか？



動に対する保険もあります(民間保険)。
【知得17】

たしかにイベントのみならず、日々の活動における鉛筆一本からどいうするかという悩みは発生します。多くの場合、世話役のヒトが持ちより、なんとかこなしているのでしょうが、大きなもの、特殊なものになるとそうはいきません。そこで、ヒト・モノ・カネのうち、モノの調達方法のヒントを紹介しましょう。



機材の寄付がある

企業では、移転や改築等の場合に処分する機材(机、いす、ロッカー、パソコン等)が出る場合があります。そ

んなときに、譲り受けるという手があります。

こうした場合、特定の団体への寄付でなく、より多くの市民活動団体に門戸を開くため、民間の中間支援組織を通じて寄付する方法をとっている場合が多いので要注意です。

こうした情報も、中間支援団体(ひろしまNPOセンター【弁当15】等)と、日頃からつながりを持って、情報網を張り巡らしていないと、たまたま出てくるお得情報の入手は難しいですから、ご注意。

機材を借りる

まちづくり市民交流プラザ(拡声器、プロジェクター等)、社会福祉協議会(車椅子等)から借りられるものがあります。地域の公民館、学校等に相談してみる方法もありま

すよ。

ただし、ここでも日頃から「どこに、どんなものがあるのか」という観察と信頼関係を構築しておくことが大切です。

機材のレンタル

野外イベントでの発電機や屋台販売の機材などは、購入するよりも専門業者のレンタルの方が便利で安い場合があります。食材と機材をセットで調達すれば、便利で経費も格安になることがあるので色々と調べてみましょう。

返品がきく

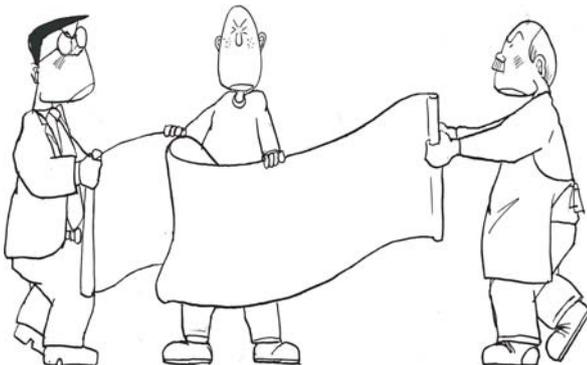
イベント等で飲み物類を販売する場合、当日の天候や人出予想が外れると、商品の不足や売れ残りが悩みの種です。

商店があれば便利

また借用品が高価な物の場合には、紛失や損傷した場合の補償等を考えた総合保険加入等の検討も必要だと思えます。その他、自治会活

保険で万一に備える

イベントを行う上において忘れてはならないのが「保険」です。そんなとき便利なのは広島市市民活動保険(加入手続き・保険料不要)ですが、これは運動会や祭などの参加者は補償の対象にならない(スタッフのみ)ので、必要に応じて、他の保険(社協、民間保険)の加入を考えましょう。



お金がなくなっていくイベントができませせん！

活動が大きくなるにつれ、経費がかさんで、事業を実施することが難しくなっています。これまででは寄付収入などにたよってきましたが、安定的に確保するのが難しく、事業をつづけるのが困難になっています。どうすれば良いでしょうか？



かせない要素です。

フリマで稼ぐ

寄付金より物品の方が集まりやすい団体活動もあります。これを活用して、賛同者からフリーマーケット用の販売品の寄贈を受け、フリマで販売し、その売上金を収入にする団体もあります。

身の丈にあった活動と資金

息の長い活動を続けるには、安定収入である会費や寄付金で運営するという考えがよいと思います。一時的な助成金で活動を膨らませると、金の切れ目が縁の切れ目になり、団体の死活にまで発展することがあるので要注意です。

寄付の特典として記念品を用意

横川駅前整備を契機に、日本初の国産乗合バスを復元した「レトロバス復元の会」(現広島かよこバス活用委員会)ではバス復元経費として企業などに寄付を呼びかけました。

企業が組織的に決裁しやすいように、事業計画・依頼文を用意し、また税務上の扱いも寄付ではなく広告という申出も多いことから、様々な広告媒体(横断幕・看板・レトロバス新聞公式記録集)を用意しました。協賛と協賛広告など金額設定やそれに対する特典など、複数の選択肢を用意したことが、多くの資金を集める鍵となりました。

個人からの寄付には、記念品(レトロバスチョロQ)も用意しました。また、トヨタ財団、広島県子ども夢基金、国土交通省などの公的助成制

度への応募も行いました。

信用を得るために、資金の使い方は特に明確になるよう、厳密な収納方法、支払い手続きを取り入れ、不正が起こりにくい仕組みにしました。

また、監査役には本職の税理士さんに就任していただき1年ごとに予算決算という形で取りまとめたものを監査してもらいました。こうして復元の会は、最終的に2千万円近い資金を協賛という形で集めることができました。



会費収入を増やす

会費収入を活動の基盤としている団体は多いと思います。なにしろ安定した収入源として計画作りの基盤になります。

この会員増強は活動の活性化にも寄与するので、活動資金確保の面だけでなく、組織維持のためには欠



助成金の獲得

最近、助成団体へ応募し、助成金を獲得する方法が広く知られるようになりまし。助成対象はほとんどが分野別でプロジェクト助成であるため、会の運営費用に充当することができません。個別の事業ごとに、それに適した助成申請をすることになります。

助成金の獲得は企画内容が一番であることは言うまでもありませんが、申請書の書き方にも左右されます。また活動実績も評価の対象になるので、日頃から意識的に記録(写真、マスコミ記事等)を残しておくことが大切です。

なお助成金の場合、必ず報告書(決算書)の提出を求められるので、記録の保存やまとめを忘れないようにしましょう。【知の得5 18 19】

助成金の性格と獲得のポイント

先にも述べましたが通常の団体運営経費には充当できないものが多い、また事業年度が1年限りの場合がほとんどです。

助成金の獲得には、次の3点がポイントとなります。

イントとなります。熱意も大切ですが実践力も問われます。そこも忘れずにアピールしましょう。

① 企画内容(目的狙い)

② 実施方法

③ 成果(波及効果)

例えば、「公益信託広島市まちづくり活動支援基金愛称ひとまち広島未来づくりファンドHm(ふむむ)」では、審査のポイントとして

◎ 将来性

◎ 先駆性や獨創性

◎ 計画の実現性

◎ 予算内容の妥当性

などが挙げられています。こういった審査ポイントを意識しながら、申請書を点検してみましよう。

「公益信託広島市まちづくり活動支援基金Hm(ふむむ)」では、公開審査を行っています。会場に出向き、他の団体のアピールを参考にすることも良いと思います。【知の得19】

事業化を考える

自分たちの活動の一部を事業化して、その収益で活動を充実させたり、持続可能な社会貢献活動をすることを考えましよう。

簡単なことではないですが、やりがいがあります。共感者を増やして、自分たちの活動に必要な費用は、自分たちで生み出す(寄付、会費、事業化)ことがやはり基本だと考えましよう。

NPO活動支援融資制度

広島市内に拠点を置くNPO法人であれば、運転資金・設備資金の低利融資が受けられる制度を利用できます。【知の得22】

【NPOとNPO法人について】

NPO(Non Profit Organization)とは、ボランティア活動などの社会貢献活動を行う、営利を目的としない団体の総称です。

一方、NPO法人は、特定非営利活動促進法に基づき法人格が付与された特定非営利活動法人を指します。

法人格を取得することによって、NPOの名前で契約したり、財産を所有することが出来ます。

銀行の口座の開設、不動産の登記などをNPOとして行うことが出来るようになります。

また、委託事業などをNPOとして受託できることから、事業の幅広い展開も可能となります。

らば理解が得られやすいこともあるでしょう。団体の継続性、事業能力、信用づくりなどに法人格が強い味方となります。

ただし、毎事業年度終了後、事業報告書等を県(2都道府県以上に事務所がある場合は内閣府)に提出しなければいけませんし、役員に変更があった場合には、届出や申請が必要となります。税金を納めなくてはならない場合もあります。

また、法人の管理・運営のルールとして守らなくてはならないもの(NPO法、定款など)もあります。

NPO法人化は、こうしメリット・デメリットを見極めながら、活動の目標や内容の変化に応じて検討します。

【知の得11】



広報紙を作る上での心得を教えてください！

人が集まらない講座がキャッチコピー一つで行列のできる人気講座に大変身という話を聞きました。私たちも自分達の活動を多くの人に知ってもらい、社会的認知度を高めようと願っています。どうもうまくいきません。よきアドバイザーをお願いします。



読んでもらえる広報紙とは？

活動を多くの人に知ってもらうためには、いくつかの手法があります。最も一般的なのはチラシではないでしょうか。そこでチラシづくりのポイントをご紹介します。

①伝えたい情報(要点)が、まず目に飛び込む②イラストや表があると理解しやすい③色の使い方、文字の大きさと読みやすくなる④読ませる、見せる、魅せるの演出⑤レイアウトでイメージを演出する。

「読む」よりは「見る」方が、2倍の情報量が伝わるといわれています。とりわけ、棚に積み置かれるチラシは、まず人の視覚に訴えないと読んでもらえないと思うください。多くを伝えるようにすると、何を伝えたいのか焦点がぼけてくるので要注意です。文章にイラストや図解を入れると、読み手の右脳と左脳をうまく刺激し、読み手に無理なく理

解してもらうことができます。

イラスト・写真の挿入は効果的

文字だけで読み手の気を引くことは難しいですが、写真やイラストが1枚でも入れば効果は抜群にアップします。

またラスコミ等で取り上げられた紙面の切り抜き記事等を掲載すれば、信頼性の向上にもつながります。(この場合、許可が必要になる場合もありますので注意してください。)

また、ここに知っている人の顔や地域が出ていれば、読者の話題性も上昇するので活用したいポイントです。

インターネット上の無料イラストなどを活用してみるのも面白い方法かもしれませんね。

キャッチコピーで気を引く

誰でも、まず視覚に飛び込むのは大見出し(キャッチコピー)や写真です。次に小見出し、そして、そこで興味をわくと「もっと詳しく文章を読もう」ということになりま

ポスター掲示はゴミ置き場が穴場

ポスターはゴミ置き場(団地等で設置されている場合)に掲示してあるとよく見ているものです。ただし町内会、マンション管理組合等の了承を得た上でのご話となることは、もちろんですね。

手配りルートを活用

公民館や区役所等の公共機関へのポスター、チラシの配布は、情報量が多すぎて意外に効果が薄いものです。地域のお店や知人に配つてもらうと少ない枚数でも効果的だと

思います。

ハイテクとローテクの併用

ホームページによる情報発信は、掲示板やブログ等で双方向通信が可能になりますが、よい管理者がいないと面倒なこともあります。

イベント等のPRでは、チラシやポスター等の印刷物の方がより多くの読者に伝えることができる場合があります。

また知り合いに配付してもらうと、信用と口コミがついて回るので、より効果的になるので可能な限り活用しましょう。

地縁団体とうまく付き合う

町内会、自治会、地区社協等の地縁組織を通じて、回覧方式でチラシ等を配付してもらう方法もありますが、回覧方式は時間がかかることや読み手が主に主婦になるので、若

者等を対象にしたPRでは効果が薄いという欠点があります。ポスター掲示は、地域の掲示板に貼ってもらうことができれば効果的でしょう。

リーフレットは団体の顔、チラシは手足

色んな機会に速やかに配付できるよう、自分達の団体を紹介する資料をあらかじめ作成しておくこと、便利で、簡潔かつ魅力的に、発足経緯、夢、活動実績等をまとめておくことです。

リーフレット(団体紹介資料)は団体の顔でもあります。またリーフレットに入会申込書や会費納入用紙を添付しましょう。会員獲得の道具として活用できますよ。

チラシや会報誌は、団体紹介の手足であり、状況に応じてタイムリーに発行できるので、リーフレットに添える活動紹介にもなりPR効果は高くなります。

【知っ得48】

新聞やテレビで紹介されるには？

知り合いの、まちづくりグループは再三テレビや新聞で活動を紹介されています。私たちも同じような活動をしているのですが一度も取り上げられませんでした。どうすればマスコミに取り上げてもらえるのでしょうか？



マスコミへの資料提供

当たり前のことですが、取り上げてもらうには、まずマスコミの人に知ってもらわなければなりません。タイムリーで簡潔に目的(売りの部分)を明確にした文書をマスコミに送ってみましょう。

その際、個別に送る方法もありますが、県庁、市役所等には、マスコミ各社の記者クラブがあり、そこにはマスコミ各社用の棚があります。ここでは行政の情報だけでなく市民活動団体の情報も受け付けていますので、利用しましょう。

その際、あらかじめ県庁や市役所の記者クラブに、提供方法や資料は何部必要かなどを問合せをお忘れなく。
【知っ得13 14】

記者と知り合いになる

記者も多くの情報を求めています。何気ない話から記事になるとい



うこともよくあります。そのためには、記者との日ごろの付き合いが重要です。取材された場合は、その後も記者とできるだけコンタクトを取っておくようにしましょう。他団体の情報でも面白い情報を提供すれば喜ばれることがあります。

さらに進めて、記者を仲間に巻き込んで、日頃の活動に参加してもらいましょう。

穴場は地元のミニコミ紙

地域を限定し無料配布しているミニコミ紙を利用するのも手です。ミニコミ紙は地域に密着した情報は歓迎であり、参加者募集等では効果抜群ですよ。

メディアの効用

新聞や雑誌に取り上げられると社会的信用力がアップします。パブリシティ(マスコミに話題を提供し、ニュースとして取り上げってもらうこと)は費用がかからないし、会員のモチベーションがぐんと上がるので大切にしましょう。

マスコミとは

自然体で付き合う

マスコミだからと構えず、おもねず。マスコミ(記者)には素直に自分たちの思いを伝えるようにしましょう。

う。

話題性が乏しいと、なかなか取り上げてもらえないかもしれません。多くの会員が集まる交流の集い等に記者を招待することも一つの方法ではないでしょうか。

マスコミに取り上げられやすい活動とは

マスコミは、他にはない試みや社会貢献性の強い話題についてはよく取り上げてくれます。子ども中心の話題についても関心を寄せてくれます。

マスコミが好む活動をすることが目標ではないですが、既存の活動もちよつとした工夫次第で、話題を呼ぶこともあります。市社会福祉協議会や区社会福祉協議会の事務局には新聞のスクラップがあるので、企画の参考にすると良いかもしれません。

■想いを伝えてプロの参画を

雁木組はプロ集団。雁木タクシーの安全運転も、プロ意識を持つボランティアスタッフのサポートに支えられています。広報もしかり。雁木組のデザインは、主旨と活動を十分に理解するプロに一任しています。

「おあそび」につきあってくれるほど仕事人は暇ではないので、無償のデザイン提供は絶妙な緊張感をもたらし、ご恩は結果で返そうと、こちらの気持ちりが引き締まります。こうした緊張関係の中で制作される雁木タクシーの宣伝媒体は、いつも高い評価をいただいています(なにせ、プロが作っているのですから)。

広報に限らず、プロから「協力しましょう」の言葉もらうには、いかに想いを伝え、活動に賛同してもらうかが鍵となります。【弁当5】

会を元気にするため
こんなことしてます
NPO法人雁木組
その1

ネットで活動をアピールしたい!

ネット社会といわれて久しいですが
私たちも遅ればせながら

HPで活動を紹介したいと考えています
どんな点に注意すればよいでしょうか?



インターネットも使い方次第?

ホームページ作成ソフトを使えば
案外簡単です。そんなに難しくないので
自分で作ってみましょう。参考本
もたくさん出ています。

まちづくりボランティア人材バンクに
登録されている人や公民館でITボラン
ティアを紹介してもらって協力を
してもらおうという方法もあります。

だれかに作成を頼む場合でも、
ホームページ作成に関心のある人に管
理者をお願いしましょう。こまめに
ホームページを更新していないと、ホ
ームページを見てくれる人が減って
しまいます。ホームページは開設す
ることよりも、更新し続けるほうが
大変なのかもしれません。

公民館やまちづくり市民交流プ
ラザでホームページ作成講座が開講
されることがあるので参加してみ
るのも手です。

インターネット費用は意外に高い?

ホームページには、無料でインタ
ーネット上に公開できるサイトも
あるため、インターネット環境があ
れば、それほどコストはかからない
かもしれません。

しかし、インターネット環境その
ものコストや場合によっては、プロ
バイダー料が必要であり、それには
予算的な裏付けを検討しておく必
要があるかもしれません。



サイトの活用

既存サイト(ひろしま情報ネット、
広島市社会福祉協議会ボランテ
ィア情報センター、財団法人広島平
和文化センターなど)を活用してイ
ベントや会員募集等をアピールする
方法もあります。【知っ得15の1】
なお、サイトではないですが、ま
ちづくり市民交流プラザ主催のフェ
スタ(毎年5月ころ開催)に参加して
自分たちの活動を市民にアピール
してみるのも手です。

【知っ得20の2】

「こむねつとひろしま」を活用

町内会、自治会の場合は、広島市
が運用している「こむねつとひろし
ま」を利用すると、ホームページの作
成作業や経費面で利点がありま
す。

【知っ得15の2】

会を元気にするため こんなことしてます NPO法人雁木組 その2



■全国紙への情報発信を

活動がマスメディアによって後押しされることがあります。まちづくりを主眼とするNPOとしては、地域の賛同を得ることは必須であり、その意味で地元地方紙の記事掲載やテレビ放映は、大きな支援となり感謝につきません。けれども、ときには全国区の評価による逆輸入も大切です。

雁木組では、歴史的な雁木を本来の船着場として使いながら残すために、雁木の歴史性調査を実施しています。調査2年目の夏、全国紙への雁木タクシー記事掲載が専門家の目にとまり、翌年には「選奨土木遺産」(社団法人土木学会)の選定にいたりました。この外部評価によるお墨つきのおかげで地元でも雁木が再び注目を浴びることとなり、活動に拍車がかかっています。

■マスメディア関係者には、本質を理解してもらう努力を

(恐れ多くも)水辺の文化をつくるという気概をもった雁木組が、営利目的の水の上タクシー業との違いを伝えるには、影響力の大きい新聞記者や番組制作者の理解を深める努力を怠ってはならないのです。よくあるやりとりですが、旅番組の取材の折、「全国放送で宣伝になるのだから」と無料乗船を主張する取材班に対し、その都度「営利目的ではないからこそ」と乗船料を頂戴することになっています。メディアに迎合することなく毅然と主張を伝えないと、テレビの前で悲しい思いをすることも。タダで感謝されるのはあたり前。料金をいただいて満足していただくのは、タイヘンなことなのです。

知っ得情報



まちづくりお悩み相談室で述べた考え方や手法を補足する、実例や役立つ情報を集めました。

【弁当(数字)】は、「広島を賑わすまちづくり弁当たち」の番号を、【お悩み(数字)】は、「まちづくりお悩み相談室」の番号を示しています。

*知っ得情報11〜24の掲載情報は、原則平成20年10月現在で取りまとめられますので、その後において変更がある場合があります。

*掲載情報は、その概要を記載しています。さらに詳しい内容をお知りになりたいときは、各問合せ先・施設にお問合せください。

ボランティアのマナー

【お悩み1 2】

提供：ほのぼの広島会【弁当1】

ボランティア活動の優れたところは、学校、職場、近所等では得られない、『出会い』『気づき』『学び』がある事です。

ボランティア活動をすると、自分の街や社会の出来事に改めて気づき、出会った人々の生き方をも学べ、自分自身を見つめなおす機会が生まれます。このような活動の中で、年齢、職業、国籍を超えた、様々な人々との『きずな』も生まれてきます。

ボランティア活動は、個人の興味、関心、余暇、生活スタイルに合わせて、自由に参加できます。また、こうした気軽さと合わせて『自分の考えから始めた事としての責任』も大切になってきます。ここでは、人々の考えを尊重しつつ、お互いの『違いを認め合う』ことが必要になってきます。そこで『マナーが必要』になる訳です。

ボランティア活動には、話し合いが大切になります。とりわけ主催する立場になれば話し合いは不可欠です。会議の席に既に『訓練されたファシリテーター』や『上手な司会者』が存在していれば円満な話し合いを継続できますが、この実現は容易ではありません。

そこで常識の範囲内で、できるだけ円満な会議を実施する機会が多くなる訳ですが、時として、『まさかの困った事態』が発生する場合があります。多くの場合が『善意と善意の衝突』ですが、自分の善意意識が強過ぎて、解決が難しい場合もあります。

また、『会員が増えない』『退会者が出る』等の悩みもあるものです。このような場合には、以下のマナーを参考にされて、会の体質を見直してみられると、解決の糸口が見つかるかも知れません。

【1】総意の抽出

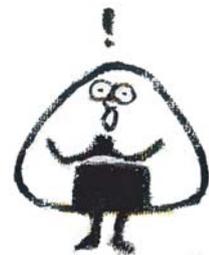
- ① 事前に仲間を確保しての『数の力を武器』に、会議を押し切ってははいけません。
- ② 『良く頑張っている事を武器』に、他人に一層の頑張りを要求してはいけません。
- ③ 多数決はできるだけ避けて『反対者不在に至るまで』時間を掛けて話し合しましょう。

【2】発言マナー

- ① 『活動中の内容に対する改善を提唱する場合』には、先に感謝の言葉を加えましょう。
- ② 『特定の仲間を過剰に擁護する発言』は止めましょう。
- ③ 『他人の栄誉を称える発言』を増やしましょう。

【3】禁止事項

- ① 会名、個人情報、備品、会の財産等の無断使用。
- ② 権限が無い人(主としてエエ格好)による、勝手な受諾や断り。
- ③ 参加申請後の無断欠席や無断遅刻。(事前に連絡しましょう)



【4】安全確保

- ① 会内に『安全担当』を決めて、行事の前には『安全衛生計画書』を作成しましょう。
- ② 保険の種類と『事故例』を研究しておきましょう(個人責任賠償保険、行事保険等)。
- ③ 『安全第一、楽しみ第二』『楽しみたいなら、まず安全』に徹して、安全を確保しましょう。

班別活動(プロジェクト)の例

【お悩み2】

提供:ほのぼの広島会【弁当1】

班	活動内容	(◎:リーダー、☆:報告者)	企画委員(アイウエオ順)	
			男性	女性
A	公共施設の優しさチェック活動	数回/年	○ ○ ○ ○	☆ ○ ○ ○
	公共の施設や交通機関などを対象として、バリアフリー新法に照らし合わせた調査を実施し、改善提案を管理者やマスコミに提出して早期に改善してもらいます。		◎ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○
B	他のボラグループとの交流活動	ほぼ毎月	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○
	広島市社会福祉協議会、広島市中区社会福祉協議会、市民交流プラザ、ふれあい広場、などと連携し、他のボラグループとの交流を深めます。		○ ○ ○ ○	◎ ○ ○ ○
C	『バリアフリー・マップ』作成活動	数回/年	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○
	① 『広島市繁華街・バリアフリートイレマップ』活動 広島市繁華街で、自由に使える障害者用トイレの有る建物を探し、場所や使用可能時間などを明記した地図を作り無料配布します。		☆ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○
	② 『広島市歓楽街・心のバリアフリー飲食店マップ』活動 広島市の夜の歓楽街で、障害者に優しい店を探し、場所、値段、営業時間、やさしさ面などを明記した地図を作成し無料配布します。		◎ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○
D	『バリアフリー・アウトドア』支援活動	2回/年	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○
	『しまなみ海道』『秋の宮島』『買い物ツアー』『入浴ツアー』『錦帯橋』『アクアス』など、障害者や高齢者のアウトドア支援活動として、車いすツアーなどを定期的に開催します。		◎ ○ ○ ○	☆ ○ ○ ○
E	アルミ空き缶収集活動	ほぼ毎月	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○
	アルミ空き缶を収集して、施設などに車椅子などを寄贈し、感謝状を受領します。		◎ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○
F	『ほのぼのおたすけ隊』	随時	○ ○ ○ ○	◎ ○ ○ ○
	活動中にケガや急病などが発生した場合、応急手当や適切な連絡ができる人材を会内で育成します。		○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○
G	『ほのぼの潮干狩り』	3月～11月	☆ ○ ○ ○	◎ ○ ○ ○
	あさり畑を借りて、障害者と一緒になって楽しめる『ほのぼのバリアフリー潮干狩り』を、季節内の毎月ほぼ1回、定期的に開催します。		○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○

提供:早稲田学区社会福祉協議会【弁当11】

わせだのまちづくり:ネットワーク組織(抜粋)

		わが町ネット	シルバーねっと	子どもネット
1	牛田東2丁目上町内会	1	1	1
2	牛田東4丁目町内会	1	1	1
3	早稲田2丁目上町内会	1		1
4	早稲田3丁目町内会	1		1
5	早稲田4丁目町内会	1		1
6	体育協会	1		1
7	女性会	1	1	1
9	青少協	2	1	1
11	子ども会	2		1
12	公衆衛生協	1		
13	防犯組合連		1	
14	自主防災	1	1	1
15	老人クラブ	1	1	
16	緑化美化	1		
17	小学校PTA	1		1

数字は、左欄各団体からネットワークに参加する人数を示しています。

●各団体から、7つのネットワークに、別々の人材を投入してネットワークを作っています。
●それぞれのネットの中で、代表・副代表・庶務を選び、それぞれで、連絡会を実施。七つのネットワークで福祉のまちづくりプランを実施しています。

会則の例

【お悩み2 6 7】

◆ 会則(ルール)を作ろう!

会則の内容は、それぞれの団体によって内容は異なりますが、以下のようなことを記載します。

- ・グループの名称
- ・連絡先(電話やファックス、郵便などを受ける宛先)
- ・目的および活動内容
- ・メンバーの入会資格と会費の有無や額、納入方法
- ・役員の権能と選出方法
- ・役員の任務
- ・総会について(機能や開催頻度など)
- ・委員会・プロジェクトの設置(設置方法や位置づけ、機能など)
- ・規約改正

※実際の文例については他団体の会則等を参考にしてください。

◆ こんな会則もある(ほのほの広島会【弁当】の例)

通常の会則では、代表者を置き、総会や会計などは1年単位で開催や取りまとめます。しかし、代表者を置かず、総会や会計も毎月行うなど、以下のユニークな会則を持つ団体もあります。

(担 当)

第7条 本会を円滑に推進するために『運営担当』と『企画担当』を定める。

1. 両担当には活動別のグループを設置して、会の円滑な運営及び企画を実施する。
2. 『運営担当』は会の運営をつかさどり、『会計グループ』と『会則相談グループ』を設置する。
3. 『企画担当』は会の活動の企画を立案し、実際の活動は、全会員及びその他の有志が実施する【志願重視】。
4. グループには『リーダー』と『報告者』を設置する(選任方法及び任期はグループに一任する)。
5. 『リーダー』はメンバーと共にグループ活動を円滑に遂行する。
(困った事があれば『会則相談グループ』に相談する)
6. 『報告者』は議事録を作成し『リーダー』に提出する。
『リーダー』は速やかに議事録を関係者に配布する【報告重視】。
7. グループ活動の開始、変更、休止の際には例会に報告する。但し会費を消費する場合には例会参加者大多数の承認を得る。
8. 新たなグループを発足させる場合は、起案者がその趣旨を例会で発表し協力者をつのる【志願重視】。

(総 会)

第8条 年度計画の承認や役員交代などの決定を目的とする年度総会は実施しない【毎月総会、毎月決算】。

(代表者)

第9条 本会には、会長・副会長等の総括的な代表は設置しない【代表不在組織】。
対外的に本会の代表者が必要な場合は、直接関わりが深いグループのリーダーが本会の代表者となる。

(会 計)

第10条 毎月例会において、前月までの会計を文書で報告し質問を受け、例会参加者大多数の承認を得て会計監査に代える。本会は毎月例会を決算日として、決算上の会計年度は定めない【毎月総会、毎月決算】。本会は次の収入により運営する。入会金、年会費、例会費、連絡費、事業収益金、寄付、募金

団体紹介表の例

【お悩み11】

提供:広島環境サポーターネットワーク【弁当13】

主な活動分野	教育 環境美化 環境保全 地球温暖化 自然環境 その他	公表可否
団体名	広島環境サポーターネットワーク	○
代表者氏名	環境 太郎 (かんきょう たろう)	○
所在地	広島市西区○○○○○	○
電話番号	(082)○○○-○○○○	○
加入者数	619名	○
e-mailアドレス	e-mail:info-web@hiroshimakankyonet.com	○
ホームページアドレス	ホームページ http://hiroshimakankyonet.com	○
団体の概要 (200字程度)	広島市環境サポーター養成講座の修了生が任意で集まって、平成7年から活動を開始しています。年齢は大学生から80代まで幅広く、職業も様々です。環境への市民の関心を高めるために数多くの環境保全活動に参画し、環境イベントや小学校での環境出前講座、リサイクル工作、環境劇など市民にわかりやすい手法で普及啓発活動をしています。 2006年6月「ひろしま環境賞」(広島県) 2006年12月「広島市民表彰」(広島市) 2007年6月「環境大臣賞」(環境省)	○
団体の環境活動内容 (過去1年の活動状況・写真等があれば添付)	①広島市環境局主催「広島地球ウォッチングクラブ」「広島市環境サポーター養成講座」支援 ②広島市や広島県の要請による環境イベントへの参加(環境の日ひろしま大会・バスまつり・ひろしまストップ温暖化フェア・打ち水大作戦ひろしま) ③小中学校や公民館への出前環境講座の実施(水生生物調査・紙すき工作・エコ工作・エコクッキング) ④森林・河川・海洋・生活・国際交流の専門部会による活動 ⑤機関誌「環境サポーター通信」の発行、ホームページによる情報発信	○
環境活動行事の紹介	6月「環境の日ひろしま大会」 9月「バス祭り」 年間2〜3回「広島地球ウォッチングクラブ」	○
環境学習に関する 情報提供	【環境出前講座】 ・水生生物調査・干潟観察・海藻の標本作り ・自然物を使った工作・植物自然観察・染色 ・エコ工作(紙すき プーメラン ペットボトル風車) ・廃油石鹸作り・エコクッキング・バードウォッチング	○

提供:ほのぼのの広島会【弁当1】

団体名	○○○会		代表者	
連絡先	ホームページURL:		事務局	○○ ○○ 携帯電話 080-123-4567 E-mail:
連絡先	TEL 082-123-4567 FAX 082-234-5678		連絡係	○○ ○○ 携帯電話 090-123-4567 E-mail:
会員	構成	男性: 人(障害者 人)、女性: 人(障害者 人) 勤労者: 名、学生: 名、家事専業: 名、その他: 名	人数	人 (内:障害者 名)
会費	入会金: 円、年会費: 円	例会	毎月・第△曜日 : ~ 社会福祉協議会 階 室	
団体の 発足経緯	○○○○、○○○○、○○○○、○○○○、○○○○ら 人を発起人として、 平成 年 月 日に、第1回例会を開催。以後毎月、例会を継続して 年になる。			
目的				
趣旨	① ② ③ ④			
活動内容	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦			
会の自慢点	① ② ③ ④			
これまでの 課題や問題	① ② ③			
今後の活動 計画や夢	① ② ③ ④ ⑤			
表彰	① ② ③			

事業計画書の例

【お悩み7 10】

提供:広島環境サポーターネットワーク【弁当13】

◆ 実施計画書のサンプル

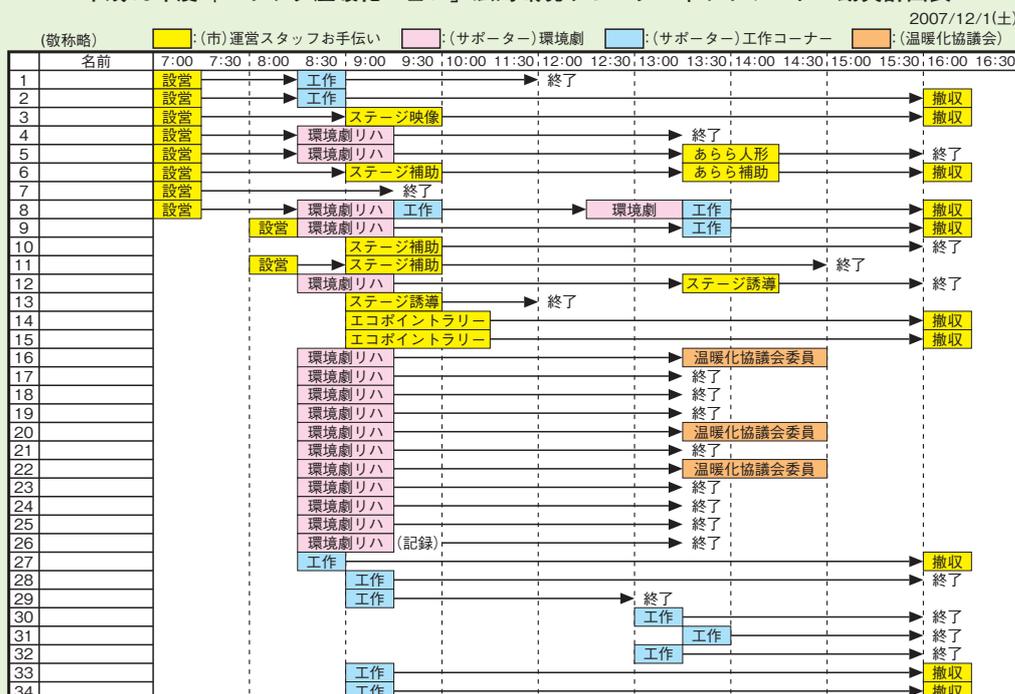
第4回 ひろしま温暖化ストップ!フェア 実施計画書

平成19年11月26日

- 目的** 地球温暖化防止月間である12月に開催される「ひろしま温暖化ストップ!フェア」の趣旨に賛同して、市民へ対し地球温暖化防止に関する関心と理解を深め、環境への負荷の少ないライフスタイルの普及啓発活動を行う。
- 主催** 広島市地球温暖化対策地域協議会・広島市
- 日時** 平成19年12月1日(土)10:00~16:00 集合は、別紙「動員計画表」参照
- 場所** エールエール地下イベント広場(広島駅南口地下通路福屋前)
広島市南区松原町9番1号
- テーマ** 「地球にやさしく」
※出展にあたり、装飾は簡素に終了後のゴミは極力出さない。
- 内容**
 - ★環境劇「カッパの願い」・昔から広島の川にすんでいると言われていた(?)カッパ一族が、現代の異常気象やゴミ問題、地球温暖化などを捉えて嘆き、自然の大切さを「カッパの願い」としてうたったえる。
 - 参加者 参加者=◎(名前)・(名前)・(名前)・(名前)・(名前)・(名前)・(名前)・(名前)
(名前)・(名前)・(名前)・(名前)・(名前)・(名前)・(名前)・(名前)・(名前)・(名前)
 - ※環境劇はRCCエコロジーファンドの助成金を使って実施。衣装代と交通費(8名)に充当
 - 準備物 ※準備物等委細は(名前)さんより発信
 - ★リサイクル工作「荷作りバンドンボ」「プンポンゴマ」・捨ててしまうゴミを有効活用し、再利用できないかと考え、玩具作りをします。ゴミを減量しながら、温暖化防止を考えます。
 - 参加者=○(名前)・(名前)・(名前)・(名前)・(名前)・(名前)・(名前)・(名前)・(名前)・(名前)
(名前)・(名前)・(名前)・(名前)・(名前)
 - ※リサイクル工作はマツダ財団市民活動支援助成金を使って実施。工作材料と交通費に充当
 - 工作内容=別紙参照 誰でもすぐできます。当日時間にブースへお越しください。
 - 準備物=「トンボ」荷作りバンドンボ・竹串・両面テープ→(名前)((名前))
セロテープ・マジック・色テープ→(名前)
 - 「プンポンゴマ」牛乳パックの底・タコ糸(5)・はさみ・きり・両面テープ→(名前)
 - その他=パネル→(名前)・(名前) 養生用ダンボール・ゴミ袋→(名前)
 - 事務局=サポーター旗(2)・名札
 - ※はさみを持っている人はお持ちください。(記名をお願いします)
 - ★市運営スタッフ ()は担当市職員
参加者:設営(市(名前)・(名前))=(名前)・(名前)・(名前)・(名前)・(名前)・(名前)・(名前)
(名前)・(名前)・(名前)・(名前)・(名前)
 - ステージ補助(市○○)=(名前)・(名前)・(名前) ステージ映像補助=(名前)
 - ステージ誘導(市○○)=(名前)・(名前) エコポイントラリー(市(名前))=(名前)・(名前)
 - あらら人形(市(名前)・(名前))=(名前) あらら補助(市(名前)・(名前))=(名前)
- 広報**
 - ・環境劇はRCCエコロジーファンド
 - ・リサイクル工作はマツダ財団
- その他**
 - ・名札をお渡ししますので、会場へお越しになられたら、(名前)まで取りに来てください。(市運営スタッフは、従事される前に名札をしてコーナーへついでください。)
 - ・参加者は緑のスタッフジャンパーを持っている人は持って来てください。
 - ・当日は寒いと予想されますので、温かい服装でお越しください。
 - ・温暖化対策協議会主催の事業ですので、環境サポーターのみとして参加されている方は、交通費500円を支給いたします。
 - ・9時半から、工作コーナーで打ち合わせをいたしますので、お集まりください。(朝スタッフのみ)
 - ・各自別紙 動員計画表を見て行動してください。
- お問い合わせ** 広島環境サポーターネットワーク事務局 (名前)090-xxxx-xxxx
TEL&FAXxxx-xxxx

◆ 動員計画表のサンプル

平成19年度「ストップ温暖化フェア」広島環境サポーターネットワーク 動員計画表

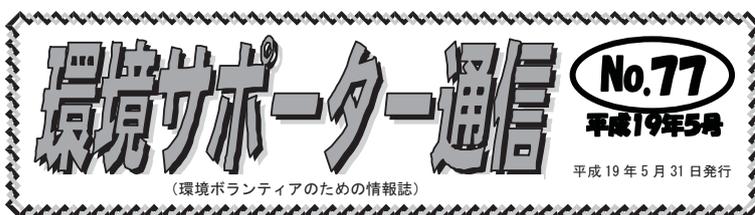


会議録の例

提供：早稲田学区社会福祉協議会【弁当11】

会 議 録						NO.1		
会議名 (第1回)			日 時		場 所		記録者名	
第24回盆踊り大会 実行委員会			2008/6/29 19:30		早稲田集会所		〇〇	
出席者名 (幹事会は出席簿を添付)						名		
〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇
〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇			
早3子	早2子	東2子	早4子	早中P				
記 録								
【別紙資料の通り】								
その他の意見								
<ul style="list-style-type: none"> 写真班がいるのではないか 牛田交番・牛田消防分団へは、本部より連絡 やぐら設置は、7/31または、8/1/…太鼓部・踊り部で立ち会ってください。 シルバー席について、椅子の増 : ご案内配布《本部》 売店保健所への届け(7/10)までに、販売内容を〇〇さんまで《見取り図要》 設営委員を各団体より選出/…〇〇さんまで(7/15まで) 販売価格の調整……〇〇 ゴミは、4日に業者が収集 生ゴミは各自持ち帰る 近隣住民のあいさつ……早稲田3丁目(〇〇) ポスター(第1弾)は7月常任会で配布 作成/〇〇 本部と体協の場所を入れ替える 今年やってみてまた、不備などの点を検討 太鼓の搬入は、2日13:00 搬出は4日9:00 まつり太鼓実質25名程度:6曲のレパートリーを練習中 呼び太鼓は、30分前よりはじめる おどり/…小学校は2日目に参加 (ふれあい太鼓との入れ替わりの時間と場所、ロープ等準備の確認の必要あり) 踊りの練習……7/7 7/14 7/22 7/28 集会所 7/19……うちわづくり(友楽タイム) 7/26……ピースキャンドルづくり 警備要員の増/…〇〇 寄付等の情報提供をお願いいたします。(本部) 備品追加/やぐら用ブロック 								
連絡/備考								
次回会合…7/27(日) 19:00								

1ページ



「ラショウモンカズラ」撮影/西野 晋

目次

- ★ 6月スケジュール・・・1ページ
- ★ 5月 活動報告・・・2ページ
- ★ 5月 活動報告・応援コラム・・・3ページ
- ★ 環境あれこれ・・・4ページ

★ 6月・7月スケジュール ★

＜資＞広島市環境局資源・エネルギー・温暖化対策部依頼
＜県＞広島県環境調整室

日時	連絡先	内容	場所	集合
6月2・3日(土・日)	事務局	＜県＞環境の日 ひろしま大会	ハノーバー庭園	9:00
6月3日(日)	事務局	＜資＞広島地球ウォッチングクラブ結団式	こども文化科学館	9:00
6月3日(日)	生活部会	ゴミ・クリーンウォーク	広島駅	9:00
6月9日(土)	河川部会	「太田川の生物生息のモニタリング」発表	ゲバントホール	13:30
6月10日(日)	森林部会	八幡湿原植物観察会	八幡湿原	JR五日市北9時
6月11日(月)	事務局	環境大臣賞表彰式	東京・虎ノ門	10:30～
6月11日(月)	事務局(出前講座)	井口明神小クラブ①ピオトープ観察	井口明神小	14:30
6月12日(火)	生活部会	福山エフピコ企業見学	広島駅	8:00
6月13日(水)	事務局(出前講座)	海田東小2年・三迫川観察	海田東小	
6月15日(木)	事務局(出前講座)	海田東小・瀬野川観察	海田東小	
6月16日(土)	事務局(出前講座)	ウォッチング・本川リハーサル	吉島公民館	15:00
6月17日(日)	事務局(出前講座)	ウォッチング・楽々園リハーサル	楽々園小	16:00
6月18日(月)	事務局(出前講座)	海田東小・瀬野川観察	海田東小	9
6月18日(月)	事務局(出前講座)	海田西小5年・似島体験学習	似島	JR海田市駅10時
6月20日(水)	事務局(出前講座)	畑賀小学校・水辺教室	畑賀小	
6月21日(木)	事務局	運営委員会	市役所4階会議室	18:30
6月23日(土)	事務局(出前講座)	瀬野まるとチェック	瀬野公民館	
6月23日(土)	事務局(出前講座)	ジャスコエコクラブ(ペットボトル風車)	ジャスコ府中店	9:00
6月30日(日)	事務局	広島地球ウォッチングクラブ干潟観察会 ★募集中！ 申込は事務局まで3箇所同時実施	・元宇品・吉島公民館 ・楽々園小	12:30～

※ 申し込み お問い合わせ e-mail:info-web@hiroshimakankyonet.com または事務局まで

2ページ

★ 5月 活動報告 ★

楽々園小学校 出前環境講座「干潟の生き物を観察物に親しむ」(座学)

- 開催日：平成19年5月14日(月)13:35～
 - 会場：広島市立楽々園小学校
 - 参加者：5年生112名・教職員4名・サポーター
 - 内容：二日後に楽々園の干潟観察をひか事前学習として座学を行いました。
- はじめに、昨年の5年生の観察の様子や干潟子などをスライドで説明し、楽々園で見られる生での諸注意をした後、カニの脚は何本ですか？達の関心を引きました。質疑応答では、カブトの脚をととても楽しみにしている様子でした。

楽々園小学校 出前環境講座「干潟の生き物を観察物に親しむ」(座学)

- 開催日：平成19年5月16日(水)(5・6校時)
- 会場：広島市立楽々園小学校
- 参加者：5年生113名・教職員4名・サポーター
- 内容：校庭テラスでとオリエンテーション後学校まへの楽々園前浜干潟で観察をしましたアラムシロガイの浄化実験では、エサをおくとれてくるアラムシロに子ども達はびっくり。前メコブシガニにも驚き、カニのオス、メスの形も理解しました。その他、パチンパチンと音をのうの砂茶碗も見られました。子ども達はたく

森林部会 5月例会「鈴が峰山植物観察会」

- 開催日：平成19年5月13日(日)
- 会場：鈴が峰山
- 参加者：サポーター12名
- 内容：五月晴れのすがすがしい一日に、身近な鈴が峰山(西区)の植物観察会を実施しました。



「イヌビワ」名前の珍しい「イボタノキ」は水蛭に木と書き樹皮につくイボタノキシガがロウを分泌することを学び、「トベラ」の白い花の良い匂いをかぎ、この木が節分に関係することも学んだ。アオキ(普通タイプと斑入りタイプ)、ササユリ・ナルコユリはあちこちに沢山見られた。ナンゴクウラシマソウ・イヌノキ・シロダモ・イヌザンショウ・アラカン・ヌルデ「ヤブウツギ」は淡い紫紅色の花を咲かせていた。大木の「ホウノキ」を見つけた。しかも花を咲かせている。なかなかこのタイミングには出会えない。

会報の例

提供:広島環境サポーターネットワーク【弁当13】

3ページ

海洋部会定例会「元宇品定点観察」

- 開催日：平成 19 年 5 月 19 日(土)
- 会場：元宇品海岸
- 参加者：サポーター15名・市役所 1 名
- 内容：今年度初の海洋部会の例会に、6 月 30 日にある地球ウォッチングクラブのリハーサルをかねて実施。磯の環境・生物調査、観察をし、継続して行っている元宇品の定点観察の記録をとりました。カメノテやマツバガイ、ヒジキも観察され、指標生物点数は 80 点となり、評価値は 58.2 で、II = 少しよごれた海に値しました。元宇品の海も少しずつ生物種も増え、きれいになっているようすが伺えます。



広島市こども文化科学館 平成 19 年度科学教室「瀬野川の自然観察」

- 開催日：平成 19 年 5 月 26 日(土)
- 会場：瀬野川 ほこり公園
- 参加者：小学生 20 名・保護者 15 名・幼児 6 名
広島国際学院大学教授 1 名・大学生 5 名
サポーター7名・職員2名
- 内容：ほこり公園横を流れる瀬野川で水生生物調査を行い、自然観察を行った。前日の雨で増水し流れが速いようでしたが、緩やかな場所を探し安全第一で細心の注意を払って実施。子ども達は川に入り、流れの早さで自由に動けないことから、少し川の怖さも知ったようでした。水生生物を探して捕まえて触って見知らぬ生物に出会った驚きを体験し、身近な自然を十分に親しんでいました。川にはたくさんの生物がいたことは驚きであり、命の大切や川の環境について多くのことを学び、参加者は環境に対する理解が増えたと感じました。



出前環境講座「干潟に親しむ」～元安川河口観察～

- 開催日：平成 19 年 5 月 29 日(火)
- 会場：元安川河口
- 参加者：千田小学校 4 年生 108 名・教員 3 名・ポーター5名
- 内容：学校近くを流れる元安川の干潟観察をして、身近な自然に親しみました。はじめに、校門前で注意事項などのオリエンテーションを行い、スコップを持って元安川の河口、宇品橋のたもとまで20分歩きました。3組に分かれて調査をしました。干潟に入ったことのない子どもが多かったようです。干潟には大小たくさんの穴ができており、その下に生物がいることを知りました。大きなスコップを入れると穴シヤコが出てきて驚き。穴同士が干潟の中でつながっていることも知りました。ケフサイソガニ・ヒライソガニ・マメコブシガニ・ニホンスナモグリ・テッポウエビ・イソテッポウエビ・アサリ・アラムシロ・オキシジミ・オニアサリ・ホソウミナナ・マテガイ・ミズヒキゴカイなどを観察しました。



★広島地球ウォッチングクラブ サ

4ページ

行事名 (日 時)	場所
平成 19 年度 結団式・交流会 * 6 月 3 日(日)	こども文化科学館
干潟観察会 * 6 月 30 日(日)	元宇品・吉島 楽々園の干潟
二葉山観察会 * 10 月 21 日(日)	二葉山
バードウォッチング * 2 月 3 日(日)	

※ 申込は、HPから下記事務局までお願いします

★応援コラム★

広島環境サポーター

◆環境シティーとして誇れる都市を目指して頑張

1996年広島市は森林保全のボランティアリーダーを養成する催し、その修生の有志が主体となり、森の再生と自然保護を図る「Hiroshima」という行政から独立した任意団体を立ち上げました。ご存知のように森は生命体に必要な酸素や水を育み、さまざまな先進国の中での森林率も日本は第3位。その森は材木の低迷・減る現状の中、「できることから」という思いで市民の先駆的役割を担っています。森林整備の技術集団として単なる労働力の提供だけにとどまらずに、環境教育の専門家として派遣しています。ご存知のように森は生命体に必要な酸素や水を育み、さまざまな先進国の中での森林率も日本は第3位。その森は材木の低迷・減る現状の中、「できることから」という思いで市民の先駆的役割を担っています。森林整備の技術集団として単なる労働力の提供だけでなく、環境教育の専門家として派遣しています。'04年には勤労者のボランティア活動促進に寄与しているということで厚生労働省から「環境推進・人材育成の有用利用」として林野庁がらみで表彰され、'06年広島市から「ひろしま街づくりデザイン賞」を受賞するなど多方面で活動を評価いただいています。

発足以来、行政に頼ることなく自立した倶楽部として尽力してきた結果の賜物と自負しています。太田川流域学校間交流事業では初年度から林業を通じた環境教育を我が倶楽部で企画し、地元の方達との協働で行って来ました。今年度からの環境教育のプロフェッショナルを目指し、環境教育研究会も立ち上げよう準備中です。

地球温暖化が急速に進んでいる現状の中、環境教育の体験活動は「環境意識」を芽生えさせるだけでなく、自然の恵みを得て、自然の楽しさ・心地よさ、怖さを知ることにより自然との共生を感じ、「生きる力」を養い、四季の移り変わりを五感で感じるにより、「心豊か」な人間を育てるのです。広島環境サポーターネットワークのほかこのような活動を行っている環境系の団体が連携を深め、広島から平和を発信していると同様に「環境シティー」として誇れる都市を目指して力を合わせて頑張っていきたいと思います。

環境サポーター通信

No.77平成19年5号

発行日：2007年5月31日

編集:広島環境サポーターネットワーク

e-mail: info-web@hiroshimakanyonet.com
http://hiroshimakanyonet.com

発行: 広島市環境局資源・エネルギー・温暖化対策部

〒730-8586 広島市中区国泰寺町 1-6-34

TEL:(082) 504-2185 FAX:(082) 504-2229



Hiroshima
Kankyo Net.
SINCE 1996

安全衛生計画書の例

提供: ほのぼの広島会【弁当1】

安全衛生計画書		
件名		
場所 (ルート)		
期間 (保険期間と一致)	年 月 日 : ~ 年 月 日 :	
人数 (予定)	大人: 男 人、女 人、合計 人、(内・障害者 人) 学生: 男 人、女 人、合計 人、(内・障害者 人) 小学生: 男 人、女 人、合計 人、(内・障害者 人) 幼児: 男 人、女 人、合計 人、(内・障害者 人) 参加計: 男 人、女 人、合計 人、(内・障害者 人)	
団体名	連絡者	連絡先
役割	氏名	連絡先住所: 携帯電話
統括責任者		
安全責任者		
衛生責任者		
在宅連絡者		
【安全面の注意事項】 ①〇〇の入り口には転び易い階段があります。班長さんは特に注意してください。 ②〇〇からの道路の歩道が特に狭い為、1列に並んで進んでください。 ③〇〇会場では一般客と合流します。一般客にご迷惑にならないよう注意喚起をお願いします。 ④ ⑤		
【衛生面の注意事項】 ①〇〇のトイレは男女兼用だけです。班長さんはうまく誘導してください。 ②暑いさ中です。食中毒には特に注意を喚起してください。 ③寒い人には、カイロやひざ掛けを準備しています。お気軽にご利用ください。 ④ ⑤		
【一般注意事項】 ①高速道路ではシートベルトを締めてください。 ②体の不自由な人には選任の介護者が付きます。最初に紹介し合ってください。 ③救急薬品を準備しています。遠慮なくご利用ください(酔止薬は早めに飲んでください)。 ④雨天(炎天)の為にビーチパラソルを準備しています。お気軽にご利用ください。 ⑤		
【保険加入】(〇〇保険に加入しています。連絡先: _____) ①死亡補償: 万円、②障害補償: 万円、③入院給付: 千円、 ④対人賠償: 万円、⑤対物賠償: 万円、⑥物 損: 万円、 ⑦自宅から適用、⑧特例:		

安全衛生計画書の例

提供：広島環境サポーターネットワーク【弁当13】

平成20年度広島地球ウッチングクラブ
平成20年7月5日

〈安全管理〉

〈全体〉

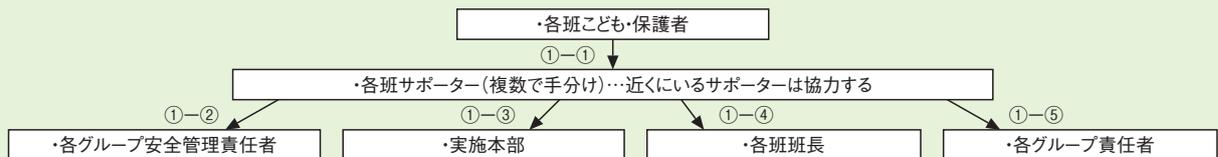
1.各班长は、サポーターと協力して会員の有無を活動の都度確認して、責任を持って解散時まで安全を確保し、会員を無事連れ帰ってください。

〈安全管理〉

1.安全管理の仕組み及び緊急事態発生時の情報ルート

(1)緊急時対応

- ①緊急事態発生時の処置と情報ルート…サポーターが協力して、可能な処置をし、矢印に沿って連絡する
緊急事態発生源にて可能な処置をすると同時に、最短で安全管理責任者に情報を届けて適切な処置を受け、時を同じくして即実施本部に情報を届け、実施本部の指示を仰ぐ



②緊急手配は実施本部にて行う

- ・救急患者発生時の搬送ルート…南消防署似島出張所へ連絡→救急艇にて本土の病院へ搬送
- ・対応者(順位) 市…①▽△ ▽○ ②▽○ ▽△…③以降は状況を見て実施本部で決定
サポーター…①△○☆子 ②●○ ▽…③以降は状況を見て実施本部で決定

注)緊急連絡先:

- 実施本部: □□ 090-9xxxx-xxxx □□ 090-9xxxx-xxxx □□ 090-8xxxx-xxxx
- 安全管理責任者: ●● 090-5xxxx-xxxx □□ 090-8xxxx-xxxx □□ 090-5xxxx-xxxx
- グループ責任者: ☆☆ 090-5xxxx-xxxx □□ 090-8xxxx-xxxx
- ◇◇ 090-8xxxx-xxxx

(2)安全管理の情報ルート



注)緊急時以外の一貫情報の連絡ルート

2.想定される危険事項と対策及び事前の注意喚起事項…対象は全員

(実施者:各班班长、サポーターは班长を十分にサポート)

(1)全体…オリエンテーション時

- ①安全管理責任者を紹介し、些細なことでも何か発生した時は即連絡することを指示する
- ②安全管理責任者がいない場合でも、すぐ近くのサポーターに即知らせる
- ③保護者は特に自分のお子さんには十分な注意を払うことを要請

(2)個別…各班での対応

- ①熱中症(直射等の高温、多湿等による熱中症対策) (十分な水準備…市)
 - ・活動30分毎に強制的に水分補給をさせる
 - ・子どもへの要請 時々お茶を飲むこと
体が熱くなったり、顔が赤くなったりしたら必ず大人にいうこと
お友達が調子悪そうだったり、何かおかしかったら大人にいうこと
飲み物がないからといって我慢しないこと…お茶がないことを大人に言うこと(補充します)
 - ・保護者への要請 自分のお子さんには時々水分を取るよう具体的に指示してください
体調のおかしそうな子どもを見つけたら、サポーターに即連絡してください
- ②危険生物との遭遇・接触注意
 - ・ハオコゼ→会員には絶対触らせない (ハオコゼのラミネート版3枚…オリエンテーションで提示)
 - ・スズメバチ…歩行中遭遇の可能性あり→注意喚起(スズメバチのラミネート版2枚…オリエンテーションで提示)
- ③けが
 - ・漂着物・ゴミ収集→小学1～3年生はガード下となるため、キャタツ使用での乗降時の滑り・落下及び岩場のため滑らないようサポートし、事前に注意喚起
 - ・漂着物・ゴミ収集→ゴミ収集では危険なゴミで怪我をさせないようにカナバサミを使用させる
- ④落水(フロート準備…◇◇2個(釣り場①、釣り場②用各1))
 - ・釣り→落水しないよう注意及び注意喚起(特に小学1～3年生はフェンス越しだが、防波堤からとなる為、細心の注意)

3.救急箱

- …1箱(幼児担当) ○◇◇…1箱(小学1～3年担当) ▽△…1箱(小学4年以上担当)

4.安全管理体制…別表

(時間管理)

- ・今回の活動は盛りだくさんで、かつ移動が多い為、各班のタイムキーパーは班长と協力し、確実な時間管理をお願いします。

ワークショップ

【弁当 10】

【お悩み 4 5 6 7】

◆ ワークショップの組み立て

ワークショップ(WS)は、立場、年齢や職業等が違う不特定多数の参加者で行う、まち探検・企画づくり・マップづくり等の際によく使われますが、団体等の会議でも、自由な発想を求める企画会議をしたい場合などでは活用されることがあります。

WSは、その目的によって組み立てや内容が変わっ

てきます。慣れないうちは同じパターンを繰り返しやってみるとよいです。また、さまざまな場所でWSが開催されているので、参加者として実体験することも大切です。

ここでは、基本的なパターンを紹介します。

■ ワークショップの流れ

《起・承・転・結で流れをつくる》

ワークショップでは、進行役が起・承・転・結の流れを意識し会議を進行させる。

「起」は、導入部で初めての顔合わせなら「アイスブレイク・タイム」で、お互いの緊張感を和らげるための工夫を加える。引き続きの会議であれば、前回のふりかえりやそれまでの情報を提供し、参加者全員が情報共有する。

「承」では、当日の本論である「何を論議するのか」のテーマを明確にし、思いつくままのアイデアや思いを最大限出してもらう。意見やアイデアが入り混じり、議論が混沌とするかもしれないが、「転」の議論に移ってようやく議論の収束に向けた整理が行われる。

「結」でようやく結論に導くという流れである。

こうした議論の場を演出しながら、進行や整理するのがファシリテーターである。

《つがみ》「起」

- ・オリエンテーション(流れの説明等)
- ・アイスブレイク(自己紹介、他己紹介)
- ・目的、狙いの説明(進行、作業の説明)

《本体1》「承」

- ・作業に関する講義(映像での紹介等)
- ・参考になる事例の紹介
- ・実際にやってみる
- ※「ブレインストーミング」による気付きやアイデアをキーワードで書き出し、模造紙に添付していく。

《本体2》「承・転」

- ・記入キーワード(付箋紙)の分類
- ・「分類別の塊」に表題をつける
- ※「KJ法」によるグルーピング作業と表題(キーワード)の記入

《まとめ1》「転・結」(まとめ)

- ・表題ごとの再点検(付箋紙のいれかえ)
- ・模造紙に記入し仕上げる
- ・発表の準備(発表者をきめる)

《まとめ2》「結」(発表会)

- ・グループごとの発表(お互いの評価)
- ・感想の記入

ワークショップ

◆ファシリテーターの役割

ワークショップ(WS)で重要なのが「ファシリテーター」です。通常の会議では、議長に会のトップが座り、進行から説明、決定までを仕切ることが多いですが、WSは、ファシリテーターが進行、アドバイス、整理等の役割を果たし、会議の時間も管理します。会議の場でのファシリ

テーターは主に進行役ですが、議論が絡み合えば中立的な立場で議論の整理やヒントを出すこともあります。盛り上がりのある会議を作るためには、ポストに関係なく同じ立場での発言できる環境をつくる必要があります。

《ファシリテーターのポイント》

- ・多様な手法と技をたくさん持つ
- ・失敗の積み重ねも上手になる秘訣だ!
- ・いろんなWSに参加して人の技を盗む
- ・人脈をつくる(専門家、行政、NPOなど)

- ・日頃から情報収集に努める(手法、事例)
- ・小道具の準備と上手な使い方
- ・WSの成否は事前準備で決まる

◆ワークショップの手法

■ブレインストーミング

参加者はテーマに沿ったアイデアや意見を出し合い、キーワードで整理し結論(目標)にまとめます。

付箋紙1枚にキーワードを記入したカードを張り付けるか、ファシリテーターが参加者の発言を直接模造紙に

記入します。参加者は、キーワードをさらにKJ法でグルーピングし、見出し(タイトル)をつけ整理する方法があります。ゲーム感覚で意見集約に結びつけることができるので、参加者には好評です。

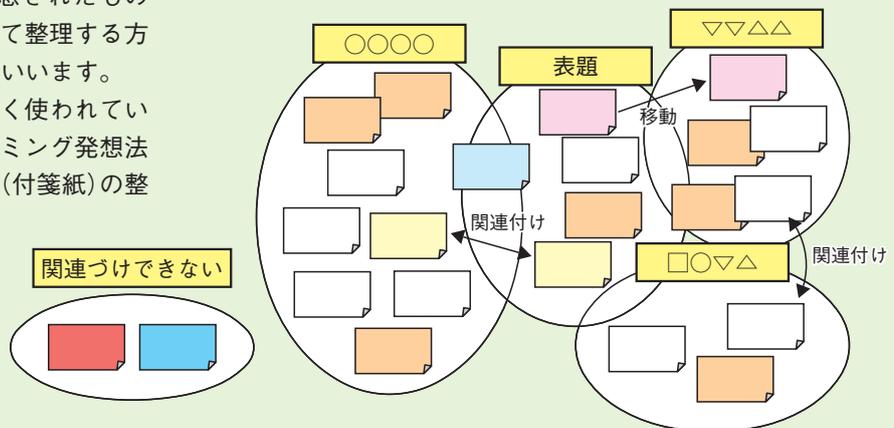
《4つの基本ルール》

- ①人の意見の批判をしない(当然議論もしない)
- ②自由奔放に意見を出す(奇想天外もOK)
(「笑われる」と自己規制しない)
- ③たくさん出す(数で勝負する)
(さまざまな角度からアイデアを出す)
- ④結合させる(他人の意見と自分の意見を結合)
(他人の意見を参考にアイデアを出す)

■KJ法

KJ法は、川喜田二郎(Kawakita Jirou)の膨大な探検記録の整理から発想されたもので、グルーピングと表題をつけて整理する方法。発想者の頭文字からKJ法といえます。

ワークショップでは、最も多く使われている手法であり、ブレインストーミング発想法による、たくさんのキーワード(付箋紙)の整理に便利な方法です。



ワークショップ

◆ ワークショップで役に立つ文具など

《屋内の場合》

- ①8色(6色)の水性マーカー(グループ数)
- ②サインペン(付箋紙記入用)
- ③模造紙(罫のあるものが便利)
- ④壁面の使用(またはパーティション)
- ⑤マグネット、マスキングテープ
- ⑥付箋紙 色3~4種類
- ⑦マーキングシール(丸い3色位のもの、大小)
- ⑧指示棒(発表時に使用)
- ⑨BGM(流すタイミングは研究が必要)

《屋外の場合》

- ①記入用の画板(紐つき) & 筆記具
- ②メジャー(2~3m程度)
- ③地図(まちの地図、場所等の位置図)
- ④磁石(方位をみる)
- ⑤本人の身支度
 - ・飲み物(水かお茶、夏期は特に重要)
 - ・食事又はおやつ
 - ・雨天用のコート(または傘など)

《当日の準備》

- ①参加者名簿(緊急連絡先もあれば便利)
- ②参加費等の領収書(不要の場合もある)
- ③お菓子、飲み物(コーヒー、紅茶、お茶)

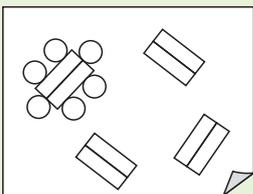
《あれば便利》

- ①時間表示のカード(発表時間管理に使う)
- ②タイマー(発表時間管理に使う)
- ③デジカメ(記録用)

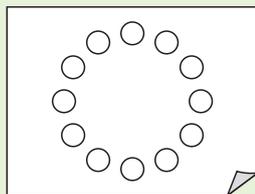
◆ 会場設営

作業の有無等に応じて設定する。お互いの顔が見える場作りに心がけよう。

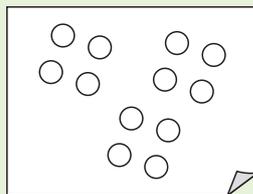
①アイランド型



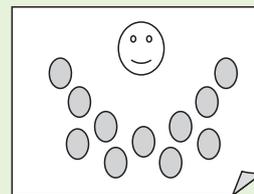
②サークル型



③分散型



④椅子なし扇(半円)型



◆ まとめ方形式例

《意見集計型》

[出された意見、集約された意見]		支持する人の数
1	○○○○をしよう	4人
2	△△△△をしよう	6人
3	■■■■をしよう	2人

「旗揚げ方式」で、意見集約をする方法。
あらかじめ、選択肢の数の分だけ旗を準備し、司会者の合図で一斉に旗を揚げ、カウントする。

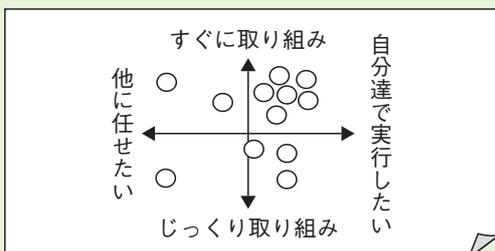


《マトリックス型》

	A	B	C	D
ア	○○	△△	■■	□□
イ	■■	△△	□□	○○
ウ	□□	○○	○○	■■
エ	○○	□□	□□	△△

複数条件があるような時に、それぞれの条件の組み合わせで、どのような違いがあるかをまとめたい場合に使う。

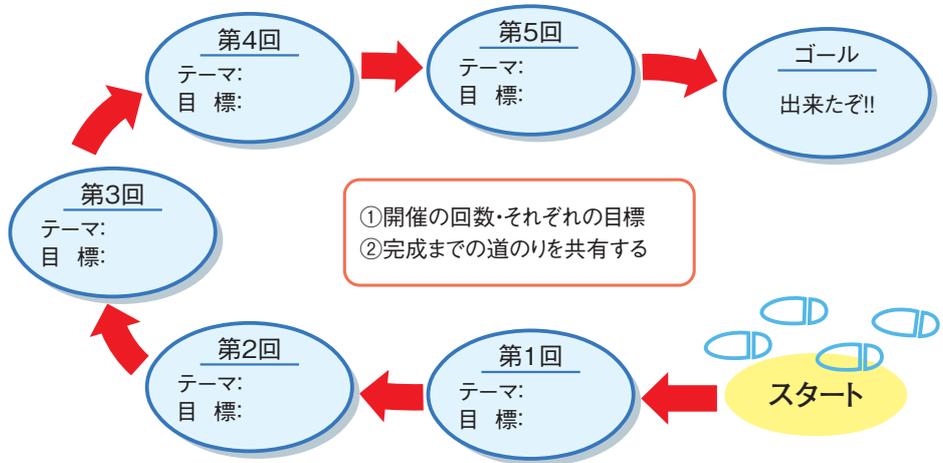
《分布図型》



意識や度合いを表したい時に、シールなどを貼って表現する方法。

プロセスデザイン・シート

- テーマ名 ○○○○地区の△△・◇◇のまちづくり
- 目標設定 ○○○○の△△・◇◇企画づくり
- 参加のデザイン (呼びかける人)年齢・男女・人数…
- ゴールまでの流れ (呼びかけ内容)時間・場所・行事内容…



プログラムデザイン・シート

- プロセスの位置づけ (第1回)参加者の顔合わせ・○○○○の問題点探し
- 参加者の理解 ①情報の共有 ②問題意識は? ③○○○に関心がある
- 本日の目標 ①問題点の共有化 ②次回以降の展開…
- プログラム

時間	流れ	ねらい	内容	会場設営	グループ	手法
9:30	起	流れの共有	最終目標までの流れの説明	半円形	全員	紙芝居、寸劇スライド
9:45		緊張をほぐす	思いを話す	バラバラ	2人1組	アイスブレイク
10:00	承	問題点の発見	カード記入	机3×〇組	6人×1組	ブレンストーミング
10:30		キーワード整理	カードの統合			KJ法
11:00		休憩		茶菓子準備		BGMを流す
11:10	転	グルーピング	見出しつける	机3×〇組	6人×1組	KJ法

NPO法人の設立

【お悩み2 10】

◆ なぜNPO法人になる？

NPO活動やボランティア活動を進めていくうえで重要な問題になってくるのが活動団体の法人化です。任意団体としての活動では、財産の登記などは代表者等の個人名義で行なっている場合が多く、代表者等が死亡した場合などには相続等の問題が生じ、活動を継続できなくなることがあります。また、寄附金を集めるための社会的信用の獲得や行政・企業との協働、助成金の申請など、活動や事業を拡大していこうとする局面においても、法人格が必要となる場合があります。任意団体のままでは活動が限定されるなどの不都合が生じてくる場合があります。NPO法人の設立は、個人と団体の財産の区別を明確にするとともに、個人の集まりから一つの組織として活動できるようになります。

◆ NPO法人になるには

NPO法人を設立するには、申請書類を所轄庁へ提出し、認証を受ける必要があります。設立の認証後、登記することで法人格を取得します。

《申請要件》

- ① 特定非営利活動を行うことを主たる目的とすること
- ② 営利を目的としないこと
- ③ 社員(正会員など総会で議決権を有する者:従業員や職員を指すものではない)の資格について、不当な条件をつけないこと
- ④ 社員のうち報酬を受ける者の数が、役員総数の3分の1以下であること
- ⑤ 宗教活動や政治活動を主たる目的としないこと
- ⑥ 特定の公職者(候補者を含む)又は政党を推薦、支持、反対することを目的としないこと
- ⑦ 暴力団でないこと、又は暴力団若しくは暴力団の構成員(暴力団の構成員でなくなった日から5年を経過しない者を含む)の統制の下にある団体でないこと
- ⑧ 10人以上の社員がいること

《特定非営利活動》

- | | | |
|--------------------|------------------|-------------------------------|
| ① 保健・医療・福祉の増進 | ⑦ 地域安全 | ⑬ 科学技術の振興 |
| ② 社会教育の推進 | ⑧ 人権の擁護・平和の推進 | ⑭ 経済活動の活性化 |
| ③ まちづくりの推進 | ⑨ 国際協力 | ⑮ 職業能力の開発・雇用機会の拡充 |
| ④ 学術・文化・芸術・スポーツの振興 | ⑩ 男女共同参画社会の形成の促進 | ⑯ 消費者の保護 |
| ⑤ 環境の保全 | ⑪ 子どもの健全育成 | ⑰ NPO法人の運営・活動に関する
連絡・助言・援助 |
| ⑥ 災害救援 | ⑫ 情報化社会の発展 | |

《所轄庁》

広島県認証法人(広島県内のみ)に事務所を設置する場合)

広島県環境県民局総務管理部県民活動課 NPO・協働推進グループ

電話:082-513-2721

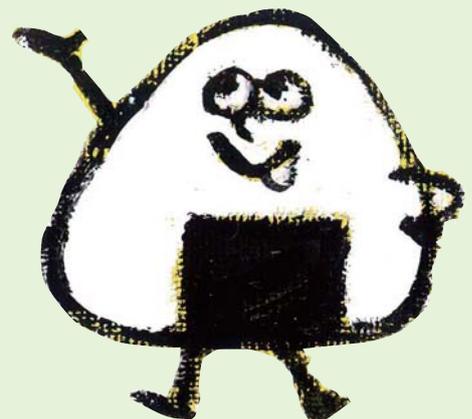
ホームページ:<http://www.pref.hiroshima.lg.jp>

内閣府認証法人(2以上の都道府県に事務所を設置する場合)

内閣府国民生活局市民活動促進課NPO室

電話:03-3581-9308

ホームページ:<http://www.npo-homepage.go.jp/>



NPO法人の設立

◆ NPO法人になるとできること

法人格を取得することで、NPOの名前で契約をしたり、財産を所有することができるようになります。つまり、銀行の口座の開設、不動産の登記などをNPOとして行うことができたり、委託事業などをNPOとして受託できることから事業の幅広い展開が可能になります。

その一方で、毎事業年度終了後に、所轄庁への事業報告書の提出が義務付けられたり、役員や事務所の変更なども届出が必要になるなど、事務量の負担は増加します。他にも法人としての納税義務の発生や残余財産も自由に処分できなくなるなどの留意点もあります。

《NPO法人に課せられる税》

区 分			収益事業	
			有り	無し
法人税	税務署	法人税法に規定された「収益事業」からの所得に課税 (特定非営利活動に係る事業であっても課税対象となる場合あり)	年間所得800万円以下:22% 年間所得800万円超:30%	非課税
法人事業税	広島県	県内に事務所等を有し、収益事業を行う法人の所得に対して課税	年間所得400万円以下:5% 年間所得400万円超～ 800万円以下:7.3% 年間所得800万円超:9.6%	非課税
法人住民税	広島県 (県民税)	法人税割(法人税額に応じて課税)	法人税額の5%	非課税
		均等割(一律に納税義務)	2万円(減免あり)	課税免除
	広島市 (市民税)	法人税割(法人税額に応じて課税)	法人税額の12.3%	非課税
		均等割(一律に納税義務)	5万円	課税免除

《収益事業とは》

政令で定める34事業を言い、「継続して事業場を設けて行われるもの」と定義されています。

物品販売業、不動産販売業、金銭貸付業、物品貸付業、不動産貸付業、製造業、通信業、運送業、倉庫業、請負業、印刷業、出版業、写真業、席貸業、旅館業、料理飲食店業、周旋業、代理業、仲立業、問屋業、鉱業、土石採取業、浴場業、理容業、美容業、興行業、遊技所業、遊覧所業、医療保健業、技芸教授業、駐車場業、信用保証業、無体財産権提供業、労働派遣業

・「継続して」には、事業期間が短期間であっても、事業の遂行に相当期間を要するものや、定期的に若しくは不定期に反復して行われるものも含まれます。

・「事業場を設けること」には、必要の都度場所を設けたり、移動販売や移動公演なども含まれます。

* 具体的な解釈については、税務署等の担当部署に相談しましょう。

町内会・自治会の法人化

【お悩み2】

集会施設などの財産を持つ町内会・自治会は、市町村長に申請し認可を受けることで、法人格を持つことができます。このような法人化された町内会・自治会のことを「認可地縁団体」といい、認

可を受けることで町内会・自治会名義で、財産を登記できるようになります。詳しくは所在地の区役所区政振興課へお問合せください。

◆ 法人化できるのは？

《対象》

集会施設などの財産を所有している町内会・自治会

※法人格を持っていない場合に生じる問題

- ・会長や役員の名義で登記されていると、登記名義人の個人の財産と団体の財産を混同して処分してしまう。
- ・共有名義で登記されていると、相続登記ができない。

《申請要件》

- ①町内会・自治会の存する区域の住民相互の連絡、環境の整備、集会施設の維持管理等良好な地域社会の維持及び形成に資する地域的な共同活動を行うことを目的とし、現にその活動を行っていることと認められること
- ②町内会・自治会の存する区域が住民にとって客観的に明らかに定められていること
- ③町内会・自治会の存する区域に住所がある全ての個人が構成員となることができ、相当数の人が現に構成員になっていること
- ④規約を定めていること

◆ どうすれば法人化できる？

《申請手続き》

町内会・自治会の総会において認可を申請する旨の議決をした後、申請書を作成し、市町村長へ申請してください。(提出先:広島市の場合、各区区政振興課)

要件に基づき審査を行い、要件を満たしていれば認可し、告示を行います。この告示は法人登記に代わるもので、これにより町内会・自治会は法人格を持つようになります。

《認可後の手続き》

①不動産等の登記の手続き

法務局で不動産の移転登記を行うことができます。

個人・共有名義→町内会・自治会の団体名義

※移転登記には認可を受けたことの証明書(台帳の写し)が必要です。

証明書は認可の取り扱いを行った市町村(広島市の場合、各区区政振興課)で発行します。証明書1通につき、手数料650円(台帳の写しが1ページ増すごとに100円が必要)が必要です。(平成20年9月現在)

②町内会・自治会の団体印の印鑑登録

認可の取り扱いを行った市町村(広島市の場合、各区区政振興課)で印鑑登録ができます。

③告示された内容の変更

認可された後、規約や告示された内容に変更があったとき(代表者である会長が交代した、町内会・自治会の区域が変わったなど)は、市町村長(広島市の場合、各区区政振興課)で所定の手続きを行ってください。

マスコミへの資料提供

【お悩み12】

◆ マスコミへ資料提供するには

プレスリリース(報道機関向けの発表資料)を作成して、郵送、ファックス、Eメールでマスコミ各社に送付する。

《プレスリリースの作成例》

基本はA4縦1枚

2枚以上になるときも、概要はできるだけ一枚にまとめてください。

5W2HYTTを!

5W

When(いつ)
Where(どこで)
Who(だれが)
What(何を)
Why(なぜ)

2H

How(どのように)
How Much(どのくらい)

YTT

Yesterday(過去は)
Today(未来は)
Tomorrow(将来は)

情報提供日	平成〇年〇月〇日
問い合わせ先	団体名・担当者名
	Tel〇〇〇-××××

必ず問い合わせ先を!

タイトル

1. 目的 (目的や趣旨をわかりやすく)
2. 開催日時 平成〇年〇月〇日
〇時〇分~〇時〇分
3. 開催場所 〇〇センター 〇階
(〇区〇〇町〇-〇)
4. 主催 団体名
(設立趣旨等)
5. 後援 〇〇省、広島県
6. イベントの概要
7. その他 (会場見取図、チラシ等)

視覚に訴える資料を添付

写真や絵は文字だけの資料よりも効果的です。(写真の場合、日付入りのものは避けること)

※これは一例です。資料提供の内容に応じて工夫しましょう。

◆ 記者クラブを使った資料提供方法(広島の場合)

市政記者クラブ

資料20部を用意し、市政記者室(広島市役所本庁舎11階)へ持参してください。

受付時間は原則として開庁日の9:00~16:00です。

- ▶ 資料提供時期…イベント等の開催日3日前が目安です。
- ▶ 資料配布時間…提供した資料は提供の都度、市政記者室内の各社ボックスに配布されます。
- ▶ 資料の内容…資料に様式はありませんが、必ず連絡先を記載してください。

問い合わせ先082-504-2118(市政記者室)

県政記者クラブ

資料22部を用意し、県政記者クラブ(広島県庁本館2階)へ持参してください。

受付時間は原則として開庁日の9:00~16:00です。

- ▶ 資料提供方法…県政記者室内の配布ボックスへ直接投函してください。
- ▶ 資料の内容…資料に様式はありませんが、必ず連絡先を記載してください。

問い合わせ先082-513-4460(県政記者クラブ)

マスコミの連絡先

【お悩み12】

【注】下記窓口は、**市民活動の情報提供先**として紹介しております。情報提供しても、ニュースとして取り上げるかどうかは、各社が判断しますので、**必ず取り上げてもらえるわけではありません。**
 また、**情報提供以外**の連絡先は会社によっては、別の連絡先が設けられていることがあります。
 情報提供以外の連絡には、連絡先を別途ご確認くださいませようお願いします。

《新聞》

	Tel(市外局番082)	Fax		
中国新聞社	236-2111		中区土橋町7-1	代表電話
朝日新聞社 広島総局	221-2311	223-7606	中区基町13-7	
毎日新聞社 広島支局	221-2181	223-5745	中区上幟町3-26	
読売新聞社 広島総局	221-1111	221-3128	中区上八丁堀8-8	
産経新聞社 中・四国総局	228-9111	227-7535	中区鉄砲町5-16	
日本経済新聞社 広島支局	244-1155		中区小町3-25	

《テレビ》

NHK広島放送局	504-5111	504-5292	中区大手町2-11-10	
中国放送(RCC)	<small>情報はFAX・メールでお寄せください</small>	228-7699	中区基町21-3 報道センター	news@rcc.net
広島テレビ放送(HTV)	249-1234	249-8739	中区中町6-6	
テレビ新広島(TSS)	256-2111	254-6183	南区出汐2-3-19	報道部
広島ホームテレビ(HOME)	221-7110	227-4531	中区白島北町19-2	報道局

《ケーブルテレビ》

ふれあいチャンネル	296-5550	296-5559	中区土橋町7-1	
ひろしまケーブルテレビ(HICAT)	256-5227	256-1888	南区出汐2-3-24	編集制作部

《ラジオ》

NHK広島放送局	504-5111	504-5292	中区大手町2-11-10	
中国放送(RCC)	222-1121	222-1185	中区基町21-3	ラジオ編成業務部
広島エフエム放送	251-2260	255-6633	南区皆実町1-8-2	
FMちゅーピー76.6MHz	292-0766	297-7660	中区土橋町7-1	

《タウン誌等》

TJ Hiroshima	232-6620	232-6631	中区舟入南1-1-18	編集部
ヒロシマフリーク	297-4810	296-2151	西区中広町2-21-26	
Wink広島	543-2500	543-2501	中区小町2-10	
西広島タイムス	277-1145	277-1138	西区商工センター7-5-17	
リビングひろしま	511-7720	511-7721	中区鉄砲町5-16	編集部

インターネットを活用した情報収集・情報発信

【お悩み13】

◆ ひろしま情報a-ネットを活用する



ひろしま情報a-ネットとは施設、イベント、団体・サークルなどを紹介して、生涯学習、まちづくりボランティア・NPO、芸術・文化、スポーツ・レクリエーションなど市民活動を支援する情報満載の総合ポータルサイトです。
【ホームページアドレス】<http://www.a-net.shimin.city.hiroshima.jp/>

■ 市民活動の情報を集めたい!

- 市内の施設について知りたい
- 市民活動団体を調べたい
- イベントに参加したい
- 講座を受けたい
- 講師を探したい
- 助成情報を知りたい



■ 市民活動の情報を発信したい!

- 団体の活動をPRしたい
- イベントに人を呼びたい
- ボランティアを募集したい
- 講師を探したい
- 助成情報をPRしたい

問合せ先《情報を発信したい人はこちら》

- 生涯学習、まちづくり、ボランティア、NPOに関すること
広島市まちづくり市民交流プラザ 中区袋町6番36号
電話545-3911 ファクス545-3838 メールm-plaza@hitomachi.city.hiroshima.jp
(この他、公民館、青少年センター、勤労青少年ホーム等でも受付ます。)
- 芸術・文化に関すること
アステールプラザ情報交流ラウンジ 中区加古町4番17号
電話244-8000 ファクス246-5808 メールbunsou@cf.city.hiroshima.jp
(この他、各区民文化センター、こども文化科学館等でも受付ます。)
- スポーツ・レクリエーションに関すること
広島市スポーツ協会 中区国泰寺町一丁目4番15号
電話243-0578 ファクス249-3641 メールoffice@sports-or.city.hiroshima.jp
(この他、各区スポーツセンター、中央庭球場、広域公園でも受付ます。)

■ もっと情報を集めたい!

ひろしま情報a-ネットのほかに下記サイトでも市民活動情報を収集・提供しています。

- 広島市社会福祉協議会 <http://www.syakyohiroshima-city.or.jp/>
- 広島平和文化センター <http://www.pcf.city.hiroshima.jp/hpcf/index.cgi>
- ひろしまNPOセンター <http://www.npoc.or.jp/>
- ひろしままなびネット <http://www.manabi.pref.hiroshima.lg.jp/top.html>

インターネットを活用した情報収集・情報発信

【お悩み13】

◆ こむねっとひろしまを活用する



「こむねっとひろしま」とは町内会・自治会・連合町内会などを対象として、地域のホームページの開設・運営を支援するものです。開設された地域のホームページには、広島市からのお知らせ等も表示されますので、自分たちの地域のホームページを見れば自分たちのまことが全てわかる「地域のポータルサイト」を無料で作ることができます。
【ホームページアドレス】<http://www.com-net.city.hiroshima.jp/>

《ホームページのサンプル》

《わがまちのホームページ》

まちの歴史、イベントや取組み等、自分たちの住む地域の魅力や情報を一般の方向けに、発信できます。

《行政情報》

最新の行政情報や緊急情報などを開設した地域のホームページ内で確認できます。

《まちのカレンダー》

地域の行事カレンダーを簡単に作成できます。

《アンケート》

会員の中で簡単にアンケートができます。

《まちのアルバム》

会員なら誰でも見ることができる写真アルバムを作成できます。

《まちの会議室》

ホームページの中で意見交換・情報共有ができます。

※これらの機能を利用・閲覧するには事前に会員登録が必要になります。会員以外の方の利用・閲覧はできません。

人材バンク

【お悩み8 13】



◆ 人材バンクとは

誰かに「アドバイスがほしい」「教えてほしい」と思っている人と自分の仕事や趣味を通じて身につけた技術やノウハウを「社会の役に立てたい」と思う人をマッチングさせる制度です。

まちづくりボランティア人材バンク

広島市まちづくり市民交流プラザ

まちづくりボランティア人材バンクには、「仕事や学習、趣味などで得たノウハウを生かして、依頼団体に助言や指導、技の披露などを行う人」が登録しています。平成9年(1997年)に発足し、現在の登録者は約200人。「学習・子育て」「社会・歴史」「自然・環境」「趣味全般」など、さまざまな分野の達人たちが、地域活動など、市民の皆さんから「アドバイスが欲しい」「知恵を貸して欲しい」などの要望があれば出かけて行き、活動をお手伝いします。

まちづくりボランティア人材バンクは、そんな達人たちの登録、紹介、コーディネートをしていますので、お気軽にご相談ください。

利用方法、登録内容など詳しくは、ひろしま情報a-ネット<http://www.a-net.shimin.city.hiroshima.jp/>の「講師・指導者・人材バンク」をご覧ください。

例えばこんな人が!

- バルーンアートができます。
- コミュニケーション講座ができます。
- リサイクル工作ができます。

〒730-0036 広島市中区袋町6番36号
 広島市まちづくり市民交流プラザ
 TEL(082)545-3911 FAX(082)545-3838
 E-mail:m-plaza@hitomachi.city.hiroshima.jp

マツダスペシャリストバンク

マツダ株式会社
 CSR推進部 社会貢献推進グループ

講演会や講習会の講師、スポーツ指導やアドバイスといった、皆さまのご要望をお受けします。

マツダ(株)及びマツダグループ企業の社員の中で、専門的な知識・技術・技能や長年培った特技・趣味などを有する人達を登録し、地域からいろいろな派遣要請(講演会や講習会の講師、スポーツ教室の指導、地域イベントでの公演など)に積極的に応えていきます。

利用方法、登録内容など詳しくは、<http://www.mazda.co.jp/corporate/csr/social/spbank.html>をご覧ください。

例えばこんな人が!

- 手品の実演
- タグラグビーの指導
- これからのクルマと新技術についての講演

〒730-8670 広島県安芸郡府中町新地3番1号
 マツダ株式会社 CSR推進部 社会貢献推進グループ
 TEL(082)286-5703 FAX(082)287-5237
 E-mail:specialistbank@mail.mazda.co.jp

エネルギー・ボランティア人材バンク

中国電力株式会社
 広報・環境部門 CSR総括担当

エネルギー・ボランティア人材バンクは、社員が持つ知識や技術・特技等を、教育、スポーツなどそれぞれの分野に登録し、当社ホームページやパンフレットでお知らせしています。

登録内容、利用方法など詳しくは<http://www.energia.co.jp/magokoro/index.html>をご覧ください。

例えばこんな人が!

- ラグビーの指導・講習ができます。
- レクリエーション支援ができます。
- イベント等地域活動のお手伝いができます。
- 手づくり熱気球の作成・打ち上げができます。

〒730-8701 広島市中区小町4番33号
 中国電力株式会社 広報・環境部門 CSR総括担当
 TEL(082)544-8867 FAX(082)523-6185

市民活動・ボランティア保険について

【お悩み9】

- ◆ **市民活動やNPO活動・ボランティア活動を対象にした保険には、様々な種類があります。活動内容や参加者の状況等に応じて保険制度を活用または加入しましょう。**

■広島市市民活動保険

広島市が保険料を負担し、活動を行う市民の皆様が補償の対象となる**事前登録が不要の保険**です。

問い合わせ先
市民局市民活動推進課
TEL082-504-2113

●対象となる方

市民(市外居住者を含みます。)により自主的に組織された広島市内に活動の本拠地を置く市民活動団体等に属し、計画的に市民活動を行う方(ボランティア活動などを行う団体の指導者・スタッフ、または、清掃活動等の奉仕性のある活動を直接的に実践する参加者)が対象となります。

(注)運動会やイベントの参加者は対象になりません。

●対象となる活動(市民活動)

- 1 広く公共の利益を目的とした自主的・自発的な活動であること
- 2 活動が計画的に行われていること
- 3 無報酬で行っていること(実費弁償*は無報酬とみなします)
*実費弁償:交通費・昼食代・材料費など必要な経費について明確に内訳が確認できる場合は金額を問いません。内訳が明確でない場合は、1日3,000円以内であれば対象となります。
- 4 日本国内における活動であること
- 5 政治、宗教や営利を目的とした活動でないこと
- 6 自助的な活動や懇親を目的とした活動でないこと
- 7 職場などで行事として行う活動でないこと
- 8 危険度の高い活動でないこと

●補償額

傷害保険	死亡	700万円
	後遺障害	21万円~700万円
	入院・通院	1日につき入院3,000円 通院2,000円
賠償責任保険	対人賠償	1名につき1億円まで(限度額) 1事故につき2億円まで(限度額)
	対物賠償	1事故につき1億円まで(限度額)
	保管物賠償	1事故につき300万円まで(限度額)

●保険料

保険料は広島市が負担しているため不要

●事故発生時の手続き

- ①万一事故が起きてしまった場合、あとで事故を証明できるように事故発生の時間、場所、状況、事故を証明できる人の氏名・連絡先、対物賠償事故の場合は現場の写真など事故の内容を記録し、団体規約・事業計画書・参加者名簿などを準備してください。
※損害賠償において当事者間で示談を行う場合は、必ず事前に相談してください。
- ②事故後、団体の責任者は、速やかに最寄りの区役所区政振興課もしくは市民局市民活動推進課に、電話で事故内容をご連絡ください。
- ③電話連絡の後、所定の事故報告書などを提出していただき、事故内容が保険制度の要件を満たしているかどうか審査します。(事故発生日を含め30日以内に書類を提出してください。書類の提出が30日を過ぎると対象となりませんのでご注意ください。)

市民活動・ボランティア保険について

■ボランティア活動保険

ボランティア活動中(福祉活動など)、ボランティア自身がケガをした場合(傷害事故)、他人にケガをさせたり、他人の物を壊した場合(賠償事故)などの事故を幅広く補償します。

問い合わせ先

(社福)広島市社会福祉協議会
(広島市ボランティア情報センター)
TEL082-544-3399

●対象となる方

ボランティア個人又はボランティアグループ(社会福祉協議会への登録等が必要)
(注)運動会やイベントの参加者は対象になりません。

●補償額

傷 害 保 険	死 亡	1,418万円～4,098万円
	後遺障害	1,418万円～4,098万円(限度額)
	入院・通院	1日につき 入院 7,000円～14,000円 通院 4,500円～9,000円
賠償責任保険	対人賠償	5億円まで(限度額)
	対物賠償	5億円まで(限度額)

●保険料

基本プラン…260円～590円/年
天災プラン(地震・噴火・津波)…460円～1,130円/年

■ボランティア行事用保険

社会福祉協議会およびその構成員である団体等が主催者となる行事活動中に参加者がケガをした場合に適用される「傷害部分」と、事故により主催者が民法上の責任を負った場合に適用される「賠償責任部分」があります。

問い合わせ先

(社福)広島市社会福祉協議会
(広島市ボランティア情報センター)
TEL082-544-3399

●対象となる方

ボランティア活動(福祉活動など)の主催者である社会福祉協議会及びその構成員である団体等

●補償額

傷 害 保 険	死 亡	500万円
	後遺障害	500万円(限度額)
	入院・通院	1日につき 入院3,500円 通院2,200円
賠償責任保険	対人賠償	2億円まで(限度額)
	対物賠償	1,000万円まで(限度額)

●保険料

宿泊を伴わない場合=28円～126円/人(行事内容により保険料が異なります。)
1泊2日の場合=192円/人、2泊3日の場合=236円/人など

■スポーツ安全保険

問い合わせ先

(財)スポーツ安全協会
広島県支部
TEL082-223-7865

●対象となる方

スポーツ・文化・ボランティア活動・地域活動・指導活動を行う5名以上のグループ

●補償額

傷 害 保 険	死 亡	100万円～2,100万円
	後遺障害	150万円～3,150万円(限度額)
	入院・通院	1日につき 入院1,000円～5,000円 通院 500円～2,000円
賠償責任保険	対人賠償	500万円～5.05億円まで(限度額)
	対物賠償	500万円～1,000万円まで(限度額)

●保険料

500円～9,000円/年

主な助成団体と助成情報収集の場

【お悩み10】

◆主な助成団体

※各機関や団体がホームページで公表している資料などを参考に作成しています(平成20年10月末現在)が、すでに記載内容に変更や訂正がある箇所があるかもしれません。最新の情報につきましては、各機関や団体などに確認していただきますようお願いいたします。

分野	助成機関【名称・所在地・電話番号】	助成事業名	備考	
総合・複数分野	(財)広島市ひと・まちネットワーク	広島市 082-541-5335	公益信託広島市まちづくり活動支援基金 【まちづくり活動助成】 【まちづくり施設整備助成】 http://www.hitomachi.city.hiroshima.jp/	
	イオン(株)	-	【イオン 幸せの黄色いレシートキャンペーン】 http://www.aeon.info/environment/aeonday/yellow_receipt.html	問合せ先: イオン各店舗 (サービスカウンター)
	(財)大阪コミュニティ財団	大阪市 06-6944-6260	【大阪コミュニティ財団助成事業】 http://www.osaka-community.or.jp/	
	全労済	東京都渋谷区	【地域貢献助成事業】(環境分野)(こども分野) http://www.zenrosai.coop/eco	
	(財)トヨタ財団	東京都新宿区 03-3344-1701	【地域社会プログラム】 http://www.toyotafound.or.jp/	
	(財)日本船舶振興会(日本財団)	東京都港区 03-6299-5161	【社会福祉・教育・文化など社会的な課題に取り組む事業】 http://www.nippon-foundation.or.jp/	
	(財)日本生命財団	大阪市 06-6204-4011	【児童・少年の健全育成助成】【高齢社会助成】 http://www.nihonseimei-zaidan.or.jp/	要推薦
子供・教育	パナソニック(株)	東京都港区 03-6403-3140	【Panasonic NPOサポート ファンド】(こども分野)(環境分野) http://panasonic.co.jp/cca/pnsf	
	(財)キリン福祉財団	東京都中央区 03-5540-3522	【公募助成】 毎年9~11月頃に募集受付	
	(独)国立青少年教育振興機構	東京都渋谷区 0120-579-081	【子どもゆめ基金】 http://yumekikin.niye.go.jp/	
	日本たばこ産業(株)	東京都港区 03-5572-4290	【青少年育成に関するNPO助成事業】 http://www.jti.co.jp/JTI/contribution/npo/	要法人格
	(財)ひろしまこども夢財団	広島市 082-513-5013 広島県教委	広島県こども夢基金【活動助成事業】 http://www.pref.hiroshima.lg.jp/kyouiku/gakushu/yumekikinn/top.htm	
	(財)マツダ財団	広島県安芸郡 082-285-4611	【市民活動支援「青少年健全育成関係」】 http://mzaidan.mazda.co.jp/	要推薦
(特非)モバイル・コミュニケーション・ファンド	東京都港区 03-5545-7711	【ドコモ市民活動団体への助成事業】 http://www.mcfund.or.jp/	要法人格	
文化・スポーツ	(財)広島市文化財団	広島市 082-244-0750	【文化活動助成事業】 http://www.cf.city.hiroshima.jp/bunka/	
	(財)エネルギー文化・スポーツ財団	広島市 082-542-3639	【美術・音楽及び民俗芸能等の展示公演活動】【伝統文化の保存・伝承活動】【アマチュアスポーツの振興活動】 http://www.gr.energia.co.jp/bunspo/	要推薦
	(財)ひろしま文化振興財団	広島市 082-249-8385	【文化活動助成事業】(文化のまちづくり支援事業) http://www.h-bunka.or.jp/zaidan/hirobuntop.htm	
環境	RCC 中国放送	広島市 082-222-1112	【RCCエコロジーファンド】 http://www.rcc.co.jp/eco/fund_t.htm	
	(特非)瀬戸内オリーブ基金	香川県小豆郡 0879-68-2911	【瀬戸内オリーブ基金活動助成金】 http://www.olive-foundation.org/	
	セブンイレブンみどりの基金	東京都千代田区 03-6238-3872	【公募助成】2009年度(活動助成)(NPO法人格取得助成)(モデル事業助成)(自立事業助成)(緑化植花活動助成)(地域清掃活動助成) http://www.7midori.org/	要法人格 (モデル事業助成・自立事業助成)
	(財)都市緑化基金	東京都千代田区 03-5275-2291	【花王・みんなの森づくり活動助成】(プロジェクト助成)(スタートアップ助成) http://www.urban-green.or.jp/	
	(社)広島県みどり推進機構	広島市 082-513-4840	【みどりづくり活動支援事業】 http://www.green-hiroshima.or.jp/	
福祉	(社福)NHK厚生文化事業団	東京都渋谷区 03-3476-5955	【わかば基金】(支援金の部)(リサイクルパソコンの部) http://www.npwo.or.jp/	NPO法人以外の法人は不可
	(財)さわやか福祉財団	東京都港区 03-5470-7751	【「連合・愛のキャンパ」助成】 http://www.sawayakazaidan.or.jp/	
	(財)損保ジャパン記念財団	東京都新宿区 03-3349-9570	【NPO法人設立資金助成】【自動車購入費助成】 http://www.sompo-japan.co.jp/foundation/	自動車購入費助成は要法人格
	(財)大同生命厚生事業団	大阪市 06-6447-7101	【サラリーマン(ウーマン)ボランティア活動助成】 【シニアボランティア活動助成】 http://www.daido-life-welfare.or.jp/	
	(財)ヤマト福祉財団	東京都中央区 03-3248-0691	【障がい者福祉助成】 http://www.yamato-fukushi.jp/	
	郵便事業株式会社	東京都千代田区 03-3504-4401	【年賀寄附金助成・カーボンオフセット年賀寄附金助成】 http://www.post.japanpost.jp/kifu/index.html	要法人格 要大臣又は各都道府県知事の意見書

◆助成情報サイト(上記の助成以外にも多くの助成制度があります。最新情報は下記のサイト等で情報収集しましょう。)

助成情報サイト	問い合わせ先
ひろしま情報a-ネット(トップページ→助成制度・表彰制度) http://www.a-net.shimin.city.hiroshima.jp/	(情報掲載) 広島市まちづくり市民交流プラザ 〒730-0036 広島市中区袋町6-36 TEL 082-545-3911
民間助成金ガイド http://www.jfc.or.jp/	(財)助成財団センター 〒160-0022 東京都新宿区新宿1-26-9ピリウ新宿4F TEL 03-3350-1857
ひろしまNPOセンター情報ステーション http://www.npoc.or.jp/	(特非)ひろしまNPOセンター 〒730-0013 広島市中区八丁堀3-1 熾会館2F TEL 082-511-3180
NPO施策ポータルサイト http://www.npo-homepage.go.jp/	内閣府国民生活局市民活動促進課 〒100-8914 東京都千代田区永田町1-6-1内閣府本府庁舎 TEL 03-5253-2111(大代表)
広島市社会福祉協議会ホームページ http://shakyo-hiroshima.jp/	(社福)広島市社会福祉協議会 〒730-0052 広島市中区千田町1-9-43 TEL 082-243-0051

公益信託広島市まちづくり活動支援基金
ひと・まち広島未来づくりファンドHm²(ふむふむ) 【お悩み10】

◆ 豊かでいきいきとした市民社会づくりを目指すため、市民の皆さんの自主的なまちづくり活動に対し助成します。

●助成対象となる団体及び活動

次の要件をいずれも満たす団体です。

団体構成員の過半数が広島市民であること。又は、団体の所在地が広島市にあること。

特定非営利活動促進法別表に掲げる活動で広島市のまちづくりにつながる活動を行い、かつ、同法第二条に該当する団体(法人格の有無を問わず、任意のグループでも可)であること。

●助成メニュー

区 分		対 象	助 成 額
まちづくり 活動助成分野	団体育成助成部門	設立後3年未満の団体。なお、過去にこの部門の助成を受けたことのある団体の応募は不可。	5万円以内/件
	まちづくり活動 発展助成部門	まちづくり活動をより積極的に展開しようとしている団体。	50万円以内/件
	重点分野助成部門	広島市の社会的な状況に鑑み、重点的に取り組むべき分野の活動。	100万円以内/件
	緊急分野助成部門	災害救援など、広島市にかかわる突発的な事態が生じ、緊急的に取り組む必要がある分野の活動。	特に定めない
まちづくり 施設整備助成分野		広島市の良好なまちづくりに資する施設等の新設、改修、保全等。 なお、まちづくり活動につながるハード面(建物・モニュメント等)への助成に限定。	500万円以内/件 (第6回平成20年度助成)

《審査のポイント》

■まちづくり活動助成分野

◇団体育成助成部門

- ◎まちづくりとしての着眼点 ◎将来性
- ◎計画の実現性 ◎予算内容の妥当性

◇まちづくり活動発展助成部門

- ◎まちづくりとしての着眼点 ◎先駆性や獨創性
- ◎市民参加の工夫や他機関との連携など新たな活動の広がり
- ◎自立的発展性 ◎計画の実現性 ◎予算内容の妥当性

◇重点分野助成部門

- ◎まちづくりとしての着眼点 ◎市民活動としての先導性
- ◎社会への波及効果 ◎自立的発展性 ◎計画の実現性
- ◎予算内容の妥当性

■まちづくり施設整備助成分野

- ◎施設整備(ハード)の獨創性、活用性、公共性・公開性
- ◎まちづくりへの貢献度、他の地区への波及効果
- ◎団体の運営状況と発展性 ◎計画の実現性 ◎予算内容の妥当性

《助成スケジュール》(予定)

- 2月～3月 申請受付
- 5月 公開審査会
- 11月 中間活動発表会
- 翌年5月 最終報告



●問合せ(財)広島市ひと・まちネットワーク事務局事業係(電話082-541-5335)

まちづくり市民交流プラザ

(平成20年9月現在の情報です。最新情報は、プラザや広島市のHP等でご確認ください。) 【お悩み2 13】

◆ まちづくり市民交流プラザとは？

生涯学習やボランティア・市民活動を総合的に支援し、まちづくりと市民交流を進める拠点施設として、広島市が建設。平成14年5月11日にオープンしました。広島市内では初となる小学校(袋町)との複合施設です。

「学ぶこと」と「行動すること」はとても深い関わりがあります。プラザでは、学ぶ、行動する個人・グループを支え、応援するさまざまな事業を総合的に展開していきます。

◆ 施設案内

マルチメディアスタジオ

200インチのスクリーンと112の階段席を備えています。映像を使った発表や学習会に最適。

マルチメディア実習室

パソコンを40台備えた部屋です。

研修室

各室60人の研修室です。人数に応じて、2室、3室続きで利用できます。

ギャラリー

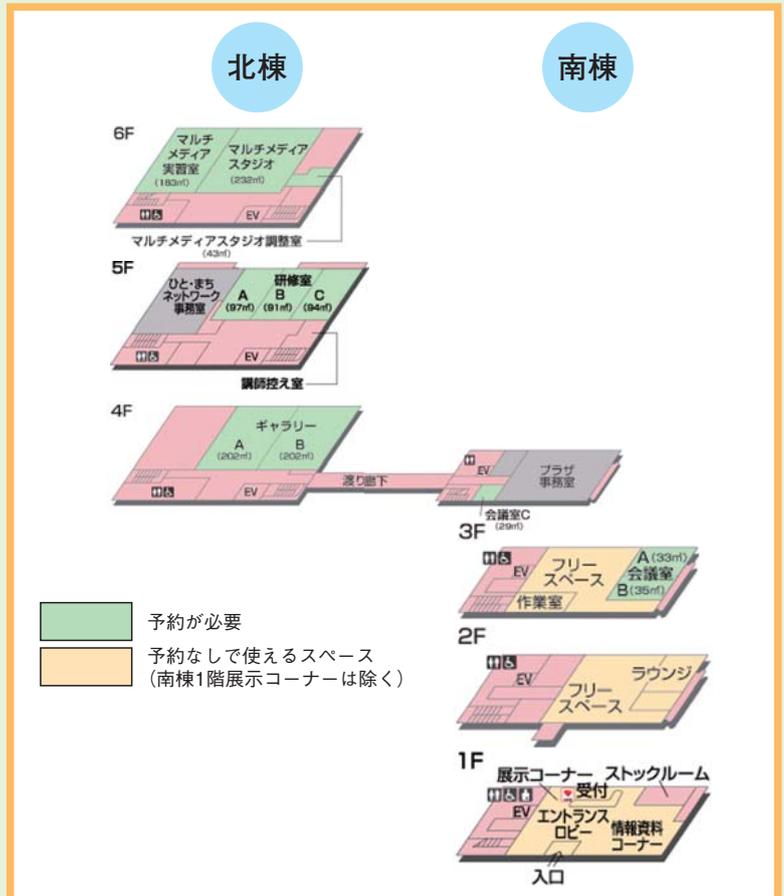
生涯学習や市民活動の成果発表や展示に利用できます。また、多目的に利用できるよう丸テーブルやマイク設備、簡易ステージ、スポットライトなどの設備も整備。

プラザ事務所

有料施設の予約や受付を行っています。また生涯学習や市民活動の相談などがある方もお越しください。

会議室

15～18人定員の少人数の会議や勉強会に適した部屋です。



作業室(南棟3階)

市民活動やボランティア活動の会報や資料等が印刷できます(有料)。作業室には、印刷機、ポスタープリンター、裁断機、製本機などの機器を備えています(一部実費が必要)。



情報資料・展示コーナー

オープンな空間に、情報検索用パソコン、パンフレット、チラシなど生涯学習やボランティア、市民活動に役立つ資料が揃っています。また、展示コーナーでは市民活動または生涯学習に関する展示ができます(要申込 無料)。



フリースペース(南棟2階、3階)

予約なしで、生涯学習、ボランティア・市民活動グループのミーティングなどに利用できます(3階受付で利用手続きが必要)。コロ付の机なので人数に合わせて自由自在に組み合わせることができます。3階フリースペースでは、会議録などをその場で編集できるようにパソコン、ホワイトボード面に書いた内容がコピーできる電子コピーボードをご利用いただけます。まちづくり活動に関する書籍も閲覧できます。



ロッカー・メールボックス(フリースペース内)

書類等を保管できるロッカー(有料)や、団体あての手紙などの受信ができるメールボックス(無料)を貸し出しています。利用申込みは、所定の申込書と活動内容の分かる資料を提出してください。詳しくはお問い合わせください。



まちづくり市民交流プラザ

主な講座情報

募集情報については、プラザ情報誌「らしっく」、プラザホームページ、情報a-ネット、市民と市政、チラシ等で広報します。

まちづくり市民交流フェスタ

生涯学習やボランティア、市民活動などに取り組んでいる団体・グループのみなさんの活動紹介や成果発表の場として開催しています。

ファシリテーター養成講座

地域活動やまちづくり活動での話し合いの場で、参加者の一人ひとりの思いや意見を引き出し、合意形成していくためのファシリテーター(円滑な話し合いの場の環境づくり、アイデアや意見を促す手法など)の技術を体験しながら身につける講座です。

コーディネーター養成講座

ボランティア活動の発信・受け入れ・調整のキーパーソンであるボランティアコーディネーターとして、基礎知識や技術を習得し、現場で役立つ実践力を身につける講座です。

プランナー養成講座

市民活動や生涯学習活動を行う上で、必要とされる企画力を身につける講座です。

市民活動団体マネジメント講座

市民活動を進める上で必要な「資金・人材確保」「組織運営」「広報活動」等をテーマにした講座です。

市民活動なんでも相談会

NPO法人の設立、組織運営、資金の集め方など、市民活動をすすめていくうえでのさまざまな相談に応じます。これから市民活動を始めたい方、活動を始めたがどう進めていけばいいかを知りたい方もお気軽にご相談ください。

相談日時 毎月第3土曜日 14:00～16:00

生涯学習なんでも相談会「まなびcafe」

社会人の大学活用など、生涯学習に関するさまざまな相談にお答えします。何か新しいことを学んでみたい、資格や免許を取得したいなど…そんな気持ちを応援します。

平成20年度は年6回

マルチメディア学習事業

パソコン入門や画像編集、ワード、エクセルの基礎や応用など様々な内容のパソコン講座を年間約40講座実施しています。

●開館時間

午前9時半～午後10時

●休館日

毎月第3月曜日、12月29日～1月3日

●交通アクセス

市内電車:「袋町」電停から徒歩約3分

バス:「袋町」バス停(広島電鉄・広島バス)から徒歩約3分

アストラムライン:「本通駅」から徒歩約6分

※駐車場はありませんので、公共交通機関をご利用ください。ただし、車いす利用者等にご利用いただく駐車場は3台分用意しています。

※自動車・バイクの方は、地下の公共駐輪場(有料)をご利用ください。

●ホームページ

<http://www.hitomachi.city.hiroshima.jp/m-plaza/>

●E-mail

m-plaza@hitomachi.city.hiroshima.jp

〒730-0036

広島市中区袋町6番36号

TEL (082) 545-3911 (代表)

TEL (082) 545-3913 (予約受付専用)

FAX (082) 545-3838



市内施設の情報

【注】利用条件、料金、ホールや会議室の広さ等は、各施設にお問合せください。

市外局番の記載がないTEL・FAXは、082が市外局番です。	ホール	会議室	ギャラリー	印刷機	その他の施設 (多数ある場合は、 主なもの)		ホール	会議室	ギャラリー	印刷機	その他の施設 (多数ある場合は、 主なもの)
アステールプラザ(文化創造センター) TEL/244-8000	○	○	○	○	スタジオ、練習室、音楽室、和室	まちづくり市民交流プラザ TEL/545-3911 FAX/545-3838	○	○	○	○	マルチメディアスタジオ、フリースペース、作業室
国際会議場 TEL/242-7777	○	○	○	○	国際交流ラウンジ	平和記念資料館 TEL/241-4004	○	○	○	○	情報資料室
市社会福祉センター TEL/243-0051 FAX/243-0032	○	○	○	○	料理室、和室	中区地域福祉センター TEL/249-3114 FAX/242-1956	○	○	○	○	
吉島福祉センター TEL/545-6170	○	○	○	○	和室、調理室、幼児室	中央老人福祉センター TEL/222-6000 FAX/222-6043	○	○	○	○	和室
青少年センター TEL/228-0447	○	○	○	○	レクリエーション室、生活実習室、音楽室、美術室等	ユーストピア中央(中央勤労青少年ホーム) TEL/223-2513	○	○	○	○	音楽室、体育室、和室等
WEプラザ(女性教育センター) TEL/248-3312	○	○	○	○	視聴覚室、生活科学室、和室	広島県民文化センター TEL/245-2311	○	○	○	○	和室、練習室、宿泊室
エソール広島(広島県女性総合センター) TEL/242-5252	○	○	○	○	IT教室、工作室、音楽・体育室、調理実習室	ひろしま国際センター TEL/541-3777	○	○	○	○	
中央公民館 TEL/221-5943 FAX/221-5118	○	○	○	○	工芸室、調理実習室、視聴覚室	竹屋公民館 TEL・FAX/241-8003	○	○	○	○	調理実習室、和室
吉島公民館 TEL/246-4121 FAX/246-4127	○	○	○	○	調理実習室、和室	舟入公民館 TEL・FAX/295-5003	○	○	○	○	調理実習室、和室
東区民文化センター TEL/264-5551 FAX/264-5774	○	○	○	○	スタジオ、オープンプラザ、音楽室、美術工芸室、和室等	東区地域福祉センター TEL/263-8443 FAX/264-9254	○	○	○	○	
心身障害者福祉センター TEL/261-2333 FAX/261-7789	○	○	○	○	和室、講習室	温品福祉センター TEL・FAX/289-2635	○	○	○	○	調理室、茶室、演奏室
戸坂福祉センター TEL・FAX/220-1914	○	○	○	○	トレーニングルーム、ミュージックルーム、和室等	中山福祉センター TEL/280-2311 FAX/280-2870	○	○	○	○	調理室、和室
二葉公民館 TEL/262-4430 FAX/262-4451	○	○	○	○	調理室、和室	福田公民館 TEL・FAX/899-2901	○	○	○	○	調理室、和室
馬木公民館 TEL・FAX/899-3062	○	○	○	○	調理室、和室	温品公民館 TEL・FAX/289-0256	○	○	○	○	調理室、和室
戸坂公民館 TEL・FAX/229-3110	○	○	○	○	調理室、和室	牛田公民館 TEL・FAX/227-0706	○	○	○	○	調理室、和室
早稲田公民館 TEL・FAX/502-1239	○	○	○	○	調理室、和室						
南区民文化センター TEL/251-4120 FAX/256-8811	○	○	○	○	スタジオ、和室、美術工芸室、工作実習室、音楽室等	南区地域福祉センター TEL/251-0525 FAX/256-0990	○	○	○	○	
留学生会館 TEL/568-5931 FAX/568-5600	○	○	○	○	調理室	東雲老人福祉センター TEL・FAX/286-7655	○	○	○	○	和室
広島県社会福祉会館 TEL/254-3411 FAX/252-2133	○	○	○	○		仁保公民館 TEL/281-1831 FAX/281-1886	○	○	○	○	調理室、和室
青崎公民館 TEL・FAX/281-3802	○	○	○	○	調理室、和室	段原公民館 TEL・FAX/281-3792	○	○	○	○	
大河公民館 TEL・FAX/254-6731	○	○	○	○	調理室、和室	楠那公民館 TEL・FAX/255-2187	○	○	○	○	実習室、和室
宇品公民館 TEL・FAX/253-2529	○	○	○	○	調理室、和室	似島公民館 TEL・FAX/259-1100	○	○	○	○	調理室、和室
西区民文化センター TEL/234-1960 FAX/293-1860	○	○	○	○	スタジオ、音楽室、美術工芸室、和室等	西区地域福祉センター TEL/294-0104 FAX/291-7096	○	○	○	○	
南観音老人福祉センター TEL・FAX/295-0598	○	○	○	○		中広会館 TEL/292-5181 FAX/292-5182	○	○	○	○	料理室、和室
草津公民館 TEL/271-2576 FAX/271-2642	○	○	○	○	調理室、和室	三篠公民館 TEL・FAX/237-3077	○	○	○	○	実習室、和室
観音公民館 TEL/233-2603 FAX/233-2603	○	○	○	○	調理室、和室	南観音公民館 TEL・FAX/293-1220	○	○	○	○	実習室、和室
己斐上公民館 TEL・FAX/274-7814	○	○	○	○	調理室、和室	己斐公民館 TEL・FAX/273-1765	○	○	○	○	実習室、和室
古田公民館 TEL・FAX/272-9001	○	○	○	○	実習室、和室	鈴が峰公民館 TEL・FAX/278-7599	○	○	○	○	実習室、和室
井口公民館 TEL・FAX/277-9258	○	○	○	○	調理室、和室						

注：【ホール】ホール、体育ホール、大集会室など 【会議室】集会室、研修室も含む 【ギャラリー】ロビー・ギャラリーも含む

市内施設の情報

【注】利用条件、料金、ホールや会議室の広さ等は、各施設にお問合せください。

市外局番の記載がないTEL・FAXは、082が市外局番です。	ホール	会議室	リヤラ	印刷機	その他の施設 (多数ある場合は、 主なもの)	市外局番の記載がないTEL・FAXは、082が市外局番です。	ホール	会議室	リヤラ	印刷機	その他の施設 (多数ある場合は、 主なもの)		
安佐南区	安佐南区民文化センター	○	○	○	○	和室・音楽室・美術工芸室等	安佐南区地域福祉センター		○				
	TEL/879-3060 FAX/879-3061	安佐南区中筋一丁目22-17					TEL/831-5011 FAX/831-5013	安佐南区中須一丁目38-13					
	祇園福祉センター		○				ユーストピア安佐(安佐勤労青少年ホーム)	○	○	○	○	音楽室、体育室、和室等	
	TEL・FAX/874-9646	安佐南区西原一丁目13-26					TEL/879-1512 FAX/879-1542	安佐南区大町東三丁目25-12					
	古市公民館	○	○	○	○	○	実習室、和室	佐東公民館	○	○	○	○	実習室、和室、多目的ホール
	TEL/877-2677 FAX/877-2757	安佐南区古市三丁目24-8					TEL・FAX/877-5200	安佐南区緑井六丁目29-25					
	東野公民館	○	○	○	○	○	実習室、和室	安東公民館	○	○	○	○	実習室、和室
	TEL・FAX/876-1146	安佐南区東野二丁目22-7					TEL・FAX/878-7683	安佐南区安東二丁目16-42					
	安公民館	○	○	○	○	○	調理室、和室	祇園公民館	○	○	○	○	実習室、和室
	TEL/872-4495 FAX/872-4496	安佐南区上安二丁目2-46					TEL/874-5181 FAX/874-5182	安佐南区西原一丁目13-26					
安佐北区	祇園西公民館	○	○	○	○	○	調理室、和室	戸山公民館	○	○	○	○	調理室、和室
	TEL・FAX/875-1760	安佐南区長束六丁目10-28					TEL・FAX/839-3320	安佐南区沼田町大字阿戸269-3					
	沼田公民館	○	○	○	○	○	調理室、和室						
	TEL・FAX/848-0242	安佐南区沼田町大字伴5697											
	安佐北区民文化センター	○	○	○	○	○	和室・音楽室・美術工芸室等	安佐北区地域福祉センター		○			
	TEL/814-0370 FAX/814-0770	安佐北区可部七丁目28-25					TEL/814-0811 FAX/814-1895	安佐北区可部三丁目19-22					
	可部福祉センター	○	○				娯楽室	可部公民館	○	○	○	○	調理室、和室
	TEL・FAX/815-6480	安佐北区可部南2-23-28					TEL/814-4031 FAX/814-4721	安佐北区可部三丁目19-22					
	白木公民館	○	○	○	○	○	調理室、和室	高陽公民館	○	○	○	○	調理室、和室
	TEL・FAX/828-0753	安佐北区白木町大字秋山2391-4					TEL・FAX/842-1125	安佐北区深川五丁目13-12					
真亀公民館	○	○	○	○	○	実習室(調理室)、和室	倉掛公民館	○	○	○	○	調理室、和室	
TEL・FAX/842-8223	安佐北区真亀一丁目3-27					TEL・FAX/845-1710	安佐北区倉掛一丁目12-1						
口田公民館	○	○	○	○	○	調理室、和室	三入公民館	○	○	○	○	調理室、和室	
TEL・FAX/842-7744	安佐北区口田四丁目9-19					TEL・FAX/818-1418	安佐北区三入五丁目15-9						
亀山公民館	○	○	○	○	○	調理室、工作室、IT室、和室	安佐公民館	○	○	○	○	調理室、和室	
TEL・FAX/815-1830	安佐北区亀山南三丁目16-16					TEL・FAX/835-0111	安佐北区安佐町大字飯室3455-1						
日浦公民館	○	○	○	○	○	調理室、和室							
TEL・FAX/838-3220	安佐北区あさひが丘三丁目23-13												
安芸区	安芸区民文化センター	○	○	○	○	○	和室・音楽室・美術工芸室等	安芸区地域福祉センター		○			
	TEL/824-1330 FAX/824-1337	安芸区船越南三丁目2番16号					TEL/821-2501 FAX/821-2504	安芸区船越南3-2-16					
	瀬野福祉センター	○	○				調理室、和室	畑賀福祉センター	○	○	○	○	料理教室、和室
	TEL/894-2024 FAX/894-2056	安芸区瀬野1-4-19					TEL/827-0083 FAX/827-0091	安芸区畑賀3-30-14					
	阿戸福祉センター	○	○				料理教室、和室	矢野福祉センター	○	○	○	○	料理教室、和室
	TEL/856-0294 FAX/856-0560	安芸区阿戸町6038					TEL/889-2511 FAX/889-2517	安芸区矢野西6-12-1					
	船越公民館	○	○	○	○	○	調理実習室、和室	瀬野公民館	○	○	○	○	調理室、和室
	TEL/823-4261 FAX/823-4287	安芸区船越五丁目22-23					TEL・FAX/894-8006	安芸区瀬野一丁目29-21					
	中野公民館	○	○	○	○	○	実習室、和室	阿戸公民館	○	○	○	○	調理室、和室
	TEL・FAX/893-1234	安芸区中野三丁目20-9					TEL・FAX/820-8222	安芸区阿戸町6166					
矢野公民館	○	○	○	○	○	調理室、和室							
TEL・FAX/888-0044	安芸区矢野西五丁目24-2												
佐伯区	佐伯区民文化センター	○	○	○	○	○	和室・音楽室・美術工芸室等	石内福祉センター	○	○			和室・トレーニングルーム・ミュージックルーム
	TEL/921-7550 FAX/921-9898	佐伯区五日市中央六丁目1-10					TEL・FAX/928-3277	佐伯区石内南1-5-1					
	ユーストピア(佐伯勤労青少年ホーム)	○	○	○	○	○	音楽室、和室	五日市公民館	○	○	○	○	料理室、視聴覚室、和室等
	TEL/922-8424 FAX/924-8870	佐伯区新宮苑11-43					TEL/922-8333 FAX/922-8334	佐伯区新宮苑11-14					
	石内公民館	○	○	○	○	○	調理室、和室	河内公民館	○	○	○	○	実習室、和室
	TEL・FAX/941-0120	佐伯区五日市町大字石内3289-1					TEL・FAX/928-0219	佐伯区五日市町大字上河内537					
	皆賀公民館	○	○	○	○	○	調理実習室、和室	五月が丘公民館	○	○	○	○	実習室、和室
	TEL/922-6656 FAX/922-6653	佐伯区五日市町大字昭和台34-2					TEL/941-2121 FAX/941-2122	佐伯区五月が丘五丁目3-33					
	藤の木公民館	○	○	○	○	○	調理実習室、和室	彩が丘公民館	○	○	○	○	実習室、和室
	TEL・FAX/927-2496	佐伯区藤の木二丁目27-7					TEL・FAX/927-8338	佐伯区河内南一丁目21-6					
	美鈴が丘公民館	○	○	○	○	○	調理実習室、和室	利松公民館	○	○	○	○	実習室、和室
	TEL・FAX/927-1727	佐伯区美鈴が丘南三丁目1-9					TEL/928-8687 FAX/928-0868	佐伯区利松一丁目18-15					
	八幡東公民館	○	○	○	○	○	調理実習室、和室	八幡公民館	○	○	○	○	調理室、和室
	TEL・FAX/927-4543	佐伯区八幡東二丁目6-19					TEL・FAX/928-0207	佐伯区八幡三丁目23-22					
	観音台公民館	○	○	○	○	○	実習室、和室	坪井公民館	○	○	○	○	調理室、和室
TEL・FAX/921-4762	佐伯区観音台三丁目16-5					TEL/921-0812 FAX/921-0825	佐伯区坪井一丁目32-10						
五日市中央公民館	○	○	○	○	○	調理実習室、和室	吉見園公民館	○	○	○	○	和室、実習室	
TEL・FAX/921-8070	佐伯区五日市中央四丁目8-20					TEL・FAX/923-3880	佐伯区吉見園13-1						
楽々園公民館	○	○	○	○	○	実習室、和室	美隅公民館	○	○	○	○	調理室、和室	
TEL・FAX/921-1404	佐伯区楽々園五丁目8-32					TEL・FAX/923-0622	佐伯区美の里二丁目1-25						
湯来西公民館	○	○	○	○	○	実習室、和室	湯来南公民館	○	○	○	○	実習室、和室	
TEL・FAX/0829-85-0087	佐伯区湯来町大字多田2712					TEL・FAX/0829-86-0607	佐伯区湯来町大字伏谷13-1						

注：【ホール】ホール、体育ホール、大集会室など 【会議室】集会室、研修室も含む 【ギャラリー】ロビーギャラリーも含む

市民活動を支援する広島市の制度や事業

【お悩み2 10】

	事業	内容	連絡先	
施設	まちづくり市民交流プラザ	無料のフリースペース、作業室有料の会議室、ギャラリー等	まちづくり市民交流プラザ 082-545-3911	
	区民文化センター	有料の会議室、和室、ギャラリー、ホール等	各区区民文化センター 中区082-244-8000 安佐南区082-879-3060 東区082-264-5551 安佐北区082-814-0370 南区082-251-4120 安芸区 082-824-1330 西区082-234-1960 佐伯区 082-921-7550	
	区地域福祉センター	会議室、ボランティア研修室等(館によって多少異なる。減免有り。)	各区地域福祉センター 中区082-249-3114 安佐南区082-831-5011 東区082-263-8443 安佐北区082-814-0811 南区082-251-0525 安芸区 082-821-2501 西区082-294-0104 ※佐伯区にはありません	
	公民館	会議室、研修室、ホール等(館によって多少異なる。減免有り。印刷サービス等)	各公民館 知っ得情報21(91ページ)参照	
	公共施設予約管理システム	まちづくり市民交流プラザ、公民館、女性教育センター、県民文化センター等	市民活動推進課 082-504-2113	
相談	市民活動・NPO相談	NPO法人の設立、資金調達、組織運営等に関する相談会	まちづくり市民交流プラザ 082-545-3911	
人材育成	ファシリテーター養成講座 プランナー養成講座 コーディネーター養成講座 市民活動マネジメント講座	まちづくりを実践するためのノウハウの取得	まちづくり市民交流プラザ 082-545-3911	
	まちづくりボランティア人材バンク	知識、特技等を有する市民の登録、市民団体等への紹介・斡旋		
活動支援	市民活動保険	市民活動団体で市民活動を行う市民を対象にした傷害・損害賠償保険		
	NPO活動支援融資制度	市内NPO法人への低利による運転資金・設備資金の貸し付け	市民局市民活動推進課 082-504-2113	
	共同事務所(幟会館2階)	市民活動団体向けの有料共同事務所		
	まちづくりアドバイザーの派遣	街並みのルールづくり等に取り組んでいる地域へアドバイザーなどを派遣	082-504-2677	
	こむねっとひろしま	町内会・自治会・連合町内会などの地域のホームページ開設・運営を支援		
	コミュニティ助成事業	コミュニティ活動を促進するため、市民活動推進課が窓口となつて、(財)自治総合センターが実施する助成事業	082-504-2131	
	ひと・まち広島未来づくりファンド(公益信託広島市まちづくり活動支援基金)	市民活動団体が行うまちづくり事業や、施設整備への助成	(財)広島市ひと・まちネットワーク事務局 082-541-5335	
	公募による補助制度	市民活動団体等が行う事業に補助金を交付	財政局財政課 082-504-2075	
	商店街	商店街活性化プラン支援事業	市民活動団体等が行う商店街活性化事業に対する補助金等	経済局地域産業支援課 082-504-2236
	美化	違反広告物の除去事業	町内会等へ法令講習の実施と除去用具等を配付	都市整備局都市計画課都市デザイン係 082-504-2277
		クリーンボランティア支援事業	ボランティア清掃を行う団体・企業へ清掃用の軍手・ごみ袋を提供	環境局業務部業務第一課 082-504-2098
	公園	身近な公園再生事業	公園の再生を行う地域への専門家の派遣、活動初期段階で必要となる資材の提供等	都市整備局緑化推進部公園整備課 082-504-2393
	川	水辺の市民活動促進助成	市民活動団体による水辺での市民活動に対して助成	都市活性化局観光交流部水の都担当 082-504-2676
森づくり	里山林再生整備事業	町内会等が行う里山林整備活動の経費に対する助成		
	竹林整備推進事業	町内会等が行う竹林整備活動の経費に対する助成		
	市民協働森づくり支援事業	市民活動団体等が行う里山林等の保全活動の経費に対する助成	経済局農林水産部森林課 082-504-2249	
	森林・林業体験活動支援事業	市民活動団体等が行う森林環境教育の実体験を提供する活動の経費に対する助成		
	里山整備指導者派遣事業	市民活動団体等が行う里山整備活動を行う際に、広島市里山整備士を指導者として招へいする経費を助成		
情報提供	ひろしま情報a-ネット	市民活動団体、イベント等の情報をインターネットで紹介	市民局市民活動推進課 082-504-2113	
	まちづくり読本	都市計画分野に関するまちづくり等を紹介		
協働推進	らしっく	生涯学習や市民活動に関する情報誌(年3回発行)	まちづくり市民交流プラザ 082-545-3911	
	市政出前講座	市民の団体やグループなどへ市職員が出向き、市の施策や制度・事業などを説明	企画総務局広報課行政情報担当 082-504-2802	
協働推進	区の魅力づくり事業	各区の地域特性や資源を生かしながら市民と区が協働して取組むまちづくり活動	各区区政振興課 中区082-504-2546 安佐南区082-831-4926 東区082-568-7705 安佐北区082-819-3905 南区082-250-8935 安芸区 082-821-4905 西区082-532-0927 佐伯区 082-943-9705	
	市民活動まちづくり読本(この冊子)	市民活動の参考となるスキル等を記したハンドブックを市民と行政が協働して作成	市民局市民活動推進課 082-504-2113	

市政出前講座について

「市政出前講座」とは、市の職員が、市民の皆さんの地域に出向き、市の施策や制度・事業などを説明するものです。

皆さんの市政に対する理解を深めていただくため、積極的な市政情報の提供を目指します。

地域のまちづくり活動や生涯学習活動などにご利用ください。



申し込みができるのは？

広島市内に在住、在学、在勤のおおむね10人以上が参加予定の町内会・自治会、PTA、サークル等の団体やグループです。

開催時間と場所は？

質疑応答、意見交換の時間も含めて、原則として平日の午前9時から午後9時までの間でおおむね60分から90分程度を目安としてください。

なお、土・日・祝日を希望する場合はご相談ください。講座の実施会場は広島市内とし、お申し込みの団体・グループでご用意ください。

申し込み方法・申し込み先(問合せ先)

テーマ集から希望テーマを選んでください。(テーマ集は広島市ホームページからご覧いただけます。)

広島市役所企画総務局広報課 行政情報担当 電話 082-504-2802 Fax 082-504-2067

○ テーマの例

《市政のしくみ》	《くらし・環境》
個人情報保護制度	水環境の保全
《健康・福祉》	安全・安心なまちづくり
視覚障害との接し方	《まちづくり・市民活動》
高齢者の福祉制度について	こむねっとひろしまで地域のホームページづくり
《子ども・教育》	市民活動(NPO やまちづくり活動)
地域ぐるみではぐくむ青少年	《経済・産業》
子育て支援施策について	人と森林との関わりについて考える

○ その他、全部で108のテーマがあります。お気軽にお問合せください。

市民活動に関する相談窓口

(団体、講座、助成の紹介など)

相談窓口	TEL	FAX	メール/HPアドレス
1 市民活動・NPO・協働に関すること			
広島市市民局市民活動推進課	082-504-2113	082-504-2066	katsudo@city.hiroshima.jp
(財)広島市ひと・まちネットワーク 広島市まちづくり市民交流プラザ	082-545-3911	082-545-3838	http://www.hitomachi.city.hiroshima.jp/m-plaza/
広島県環境県民局総務管理部 県民活動課NPO・協働推進グループ	082-513-2721	082-227-2549	kankatsudo@pref.hiroshima.lg.jp
NPO法人ひろしまNPOセンター	082-511-3180	082-511-3179	http://www.npoc.or.jp
2 地域のまちづくりに関すること			
広島市市民局市民活動推進課	082-504-2113	082-504-2066	katsudo@city.hiroshima.jp
各区区政振興課			
中区区政振興課	082-504-2546	082-541-3835	na-kusei@city.hiroshima.jp
東区区政振興課	082-568-7705	082-262-6986	hi-kusei@city.hiroshima.jp
南区区政振興課	082-250-8935	082-252-7179	mi-kusei@city.hiroshima.jp
西区区政振興課	082-532-0927	082-232-9783	ni-kusei@city.hiroshima.jp
安佐南区区政振興課	082-831-4926	082-877-2299	am-kusei@city.hiroshima.jp
安佐北区区政振興課	082-819-3905	082-815-3906	as-kusei@city.hiroshima.jp
安芸区区政振興課	082-821-4905	082-822-8069	ak-kusei@city.hiroshima.jp
佐伯区区政振興課	082-943-9705	082-923-5098	sa-kusei@city.hiroshima.jp
公民館	公民館(全70館)については、施設情報(P91)を参照してください。		
3 生涯学習に関すること			
広島市市民局生涯学習課	082-504-2497	082-504-2066	gakushuu@city.hiroshima.jp
広島市まちづくり市民交流プラザ	082-545-3911	082-545-3838	http://www.hitomachi.city.hiroshima.jp/m-plaza/
公民館	公民館(全70館)については、施設情報(P91)を参照してください。		
広島県立生涯学習センター	082-262-9129	082-262-2415	http://www.pref.hiroshima.lg.jp/kyouiku/gakushu/center/index.html
4 福祉・子育てに関すること			
広島市社会福祉協議会 広島市ボランティア情報センター	082-544-3399	082-544-3404	http://www.shakyo-hiroshima.jp/
中区社会福祉協議会(ボランティアセンター)	082-249-3114	082-242-1956	
東区社会福祉協議会(ボランティアセンター)	082-263-8443	082-264-9254	
南区社会福祉協議会(ボランティアセンター)	082-251-0525	082-256-0990	
西区社会福祉協議会(ボランティアセンター)	082-294-0104	082-291-7096	
安佐南区社会福祉協議会(ボランティアセンター)	082-831-5011	082-831-5013	
安佐北区社会福祉協議会(ボランティアセンター)	082-814-0811	082-814-1895	
安芸区社会福祉協議会(ボランティアセンター)	082-821-2501	082-821-2504	
佐伯区社会福祉協議会(ボランティアセンター)	082-921-3113	082-924-2349	
広島県ボランティアセンター	082-254-3506	082-256-2228	http://www.hiroshima-fukushi.net/
5 環境保全・環境教育に関すること			
広島市環境局エネルギー・温暖化対策部	082-504-2185	082-504-2229	ondanka-t@city.hiroshima.jp
中国環境パートナーシップオフィス	082-511-0720	082-511-0723	http://www.epo-cg.or.jp/
6 国際交流に関すること			
広島市市民局国際平和推進部国際交流課	082-504-2106	082-249-6460	kokusai@city.hiroshima.jp
(財)広島平和文化センター 国際交流ラウンジ	082-247-9715	082-242-7452	http://www.pcf.city.hiroshima.jp/ircd/lounge/
広島市留学生会館	082-568-5931	082-568-5600	http://www.hicat.ne.jp/home/ryugaku/
(財)ひろしま国際センター	082-541-3777	082-243-2001	http://hint.hiroshima-ic.or.jp/hic/
7 文化・芸術に関すること			
広島市市民局文化スポーツ部文化振興課	082-504-2500	082-504-2066	bunka@city.hiroshima.jp
(財)広島市文化財団 アステールプラザ情報交流ラウンジ	082-244-8000	082-246-5808	http://www.cf.city.hiroshima.jp/naka-cs/
(財)ひろしま文化振興財団	082-249-8385	082-249-7531	http://www.h-bunka.or.jp/zaidan/hirobuntop.htm
8 スポーツに関すること			
広島市市民局文化スポーツ部スポーツ振興課	082-504-2503	082-504-2066	sports@city.hiroshima.jp
(財)広島市スポーツ協会事業課	082-243-0578	082-249-3641	http://www.sports-or.city.hiroshima.jp/index.cgi
9 防犯に関すること			
各区区政振興課	[2 地域のまちづくりに関すること]の「各区区政振興課」を参照してください。		
広島中央警察署	082-224-0110		
広島西警察署	082-279-0110		
広島東警察署	082-258-0110		
広島南警察署	082-255-0110		
安佐南警察署	082-874-0110		
安佐北警察署	082-812-0110		
10 防災・防火に関すること			
各区区政振興課	[2 地域のまちづくりに関すること]の「各区区政振興課」を参照してください。		
中消防署予防課	082-546-3511	082-542-7720	fs-na-yobo@city.hiroshima.jp
東消防署予防課	082-263-8401	082-263-7489	fs-hi-yobo@city.hiroshima.jp
南消防署予防課	082-251-0431	082-251-0460	fs-mi-yobo@city.hiroshima.jp
西消防署予防課	082-232-0381	082-232-3293	fs-ni-yobo@city.hiroshima.jp
安佐南消防署予防課	082-877-4101	082-877-9462	fs-am-yobo@city.hiroshima.jp
安佐北消防署予防課	082-814-4795	082-814-9931	fs-as-yobo@city.hiroshima.jp
安芸消防署予防課	082-822-4349	082-822-9119	fs-ak-yobo@city.hiroshima.jp
佐伯消防署予防課	082-921-2235	082-921-5336	fs-sa-yobo@city.hiroshima.jp

本の制作者紹介と編集後記

市民活動まちづくり読本

「まちづくりは人生だ」制作者

(順不同 敬称略)

【作成ワーキングメンバー】

●ひろしままちづくり ファシリテ

ーターズ・まちづくりくらぶ 藤

宮本克己 北上久美子

●ほのぼの広島会

田中聡 水田伊奈男

●広島環境サポーターネットワーク

増村浩子 齊藤久美

●早稲田学区社会福祉協議会

宮原信子 中村浩美

●草津まちづくりの会

宮川秋三 藤井秀紹

●東観音台連合会

中倉勇 曾根孝義

●原田敬至

●広島かよへバス活用委員会

●神村登紀恵

●社団法人都市計画学会中国四国支部

山下和也

●広島工業大学工学部

建築工学科大学院生

伊東賢治(参加時)

●中国労働金庫

●浅津寿広

(財)広島市ひとまちネットワーク

(社)広島市社会福祉協議会

●広島市

企画総務局 広報課

情報政策課

南区市民部政振興課

市民局 市民活動推進課

生涯学習課

【イラスト】

秦景子(はと)

いくまさ鉄平

◇◇◇編集後記◇◇◇



◇ひろしまの協働事例に新しい1ページが加えられる編集結果になりました。

悪戦苦闘、迷路をさまようような編集作業の連続でしたが、広島らしさをだすためにノウハウや手の内の公開等で工夫をこらしました。

◇この本でお伝えできることは限られていますが、これを機会に収録されている団体にどんどん質問したり、交流を深めていただくことを希望しています。(I・N)

◇この本の編集は、ポジティブで生き生きとされている皆様より興味深いお話をたくさんいただき、驚きの連続となりました。漠然とですが、編集に関わられた皆様のように楽しく、常に前向きな生き方を「まちづくり人」でいたいとの想いをますます強めました。(J・I)

◇最初に集まったときは百家争鳴。この個性派の面々が、どうやってまとまるのかと、本気で心配しました。しかし、違った意見や思いを出し合うことが、協働のものづくりの原点だと体感したプロセスでした。それは大森で知って、学んだ「納川」の「市民活動まちづくり読本」版だったかもしれませぬ。多

くの人と知り合ったことも私の宝です。(K・Y)

◇初めて参加したとき、ある種の不安を感じた。各種団体の責任者が集まり、それぞれがそれぞれの立場で自由な発言をする。これでまとまるのだろうかと思った。

しかし、そこは子供とは違う。司会進行の巧みなりードでだんだん誰にも見えてきた。最初の構想、構成は形作られてきた段階で、これはいいものが出来るぞと感じた。

話が進むにつれて最初の形は次第に変形して言ったが、納得できる変身であった。年齢からいっても自分はかなり高齢であったが、若い人の発想は、面白いと思いい、参加したことを感謝した。出来上がりはいいと思う。出来ればカラーになれば申し分ないが(F)

◇状況のよくわからないまま参加、場違いかなあと思いつながら2年が過ぎました。「まちづくり」の多種多様な色んな智慧を学ばせていただき、感謝です。やっと「形」になった本を地域に持つて帰ることを楽しみにしています。(N)

◇様々な議論が飛びかかった「お悩み相談室」。「みんな同じようなことに悩んでいるんだなあ。自分たちだけじゃないんだ」と感じていただけただけら幸いです。この本によって、まちづくりの意義が一層活発となり、まちづくりに興味を持つ人たちのコミュニティ



ケーションの輪がさらに広がることを願っています。(K・K)

◇いろんな人と知り合えて有意義な「あつ」という間の22ヶ月でした！皆さんの意見を聞いて考え、更なる良いアイデアが出てきて、という具合に意見は発展・成長を遂げやうと完成した「市民活動まちづくり読本」。

◇環境団体として「市民活動まちづくり読本」へ参加して、先の見えぬ議論についていけず、場違いかなと思つていましたが、たくさんの人に出会い、いろいろなことを学びました。内容には違いがありますが、ボランティア精神や仕組みは共通点があり、ナルホドと意義ある時間でした。感謝！(H・M)

◇どんな活動でも、人が集り継続できておれば、どこかに「まちづくり」との接点があると思うんだ。その接点を発見してもらえば、ほんの少し、良い街になると思うんだ。お年寄りに席を譲る、ゴミを拾う、これを仲間であれば、もう既に、立派な「まちづくり」なんだ。できる事から、始めてみようよ。(T)



て何かを言える立場ではないのですが、話し合いの中、いろんな知恵が集められ、だんだん目に見えるものになってきた時に、「まちづくり」の基本は「人」なんだなあ、と、あらためて感じる事ができました。そして、この本作りを通しての「人」との出会いは大収穫でした。(H)

◇「1度は手に取る！2回以上読む！300円以上で買ってほしいと思おう！」というイメージのみでの本作りは、始まりました。

ワーキングメンバーの皆さんは、それぞれが日頃活動されている「実体験」にもとづく市民活動の「ノウハウ」を「本」という形にしようという熱心に取り組んでくださいました。心より感謝しております。

市民活動団体と行政など、立場が違おう者同士が、一緒に活動して、事業を行うという「協働」という方法での本作りでした。この本作りで「立場が違おう者同士がバラバラに活動しているよりも、協働で取り組むことにより良いものができる」ということが、実現できたことをうれしく思っています。

登録番号 広CO-2008-238
市民活動まちづくり読本
まちづくりは人生だ
編集 市民活動まちづくり読本作成
ワーキンググループ
発行 広島市市民局市民活動推進課
広島市中区国泰寺町6番34号
(〒730-8586) TEL082(504)2113
発行年月 平成21年1月発行
印刷 東光印刷株式会社



Hm²
ふたふた

【知っ得情報19】で紹介した「公益信託広島市まちづくり活動支援基金」は、豊かでいきいきとした市民社会づくりを目指し、市民の皆さんの自主的なまちづくり活動に対する助成事業を行っています。

この基金は、市民・企業・行政等が力を合わせて、広島市のまちづくり活動を支え育てていくというものです。

私たちの住む広島のをちをよりよくしていくために、多くの皆さまからの寄付をお願いしています。どうぞご協力ください。

●金額の多少に関わらず、随時お受けしています。

●例えば、次のような場合の寄付先としてもお役に立ていただけます。

○個人・家族の場合…
寿記念、香典返し、ホールインワン記念 など

○企業・団体の場合…
周年記念、受賞記念、マッチング寄付、チャリティバザー など

●振込先●

広島銀行広島市役所支店
別段預金 No.3000017
(口座名義)

公益信託 広島市まちづくり活動支援基金
寄付金受入口

所定の振込用紙をご使用いただければ、手数料は必要ありません。ただし、広島銀行の窓口からの振込に限ります。他の金融機関からの振込の場合、手数料は自己負担となります。また、この公益信託への寄付に対しての税の減免はございませんので、ご了承ください。

※頂戴したご寄付は、毎月末日締めにて集計し、翌月の5日（休日の場合は翌営業日）に基金へ寄付させていただきます。

【問い合わせ先】

(財)広島市ひと・まちネットワーク事務局事業係
〒730-0036広島市中区袋町6番36号

広島市まちづくり市民交流プラザ北棟5階

URL <http://www.hitomachi.city.hiroshima.jp/>
TEL : 082 (541) 5335

あなたの支援がまちづくりにつながります